笠置小学校屋内運動場天井等改修工事

図　面　リ　ス　ト

No.	図面名称	No.	図面名称	No.	図面名称	No.	図面名称
Ａ－０１	建築工事特記仕様書１	Ａ－２１	展開図　１（現況）	Ｅ－０１	電気設備工事特記仕様書	Ｍ－０１	機械設備工事特記仕様書
Ａ－０２	建築工事特記仕様書２	Ａ－２２	展開図　２（現況）	Ｅ－０２	既設照明器具及び付随機器配管撤去図	Ｍ－０２	図示記号・器具・機器表
Ａ－０３	建築工事特記仕様書３	Ａ－２３	展開図　１（改修後）	Ｅ－０３	改修後照明器具配線図	Ｍ－０３	１階平面図(改修後)　給排水衛生設備
Ａ－０４	建築工事特記仕様書４	Ａ－２４	展開図　２（改修後）	Ｅ－０４	火災報知設備系統図	Ｍ－０４	改修後　平面詳細図　給排水衛生設備
Ａ－０５	全体配置図	Ａ－２５	天井伏図（現況）	Ｅ－０５	既設(火災報知設備)空気管分布図	Ｍ－０５	１階天井図(改修前・後)
Ａ－０６	仮設計画図	Ａ－２６	天井伏図（改修後）	Ｅ－０６	改修後(火災報知設備)空気管分布図	Ｍ－０６	平面詳細図１(改修前)　給排水衛生設備
Ａ－０７	仕上表	Ａ－２７	建具表	Ｅ－０７	便所改修電気設備		
Ａ－０８	１階平面図（現況）	Ａ－２８	体育器具平面図				
Ａ－０９	１階平面図（改修後）	Ａ－２９	体育器具　詳細図１（吊下前方折畳式バスケット台）				
Ａ－１０	２階平面図（現況）	Ａ－３０	体育器具　詳細図２（水平引込折畳式バスケット台） （直付固定式バスケット台）				
Ａ－１１	２階平面図（改修後）	Ａ－３１	体育器具　詳細図３（吊縄）				
Ａ－１２	３階平面図（現況・改修後）						
Ａ－１３	断面図（現況）						
Ａ－１４	断面図（改修後）						
Ａ－１５	断面詳細図（現況）						
Ａ－１６	断面詳細図（改修後）						
Ａ－１７	部分詳細図　１						
Ａ－１８	部分詳細図　２						
Ａ－１９	平面詳細図（現況）						
Ａ－２０	平面詳細図（改修後）						

株式会社 白鳳建築設計事務所

工事特記仕様書（改修）

Ⅰ．工事名称　笠置小学校屋内運動場天井等改修工事

Ⅱ．工事概要
- 1　工事場所　京都府相楽郡笠置町大字笠置
- 2　敷地面積　－
- 3　工事内容　屋内運動場天井等改修工事、便所等改修工事、駐車場改修工事

棟名称	屋内運動場
構造	RC造：3階建
建築面積	1120.30㎡
延べ面積	1882.39㎡
工事項目	屋内運動場天井等改修工事、便所等改修工事、駐車場改修工事

Ⅲ．建築改修工事仕様
- 1　共通仕様
  図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「三重県公共工事共通仕様書」及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）」（以下「改標仕」という。）による。
- 2　特記仕様
  (1)　項目は、番号に○印のついたものを適用する。
  (2)　特記事項は、○印のついたものを適用する。
  (3)　項目欄に記載の（　）内表示番号は改標仕の該当項目等を示す。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	① 適用基準等	① 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）　国土交通大臣官房官庁営繕部監修（平成25年版） ② 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）　国土交通大臣官房官庁営繕部監修（平成25年版） ③ 建築工事標準詳細図　国土交通大臣官房官庁営繕部監修（平成22年版） ④ 京都府土木工事共通仕様書（平成２２年版）
	② 施工条件 (1.3.5)	⊙監督員と協議し決定する。 施工可能日　・　指定なし ・　一部に土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯　・　指定なし　・　時　～　時 概成工期　・　指定なし　・　年　月　日
	③ 部分引渡し、部分使用	・部分引き渡しあり　・部分使用あり 指定部分（　　） 時期（　平成　年　月　日～　）
	④ 埋蔵文化財調査	埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。 ・発掘調査等の実施あり ・発見された場合、発掘調査等の実施あり
	⑤ 発生材の処理等 (1.3.8)	・本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。 分別解体等の方法

工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・有　・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	・有　・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	・有　・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
屋根	・有　・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
建築設・内装等	⊙有　・無	⊙手作業 ・手作業、機械作業の併用
その他（　　）	・有　・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用

・　引き渡しを要するもの
　・なし　・
・　特別管理産業廃棄物　・　有（　　）
　処理方法（　　）
・　現場において再利用を図るもの
　（　　）
⊙　再資源化を図るもの
　・　コンクリート塊
　・　アスファルトコンクリート塊
　⊙　建設発生木材
⊙　引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し、監督員へ提出すること。
⊙　引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員に報告すること。その他関係法令によるほか、（マニフェストA、B2、D、E票を提示すること。）
・　成形板等の解体・撤去にあたっては、事前にアスベスト含有に係る施工調査を行う。
　含有が判明した等の場合、(9.1.5)に従い処理する。

6 建設副産物情報交換システムの利用	再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は受注時において工事請負代金額が１億円以上の工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書（実施書）」及び「再生資源利用促進計画書（実施書）」を監督員に提出すること。 また、工事着手前にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時には実績報告を行うこと。
⑦ 電気保安技術者 (1.3.3)	適用する
⑧ 技能士 (1.6.2)	職種別に可能なものについては、積極的に活用すること。
9　施工数量調査 (1.5.2)	調査範囲及び調査方法　・工種別の特記による
10　調査のための破壊部分の補修 (1.5.3)	補修方法　・　図示（図面番号：　　）　・（　　）

⑪ 建築材料等	本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」（最新版）（以下「評価名簿」という。）と同等とする。品質が求められる水準以上であれば、府内生産品の優先使用に努めること。
⑫ 化学物質の濃度測定 (1.6.9)	測定対象化学物質（●で示したものとする。）

適用	施設用途	ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ	トルエン	キシレン	ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ	スチレン	ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ
○	学校、教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	
	その他	●	●	●	●	●	

測定対象室及び測定個所数
⊙　図示（図面番号：　Ａ－１１　）
測定方法（○パッシブ法　・　アクティブ法）
報告書提出部数　２部

⑬ 特別な材料の工法	公共建築改修工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。
⑭ 騒音・振動の防止	低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。
⑮ 工事写真	営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部（平成24年版））に従い撮影する。 電子納品とし、次のものを提出する。 CD　部数は「19 電子納品」を参照
⑯ 完成図 (1.8.2)	作成する（○　完成図　○　保全に関する資料　・（　　））
⑰ 完成写真	完成図作図範囲 （配置図、平面図、立面図、断面図、仕上表等　） 完成図はＣＡＤにより作成することとし、著作権にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。 デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。（Ａ４版用紙に１ページあたり３枚）　１部 箇所数は外観４面各室２面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。 ・　アルバム　１部 （大きさ335㎜×290㎜程度、カラー）
⑱ 設備工事との取合い	施工範囲 ⊙　図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強 ⊙　図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 ・　自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ・　駆動装置が電動による建具等の２次側の配管・配線及び　操作スイッチ 施工図 ⊙　設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。
⑲ 既存部分への処置 (1.3.12)	工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、在来にならい補修する。
⑳ 事故報告	工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。 また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。
㉑ 不当介入を受けた場合の措置	暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置について (1)受注者は暴力団員等による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。 (2)(1)により警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。 発注者への報告は必ず文書で行うこと。 (3)受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。
㉒ 消防提出書類	消火器の設置届については、電気及び機械設備にて設置届が不要な場合は、建築にて設置届を提出するものとする。 防火対象物使用開始届については書類の作成（建築図面の用意及び建築に関する部分の記述）を行うこと。
㉓ 主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間	現場施工に着手するまでの期間 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打合せにおいて定める。 検査終了後の期間 検査完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。
24 建築基準法に基づき定まる風圧及び積雪荷重	建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速Vo=３４m/s 地表面粗度区分　（　・Ⅱ　・Ⅲ　） 積雪区分（　）ｃｍ

② 仮設工事 ① 足場 (2.2.1)(表2.2.1)	内部足場　⊙きゃたつ　・足場板　○(　枠組棚足場　) 外部足場の種別　・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種　・　Ｄ種　・　Ｅ種 防護シート等による養生　○　適用する　・　適用しない
② 既存部分の養生 (2.3.1)	既存部分の養生方法　・図示（図面番号：　　） 既存ブラインド　○　カーテンの養生 養生方法（　　） 保管場所　・　構内既存施設内 固定された備品、机、ロッカーの移動 ・　行う　⊙　行わない
③ 仮設間仕切り (2.3.2)(表2.3.1)	・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種 合板　厚さ　・9㎜　・（　　） せっこうボード　厚さ　・9.5㎜　・ 合板又は石こうボードの塗装　・　行う　・　行わない 仮設扉の設置箇所　・図示（図面番号：　　） 仮設扉の種別　（　・A種　・B種　・C種　）
4 監督員事務所 (2.4.1)	・　構内建物内の一部を使用する。 ・　設置する　・　設置しない 監督員事務所の規模(単位:㎡) 面積　・　10㎡程度　・　20㎡程度　・　35㎡程度 ・　65㎡程度　・　100㎡程度 監督員事務所の仕上げ

部位等	仕上げ
床	合板張り又はビニール床シート張り
内壁・天井	合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り
屋根	装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り

5 監督員事務所の備品等 (2.4.1)(b)

種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数量	組	台	個	個	個
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー
数量	足	着	個	個	台
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話 FAX	冷暖房機器	インターネット
数量	個	個	台	台	台

⑥ 仮設便所　構内既存の施設
・　利用できる　○　利用できない

⑦ 工事用水　構内既存の施設
・　利用できる（・　有償　・　無償）　○　利用できない

⑧ 工事用電力　構内既存の施設
・　利用できる（・　有償　・　無償）　○　利用できない
有償利用の場合において、本工事で新規受電又は既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。

⑨ 交通誘導員　配置　⊙　図示（図面番号：　Ａ－０６　）　・○約10人・工事期間

③ 防水改修工事

1 アスファルト防水 (3.1.4)(3.3.3)(表3.3.3)～(表3.3.10)

工法	種別	施工箇所
・　PIB	・　B-1　・　B-2	
・　PIE ・　P2E	・　E-1　・　E-2	

改質アスファルトルーフィングシート
種類　・（　）　・(表3.3.3)～(表3.3.9)による
厚さ　・（　）　・(表3.3.3)～(表3.3.9)による
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート
種類　・（　）　・(表3.3.3)～(表3.3.9)による
厚さ　・（　）　・(表3.3.3)～(表3.3.9)による

(3.3.2)(h) 断熱工法の断熱材（PIBI,P2AI,T1BI,P0DI,M3DI,M4DI）
材質　・（　）
・Ａ種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板３種b(スキンあり)
・Ａ種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板２種１号
・Ａ種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板２種２号
厚さ　・（　）
ルーフドレン回り及び立上がり部周辺断熱材の張りじまい位置　・図示（図面番号：　）

(3.3.3)(b)(2) 脱気装置（M3D,P0D,P0DI,M3DI,M4DI）
(3.3.3)(C) ・　設ける（設置数量　・図示（図面番号：　）、材質（　））
・　設けない

・仕上塗料　種類（　）　使用量（　）

(3.3.5) 保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ　・水下80mm以上　・（　）
床タイル張り・水下60mm以上　・（　）
保護層　・　設ける　・　設けない
屋上排水溝の適用　・適用する
立上り保護　・乾式保護材（　）
・れんが（材種　・ＪＩＳ　Ｒ1250）

特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事			承認	管理建築士	印
		図名	建築工事特記仕様書１	縮尺	ＮＳ	図面番号	Ａ－０１	図面提出日　／　／	1級　２４７３７６号 田中　敏也	

HAKUHO Archi. Design
株式会社・白鳳建築設計事務所
１級建築士事務所　登録（三重１－９５７号）
〒５１８－０８１０　三重県伊賀市平野東町１０７
ＴＥＬ　0595-23-6112　ＦＡＸ　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp

2 改質アスファルトシート防水

(3.4.3)
(表3.4.1)～(表3.4.3)
(3.4.3)(2)(3)

工法	種別	施工箇所
・ M4AS	・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J3	

改質アスファルトシート

種類 ・（ ） ・(表3.4.1)～(表3.4.3)による

厚さ ・（ ） ・(表3.4.1)～(表3.4.3)による

粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート

種類 ・（ ） ・(表3.4.1)～(表3.4.3)による

厚さ ・（ ） ・(表3.4.1)～(表3.4.3)による

断熱工法の断熱材（M3AS1,M4AS1,P0AS1）

材質 ・（ ）

・Ａ種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板２種１号

・Ａ種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板２種２号

厚さ ・（ ）

脱気装置

・ 設ける（設置数量 ・図示（図面番号： ）、材質（ ））

・ 設けない

3 合成高分子系ルーフィングシート防水

(3.5.3)
(表3.5.1)
(表3.5.2)
(3.5.2)(b)
(3.5.3)

工法	種別	施工箇所
・ S3S	・ S-F1(S1-F1)	
・ S3S1	・ S-F2(S1-F2)	

ルーフィングシート

種類 ・（ ） ・(表3.5.1)及び(表3.5.2)による

厚さ ・（ ） ・(表3.5.1)及び(表3.5.2)による

断熱工法の断熱材（P0S1,S4S1,S3S1,M4S1）

材質 ・（ ）

・Ａ種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板２種１号
・Ａ種硬質ウレタンフォーム保温材の保温板２種２号
・Ａ種押出法ポリスチレンフォーム保温材の保温板
・Ａ種押出法ポリスチレンフォーム保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの

厚さ ・（ ）

絶縁用シート ・ 発泡ポリエチレンシート ・

脱気装置

・ 設ける（設置数量 ・図示（図面番号： ）、材質（ ））

・ 設けない

既存防水層下地がPCコンクリート部材の場合

目地処理 ・図示（図面番号： ）

増張り ・図示（図面番号： ）

4 塗膜防水

(3.6.3)
(表3.6.1)
(3.6.3)(a)
(3.6.3)(b)

工法	種別	施工箇所
・ P0X ・ L4X	・ X-1 ・ X-2	

脱気装置

・ 設ける（設置数量 ・図示（図面番号： ）、材質（SUS））

・ 設けない

工法	種別	施工箇所
・ P1Y ・ P2Y	・ Y-2 ・	

保護層 ・ 図示（図面番号： ）

5 既存防水層表面の仕上塗装の除去

(3.2.6)(c)(2)
(3.2.6)(c)(6)

（M4AS,M4AS1,M4C,M4D1） ・ 行う ・ 行わない

（L4X） ・ 行う ・ 行わない

⑥ シーリング

(3.7.2)
(表3.7.1)

材料

種類	材種	施工箇所
⊙ SR-1	シリコーン系	ガラス
・ SR-2	シリコーン系	
⊙ MS-2	変成シリコーン系	サッシ廻り
・ PS-2	ポリサルファイド系	
・ PU-2	ポリウレタン系	

(3.7.4～7)

工法

・ シーリング充填工法
・ シーリング再充填工法
・ 拡幅シーリング再充填工法
（拡幅幅 ㎜、拡幅深さ ㎜）
・ ブリッジ工法
（ボンドブレーカー幅 ㎜、エッジング材幅 ㎜）

(3.7.8)

シーリング材の試験

・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ・ 行わない

7 とい

(3.8.2)(表3.8.1)

材種 ・硬質ポリ塩化ビニル管（ｶﾗｰ） ・ 配管用鋼管(白管)

・

工法 ・図示（図面番号： ）

8 アルミニウム製笠木

(3.9.2)(c)
(表3.9.1)

部材の種類

・ 押出し250形（アルミ製手摺付）
・ 押出し300形
・ 押出し350形
・ 板材折曲げ形（本体幅 ㎜、板厚 ・ 2.0㎜）

(3.9.3)(b)

固定金具の間隔（ ㎜） ・ 図示

(3.9.2)(d)
(表5.2.2)

固定方法 ・ 図示

表面処理 ・（ ）

工法 既存笠木等の撤去
・図示（図面番号： ）
下地補修の工法
・図示（図面番号： ）
板材折り曲げ形の笠木の取付方法
・図示（図面番号： ）
笠木固定金具の工法
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応したか固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。

9 ＦＲＰ防水

・ FRP防水 ガラスマットⅡPLY+Ｉサーフェースマット

4 外壁改修工事

1 施工数量調査

・ 行う ・ 行わない

調査範囲 ・ 全面 ・（ ）

調査項目 ・ ひび割れ部

（・ 幅0.2㎜、・ 0.2㎜～1.0 ㎜、・ 1.0㎜以上）

・ はがれ及びはく落部分

・ 浮き部

調査方法 ・ 打診、目視及びクラックスケール等

（・ 足場 ・ ゴンドラ）

報告書 ２部

（立面図等に記載、必要に応じて写真添付）

2 改修工法の種類

(4.1.4)
(4.1.5)

外壁	種類	改修工法
・ コンリート打放し仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Ｕカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法
・ モルタル塗り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Ｕカットシール材充填工法 ・ シール工法
	欠損部	・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法
	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法

外壁	種類	改修工法
・ タイル張り仕上げ外壁	ひび割れ部	・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法
	欠損部	・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
	浮き部	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ エポキシ樹脂注入タイル固定工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法
	目地	・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法
⊙ 塗り仕上げ外壁	新規仕上げ	・ 薄付け仕上塗材塗り ・ 厚付け仕上塗材塗り ・ 複層仕上塗材塗り ・ 可とう形改修用仕上塗材塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗材塗り

3 改修工法等

・ 樹脂注入工法

(4.2.2)(a)
(4.3.4)
(4.4.5)
(4.5.5)

種類 ・ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
注入量（ ）注入間隔（ ）
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法
注入量（ ）注入口間隔（ ）
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法
注入量（ ）注入口間隔（ ）

材料
エポキシ樹脂JIS A6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)
・ 低粘度形 ・ 中粘度形
コア抜取検査 ・ 行う ・ 行わない
・抜取り個数（ ）
・抜取り部分補修方法（ ）

(4.2.2)(b)
(4.3.5)
(4.4.6)
(4.5.6)

・ Ｕカットシール材充填工法
材料 ・ シーリング用材充填
（ ・ＰＵ－２ ・（ ））
・ 可とう性エポキシ樹脂充填
シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填
・ 行う ・ 行わない

(4.2.2)(c)
(4.3.6)
(4.4.7)

・ シール工法
材料 ・ パテ状エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

(4.2.2)(d)
(4.3.7)
(4.4.8)

⊙ 充填工法
材料 ⊙ エポキシ樹脂モルタル
・ ポリマーセメントモルタル

(4.2.2)(g)
(4.5.8)

・ モルタル塗替え工法
材料 ・既製目地材の適用及び形状（ ）
仕上げ厚 （ ）

(4.2.2)(e)
(4.4.10)
(図4.4.1)

⊙ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
アンカーピンの配置 ⊙ 標準 ・
材料 ・アンカーピン（ ）

(4.2.2)(e)
(4.4.11)
(図4.4.2)

・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
アンカーピン及び注入口の配置 ・ 標準 ・
材料 ・アンカーピン（ ）

(4.2.2)(e)
(4.4.12)
(図4.4.2)

・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
アンカーピン及び注入口の配置 ・ 標準 ・
材料 ・アンカーピン（ ）

(4.2.2)(f)
(4.4.13)
(図4.4.3)

・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
注入口付アンカーピンの配置 ・ 標準 ・
材料 ・注入口付アンカーピン（ ）

(4.2.2)(f)
(4.4.14)
(図4.4.4)

・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
注入口付アンカーピン及び注入口の配置
・ 標準 ・
材料 ・注入口付アンカーピン（ ）

(4.2.2)(f)
(4.4.15)
(図4.4.4)

・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法
注入口付アンカーピン及び注入口の配置
・ 標準 ・（ ）
材料 ・ポリマーセメントスラリー（ ）
・注入口付アンカーピン（ ）

(4.2.2)(h)
(4.5.7)

・ タイル部分張替え工法
材料 ・ ポリマーセメントモルタル
・ 変成シリコーン樹脂、エポキシ樹脂、ポリウレタン樹脂

施工箇所	形状寸法	工法	区分 Ⅰ類(磁器)	区分 Ⅱ類(せっ器)	区分 Ⅲ類(陶器)	うわぐすり	役物	耐薬品性	特注色	耐凍害性有無

・役物（・一体成形 ・接着加工）
・試験張り ・ 行う ・ 行わない
・見本焼き ・ 行う ・ 行わない

(4.2.2)(h)
(4.5.8)
(表4.5.3)

・ タイル張替え工法

タイルの種別	タイルの大きさ	工法	塗り厚(mm)
・ 外装 タイル	小口以上二丁掛け以下	・密着張り	5～8
		・改良積み上げ張り	4～7
		・改良圧着張り	下地側 4～6 タイル側 3～4
・ ユニットタイル	・ 25㎜角を超え小口未満	・マスク張り	3～4
	・ 小口未満	・モザイクタイル貼り	3～5

(4.5.15)

・注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法
注入口付アンカーピンの配置 （ 本／㎡）

(4.2.2)(h)

・ 目地ひび割れ部改修工法

(4.5.16)

・ 伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地
（位置 寸法 × ）
検査 シーリング接着性試験
・ 行う（・ 簡易接着性試験 ・ 行わない）

＜内部＞

④ 塗り仕上げ

(4.2.2(j))
(表4.2.4(その1)(その2))

種 類	呼び名	仕上げ形状	工法
薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材Ｅ	・砂壁状 ・ゆず肌状	吹付け
		・平たん状 ・凸凹状	こて
		・ゆず肌状 ・さざ波状	ローラー
		・着色骨材砂壁状	・吹き付け ・こて

種 類		仕上げ形状		工法
厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材Ｃ	スタッコ状	・ 吹放し ・ 凸部処理	吹付け
		スタッコ状	・ 平たん状 ・ 凸凹状 ・ ひき起し ・ 掻き落とし	こて
	・ 外装厚塗材Si ・ 外装厚塗材Ｅ	スタッコ状	・ 吹き放し ・ 凸部処理	吹付け
		スタッコ状	・ 平たん状 ・ 凹凸状 ・ ひき起し	・こて ・ローラー

種 類	呼び名	仕上げ形状	工法
複層仕上塗材	⊙ 複層塗材Ｅ ・ 複層塗材ＲＥ ・ 防水形複層塗材Ｅ ・ 防水形複層塗材ＲＥ	・ ゆず肌状	ローラー
		・ 凸部処理	吹付け
		⊙ 凸凹模様	吹付け
可とう形改修用仕上塗材	・ 可とう形改修塗材Ｅ ・ 可とう形改修塗材ＲＥ ・ 可とう形改修塗材ＣＥ	・ 平たん状 ・ さざ波状	ローラー
		・ ゆず肌状	吹付け

・外装厚塗Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合
材所要量（ ｋｇ／㎡）

特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事		
		図名	建築工事特記仕様書２	縮尺 ＮＳ	図面番号 Ａ－０２

HAKUHO Archi. Design
株式会社・ 白鳳建築設計事務所
１級建築士事務所 登録（三重１－９５７号）
〒５１８－０８１０ 三重県伊賀市平野東町１０７
ＴＥＬ 0595-23-6112 ＦＡＸ 0595-23-6132
E-mail hakuho@ict.ne.jp

承認					管理建築士	印
					１級 ２４７３７６号 田中 敏也	
図面提出日	／ ／					

(4.6.6)
(表4.6.7)
・マスチック塗材塗り　・A種　・B種
仕上材塗り（　　）

(表4.2.5)
複層仕上塗材の上塗材の種類

樹脂種類	溶媒種類	外観
・アクリル系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	・水系	・艶有　・艶無
・シリカ系	・水系	・艶無
・ポリウレタン系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	・水系	・艶有　・艶無
⊙アクリルシリコン系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	⊙水系	⊙艶有　・艶無
・ふっ素系	・溶剤系	・艶有　・艶無　・メタリック
	・弱溶剤系	・艶有　・艶無
	・水系	・艶有　・艶無

（注）　つやなし及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。

(4.6.3)
既存塗膜等の除去及び下地処理

工法	処理範囲
・サンダー工法	
・高圧水洗工法	
・塗膜剥離剤工法	
・水洗い工法 ・デッキブラシ ・高圧ポンプ	10～15Mpa 外壁・外部モルタル巾木・屋根庇・バルコニー見付 軒天(バルコニー・階段・庇)・ベランダ床面・排水溝・階段床

(4.6.4)
下地調整
・ C-1　・ C-2　・ CM-2　・ E　・（　　）

⑤ 建具改修工事

① 改修工法 (5.1.3)
⊙ かぶせ工法
⊙ カバー工法　・ 持出し工法　・ ノンシール工法
・ 撤去工法
・ はつり工法　・ 引抜き工法

② 防火戸 (5.1.4)
・例示仕様　・個別認定（認定番号　　）
・自動閉鎖機構　・図示（図面番号：　　）

③ 見本の製作 (5.1.5)
・ 製作する　・ 製作しない

④ 防犯建物部品 (5.1.7)
・図示（図面番号：　　）

⑤ ブラインドカーテンボックス等 (5.1.6(c))
⊙ 再使用する　・ 再使用しない
（カーテンレール）

⑥ アルミニウム製建具
性能等級等
・ A種　⊙ B種　・ C種

(5.2.2)
(表5.2.1)
・ 防音ドアセット、防音サッシ（等級　　）
・ 断熱ドアセット（等級　　）
・ 耐震ドアセット（等級　　）
・ 結露水の処理方法　・図示（図面番号：　　）

(表5.2.2)
アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種別
⊙ 外部に面する建具
・ B-1　◯ B-2　・A-2
・ 内部に面する建具
・ C-1　・ C-2　・（　　）

⑦ 網戸 (5.2.3)(e)
⊙ 可動式　・ 固定式
防虫網の材質
・ 合成樹脂製　・ ガラス繊維入り合成樹脂製
⊙ ステンレス(SUS316)製
網目
⊙ 16メッシュ　・ 18メッシュ

8 樹脂製建具 (5.3.2)(表5.3.1) (表5.3.2)(表5.3.3) (5.3.3)(5.3.4) (5.3.5)
性能等級等
・ A種　・B種　・C種

・ 防音ドアセット、防音サッシ（等級　　）
・ 断熱ドアセット（等級　　）
ガラス　・ 複層ガラス　・（　　）
建具枠見込寸法　・図示　(図面番号：　　)
水切り　・図示　(図面番号：　　)
ぜん板　・図示　(図面番号：　　)
丁番　・(表5.7.3)による　・ 図示（図面番号：　　）

9 鋼製建具
鋼製建具の性能等級
・ 簡易気密性ドアセット
・ 外部に面する建具の耐風圧
・ S-4　・ S-5　・ S-6
・ 防音ドアセット、防音サッシ（等級　　）
・ 断熱ドアセット（等級　　）
・ 耐震ドアセット（等級　　）
・ めっき付着量　JIS G 3302　・ Z12　・ F12　・（　）
JIS G 3317　・ Y08　・（　）
・ H>2400又はW>950の建具
鋼板類の厚さ　・ 図示（図面番号：　　）

⑩ 鋼製軽量建具 (5.5.2) (5.5.5) (5.2.2)(b) (5.5.3) (5.5.4) (5.7.3)(a) (5.2.3)(a)
鋼製軽量建具の性能等級
・ 簡易気密性ドアセット
・ 外部に面する建具の耐風圧
・ S-4　・ S-5　・ S-6
・ 防音ドアセット、防音サッシ（等級　　）
・ 断熱ドアセット（等級　　）
・ 耐震ドアセット（等級　　）
・ H>2400又はW>950の建具
鋼板類の厚さ　・ 図示（図面番号：　　）
表面仕上げ
⊙ 塗装（カラー焼付塗装）
・ ビニル被覆鋼板
・ カラー鋼板
・ ステンレス鋼板（・ HL　・ 鏡面）

11 ステンレス製建具 (5.6.2) (5.4.2)
ステンレス製建具の性能等級
・ 簡易気密性ドアセット
・ 外部に面する建具の耐風圧
・ S-4　・ S-5　・ S-6
・ 防音ドアセット、防音サッシ（等級　　）
・ 断熱ドアセット（等級　　）
・ 耐震ドアセット（等級　　）

(5.6.3)
材料　・SUS304　・（　　）

(5.6.4)
表面仕上げ　・HL仕上げ　・（　　）

(5.6.5)
曲げ加工　・ 普通曲げ　・ 角出し曲げ

12 建具用金物 (5.7.2)
金物の見え掛かり部等の材質等
・ (表5.7.1)による
・ 図示（図面番号：　　）

(5.7.4)
マスターキー　・ 製作する　・ 製作しない
引渡用鍵箱　・ 必要　・ 不要

13 自動ﾄﾞｱ開閉装置 (5.8.2) (5.8.3) (表5.8.3) (5.8.3)(f)
開閉装置の性能値
・図示（図面番号：　　）

センサの種類
・図示（図面番号：　　）　・（　　）

凍結防止措置　・ あり　・ なし

⑭ 自閉式上吊り引戸装置 (5.9.3)
自閉式上吊り引戸装置の性能値
・ (表5.9.1)による　・（　　）

15 重量シャッター (5.10.2) (5.10.2)(c) (表5.10.1) (5.10.2)(f)
種類
・ 一般重量シャッター　・ 外壁用防火シャッター
・ 屋内用防火シャッター　・ 防煙シャッター
耐風圧強度　（　　Pa以上）
開閉機能
・ 上部電動式（手動併用）　・ 上部手動式

一般重量シャッターのシャッターケース
・設ける　・設けない
・設ける　・設けない
・ めっき付着量　・ Z12　・ F12　・（　）

16 軽量シャッター (5.11.2) (表5.11.1)
開閉形式
・ 上部電動式（手動併用）　・ 手動式

耐風圧強度　（　　Pa以上）
スラットの材質及び形状
・ インターロッキング形　・ オーバーラッピング形
・ めっき付着量　JIS G 3312　・ Z06　・ F06　・（　）
JIS G 3322　・ AZ90　・（　）

17 オーバーヘッドドア (5.12.2) (5.12.3)
型式及び機構
セクション材料
・ スチールタイプ　・ アルミニウムタイプ
・ ファイバーグラスタイプ

耐風圧強度　（　　Pa以上）
開閉方式
・ バランス式　・ チェーン式　・ 電動式

収納形式
・ スタンダード形　・ ローヘッド形
・ ハイリフト形　・ バーチカル形

ガイドレール
・ 溶融亜鉛めっき鋼板　・ ステンレス鋼板

⑱ ガラス材料、工法 (5.13.2)(a) (5.13.4)
板ガラス
⊙図示（図面番号：　　）

⑲ ガラス留め材 (5.13.2)(b)
ガラス留め材
⊙シーリング　・ガスケット（　　）

⑳ ガラス溝の寸法、形状等 (5.13.3)
・図示（図面番号：　　）
⊙（表5.13.1）による

21 ガラスブロック積み (5.13.5)
ガラスブロック
表面形状、寸法、厚さ　・ 図示（図面番号：　　）
金属枠、補強材　・ 図示（図面番号：　　）
化粧カバー　・ 図示（図面番号：　　）
工法
・ 図示（図面番号：　　）
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する

⑥ 内装改修工事

1 一般事項 (6.1.3)(b)
既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲

改修部分	改修範囲
・ 天井	・図示（図面番号：　　）
・ 壁	・図示（図面番号：　　）
・ 床	・図示（図面番号：　　）

(6.1.3)(c)
天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲
・ 図示（図面番号：　　）　・（　　）

(6.1.3)(f)
天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修
・ 図示（図面番号：　　）　・（　　）

② 既存床撤去、下地補修
既存床仕上げ材の除去等
浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去
(6.2.2)(a)(1)　・ 行う　・ 行わない
(6.2.2)(a)(2)
(6.2.2)(c)　合成樹脂塗り床材の除去等
・ 機械的除去工法　・ 目荒し工法

改修後の床の清掃範囲
⊙ 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲
・（　　）

3 既存壁撤去、下地補修 (6.3.2)
既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法
・（　　）

④ 木下地等 (6.5.1)(c) (表6.5.1) (6.5.2)(a)(1) (表6.5.2)
表面仕上げ　・ A種　◯ B種　・ C種　・D種

木材の含水率（工事現場搬入時、質量比）

部材名称	種別
下地材	⊙A種　・ B種
造作材	⊙A種　・ B種

(6.5.2)(b)(1)
製材
「製材の日本農林規格」による製材

部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率
下地用針葉樹製材	・図示（図面番号：　）	・（　）	
造作用針葉樹製材	・図示（図面番号：　）	・（　）	
広葉樹製材	・図示（図面番号：　）	・（　）	

(6.5.2)(b)(2)(iv) (表6.5.3)
「製材の日本農林規格」以外の製材
樹種　寸法　防虫処理、難燃処理及び含水率　・図示（図面番号：　　）
造作材の材面の品質　・ A種　・（　）
樹種

部位	樹種	県産材

(6.5.2)(b)(2)(iv)　代用樹種の使用　・禁止する　◯禁止しない

(6.5.2)(c)(i)
(6.5.2)(b)(ii)
造作用集成材
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

部位	樹種・寸法	見付け材面の等級	厚さ
造作用集成材	・図示（図面番号：　）	・（　）	
化粧ばり造作用集成材	・図示（図面番号：　）	・（　）	
化粧ばり構造用造作用集成材	・図示（図面番号：　）		

(6.5.2)(c)(ii)
「集成材の日本農林規格」以外の製材
樹種　寸法　見付け材面の品質及び厚さ　・ 図示（図面番号：　　）
含水率　・１５%以下　・（　）

(6.5.2)(d)(i)
造作用単板積層材
「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

部位	厚さ	表面の品質	防虫処理
造作用単板積層材	・図示（図面番号：　）	・（　）	

(6.5.2)(d)(ii)
「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材
厚さ 表面の品質　防虫処理　・ 図示（図面番号：　　）
含水率　・１４%以下　・（　）

(6.5.2)(e)
⊙ 床張り用合板等

部材名称	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫処理等	厚さ
ラワン合板		1類	2級	C-D		4・5.5・9・12

(6.5.5)(a)
・ 防腐、防蟻処理
適用部位　図示（図面番号　　）
保存処理性能区分（　　）
薬剤の塗布等の処理方法（　）
ボード原料接着剤への防腐・防蟻処理（　）

特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事		
		図名	建築工事特記仕様書３	縮尺 NS	図面番号 A－０３

HAKUHO Archi. Design
株式会社・ 白鳳建築設計事務所
１級建築士事務所　登録（三重１－９５７号）
〒５１８－０８１０　三重県伊賀市平野東町１０７
ＴＥＬ　0595-23-6112　ＦＡＸ　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp

承認	管理建築士	印
図面提出日　／　／	１級　２４７３７６号 田中　敏也	

(6.5.5)(b) ・ 防虫処理
・図示（図面番号　　）

5 軽量鉄骨天井下地
(6.6.2) 野縁等の種類
(表6.6.1) ・ 屋内　・ 19形　・（　　）
(6.6.3) ・ 屋外　・ 25形　・（　　）

形式及び寸法
・ 屋外　・ 図示（図面番号：　　）
・ 耐震天井　・ 図示（図面番号：　　）
・ ふところ≧1.5m　・(6.6.4)(h)　・図示（図面番号：　　）
・ ふところ>3m　・ 図示（図面番号：　　）

(6.6.4) 既存埋込みインサート
・ 使用する　・ 使用しない
既存埋め込みインサート、あと施工アンカーの引き抜き試験
・行う（図示（図面番号：　　））　・ 行わない
耐震天井
・図示（図面番号：　　）

6 軽量鉄骨壁下地
(6.7.2) スタッド、ランナーなどの種類
(6.6.4)(a)(1) ・ 図示（図面番号：　　）

(7) ピニル床シート、ピニル床タイル及びゴム床タイル張り
材料
⊙ ピニル床シート 【JIS A 5705（ビニル系床材）】

種類の記号	色　柄	厚　さ	備考
(6.8.2)			
(6.8.2)(a) FS	無　地	2.5mm	
(6.8.2)(b) FS	マーブル	2.0mm	抗菌性

・ ビニル床タイル 【JIS A 5705（ビニル系床材）】

種　類	厚　さ	備　考
半硬質ビニル床タイル	2.0mm	

(6.8.2)(c)(1) ・ 帯電防止床シート、床タイル

種　類	性　能	厚　さ	備考

(6.8.2)(c)(2) ・ 視覚障害者用床タイル

種　類	形　状	備　考
ビニル床タイル	300×300×7.0mm	

(6.8.2)(c)(3) ・ 耐動荷重性床シート

種　類	性　能	厚　さ	備考

(6.8.2)(c)(4) ・ 防滑性床シート

種　類	性　能	厚　さ	備考

(6.8.2)(e) ・ ゴム床タイル

種　類	厚　さ	備　考

(6.8.3)(a) 工法
下地
⊙ モルタル下地　・ 木下地
・ その他（　　）
(6.8.3)(b) 熱溶接工法　⊙ 適用する　・ 適用しない
ビニル床シート張り

8 カーペット敷き
・ 織じゅうたん

種別	パイル形状	帯電性	品質の程度
(6.9.3)(a) ・ A種 (表6.9.1) ・ B種 ・ C種	・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット、ループ併用	・人体帯電圧3KV以下 ・（　）	・（　）

品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。（以下同様）

(6.9.3)(b) ・ タフテッドカーペット

パイル形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度
(表6.9.2) ・ カットパイル ・ ループパイル ・ レベルループパイル、ループ併用		・人体帯電圧3KV以下 ・（　）	・全面接着工法 ・グリッパー工法	・（　）

(6.9.3)(c) ・ ニードルパンチカーペット

厚さ(mm)	帯　電　性	備　考
	・ 人体帯電圧3KV以下 ・	

(6.9.3)(d) ・ タイルカーペット

種類	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度
(表6.9.2)	・ カットパイル ・ ループパイル	・500×500 ・（　）	・6.5 ・（　）	・（　）

(6.9.3)(e) 下敷き材　・　第2種第2号、厚さ8mm　・（　　）
(6.9.3) 見切り、押え金物　・適用する（材質、形状等　・図示（図面番号：　　））
(6.9.4)(e)) 敷き方

平　場	・ 市松敷き　・ 模様流し　・（　　）
階段部分	・ 市松敷き　・ 模様流し　・（　　）

9 合成樹脂塗床
(6.10.3)(b)(1) 弾性ウレタン塗床の仕上げ種類、工程
(表6.10.4) ・ 平滑仕上げ　・ 防滑仕上げ　・ つや消し仕上げ
(6.10.3)(b)(2) エポキシ樹脂塗床の仕上げ種類
(表6.10.4)～(表6.10.8) ・ 薄膜流し展べ仕上げ　・ 厚膜流し展べ仕上げ（・平滑　・防滑）
・ 樹脂モルタル仕上げ（・平滑　・防滑）　・ 防滑仕上げ

10 フローリング張り
(6.11.6) ・ モルタル埋込み工法
(表6.11.6) フローリングブロック(単位:mm)

樹　種	厚さ	寸法	備　考
・ なら	15	303×303	辺材部分には、防虫処理を行う
・（　）			

(6.11.4) ・ 釘留め工法
(表6.11.2)

材　料	種　別	樹　種
・ フローリングボード（根太張用）		・なら ・（　）
・ 複合フローリング（根太張用）	・ A種 ・ B種 ・ C種	

防湿処理　・図示（図面番号：　　）
(6.11.5) ・ 接着工法
(表6.11.3)

材　種	樹　種	厚　さ	大きさ
・ フローリングボード（直張用）	・ なら ・（　）		
・ フローリングブロック（直張用）			
・ 複合１種フローリング（直張用） ・ A種			
・ 複合２種フローリング（直張用） ・ B種			
・ 複合３種フローリング（直張用） ・ C種			
・ モザイクパーケット（直張用）	・（　）	・（　）	・（　）

(6.11.7)(2) 緩衝材　・合成樹脂発泡シート　・図示（図面番号：　　）
塗装
・ ウレタン樹脂ワニス塗り（１液形、B種）
・ オイルステイン塗りのうえワックス塗り
・ 生地のままワックス塗り
・（　　）

11 畳敷き
(6.12.2) 種別　・ A種　・ B種　・ C種　・ D種
(表6.12.1) ・ 空き室工事終了後、焼けに対する養生をすること。
・ 建材畳　Ⅱ型

(12) せっこうボード、その他ボード及び合板張り

材　種	種　別	厚さ(mm)	
(6.13.2) ・せっこうボード		壁	・9.5(準不燃) ・12.5(準不燃)
(表6.13.1)		天井	・9.5(準不燃) ・12.5(準不燃)
・化粧せっこうボード	・トラバーチン模様	・9.5(準不燃)	
	・木目模様	・9.5(準不燃)	
・ロックウール化粧吸音板	・普通	・9	
	・立体模様		
・けい酸カルシウム板	・タイプⅡ0.8FK		
⊙耐水せっこうボード		⊙12.5(不燃)	

(6.13.2)(h) 遮音シール材
・シーリング材　・ ジョイントコンパウンド
(6.13.3)(e)(3) 合板類の張付け
⊙ A種　⊙ B種
(6.13.3)(g)(1) せっこうボードの目地工法
(表6.13.5) ⊙ 継目処理　・ 突付け　・ 目透し

13 壁紙張り
(6.14.2)

施　工　箇　所	品質の程度	防火性能
便所壁	ＡＡ級	・不燃　・準不燃
		・不燃　・準不燃
		・不燃　・準不燃

(14) モルタル塗り
(6.15.3) 既製目地材
・ 使用する（形状　　）
(6.15.6) 床の目地　・図示（図面番号：　　）
(6.11.6) 緩衝材　・図示（図面番号：　　）

(15) タイル張り
(6.16.2) 伸縮調整目地
位置　・ 図示（図面番号：　　）
(6.16.3) タイルの種類

施工箇所	形状寸法	工法	用途による区分	すべり抵抗性	区分 Ⅰ類（磁器）	Ⅱ類（せっ器）	Ⅲ類（陶器）	うわぐすり	役物	耐薬品性	特注色	耐凍害 性有無
床	ﾓｻﾞｲｸ				◯							
壁	100角				◯							
床(点字)	300角											

(6.16.3)(a)(3) 試験張り　・　行う　・ 行わない
見本焼き　・　行う　・ 行わない
(6.16.5) コンクリート素地面の目荒らし工法　・行う

16 セルフレベリング材塗り
(6.17.2) ・ せっこう系　・ セメント系
塗厚　（　）mm

17 断熱材
(9.5.2) 断熱材打込み工法
種類　・ A種　・ B種

種　類	種　別	厚さ（mm）	施工箇所
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム			
・ 押出法ポリスチレンフォーム			
・ 硬質ウレタンフォーム			
・ フェノールフォーム			

(9.5.3) 断熱材現場発泡工法（吹付硬質ウレタンフォーム）

種類	厚さ（mm）	施　工　箇　所
・Ａ種１ ・Ａ種２ ・Ａ種３	・（　） ・（　）	・窓回り等の断熱材補修部分、ルーフドレン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所 ・（　　）

(7) 塗装改修工事

1 材料
(7.1.3)(b) ・ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・ 次の箇所を除き防火材料とする。（箇所　　）

(2) 下地調整
(7.2.1)～(7.2.7) 既存塗膜の除去範囲（塗り替えでＲＢ種の場合）
(表7.2.1)～(表7.2.7) ・図示（図面番号：　　）
種別

下　地	種　別	ひび割れ部の補修
⊙ 木部	・ RA種 ⊙ RB種 ・ RC種	
⊙ 鉄鋼面	・ RA種 ⊙ RB種 ・ RC種	
・ 亜鉛めっき鋼面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	
⊙ モルタル、プラスター面	・ RA種 ⊙ RB種 ・ RC種	・行う
・ コンクリート、ALCパネル面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・行う
・ コンクリート、押出成形セメント板面	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・行う
⊙ せっこうボード、その他ボード面	・ RA種 ⊙ RB種 ・ RC種	

(3) 錆止め塗料塗り
(7.3.2) 錆止め塗料種別
(表7.3.1) ⊙鉄鋼面
(7.3.3) 屋外　A種
屋内　⊙ A種　・　B種
(表7.3.3)～(表7.3.4) ・亜鉛めっき鋼面
・ A種　・ B種　・ C種

錆止め塗料塗り種別
鉄鋼面　・ A種　・ B種　・ C種
亜鉛めっき鋼面　・ A種　・ B種　・ C種

(4) 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)
(7.4.2) 塗料種別　⊙ 1種　・（　　）
(7.4.3～7.4.5) 種別
(表7.4.1)～(表7.4.3)

下　地	種　別
・ 木部	・ A種 ・ B種 ・ C種
⊙ 鉄鋼面	・ A種 ⊙ B種 ・ C種
・ 亜鉛めっき鋼面	・ A種 ・ B種 ・ C種

5 クリヤラッカー塗り(CL)
(7.5.2) 種別
(表7.5.1) 木部　・　A種　・　B種

6 フタル酸樹脂エナメル塗り(FE)
(7.6.2)～(7.6.3) 種別

下　地	適　用
・ 木部	(表7.6.1参照)
・ 鉄面及び亜鉛めっき鋼面	(表7.6.1参照)

7 アクリル樹脂系非水分散形塗料(NAD)
(7.7.2) 種別
(表7.7.1) ・ A種　・　B種

8 耐候性塗料塗り(DP)
(7.8.2)～(7.8.4) 上塗り等級
(表7.8.1)～(表7.8.3) ・１級（フッ素系）　・２級（ｼﾘｺﾝ系）　・３級（ｳﾚﾀﾝ系）

下地	種　別
鉄鋼面	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種
亜鉛めっき鋼面	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種
コンクリート面及び押出成形セメント板面	・Ａ－１種　・Ａ－２種 ・Ｂ－１種　・Ｂ－２種 ・Ｃ－１種　・Ｃ－２種

9 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)
(7.9.2)～(7.9.5) 種別
(表7.9.1)～(表7.9.4)

下地	種　別
コンクリート、モルタル、プラスター、せっこうボード、その他ボード面	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種 しみ止め（　　）
木部（屋内）	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種
鉄鋼面（屋内）	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種
亜鉛めっき鋼面（屋内）	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種

10 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)
(7.10.2) 種別
(表7.10.1) ・ A種　⊙ B種　・　C種
しみ止め　・（　　）

11 合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)
(7.11.2) 種別
(表7.11.1)～(表7.11.3) ・ A種　・　B種　・　C種

12 ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)
(7.13.2) 種別
(表7.13.1) ・ A種　⊙ B種

13 ラッカーエナメル塗り(LE)
(7.13.2) 種別
(表7.13.1) ・ A種　・　B種

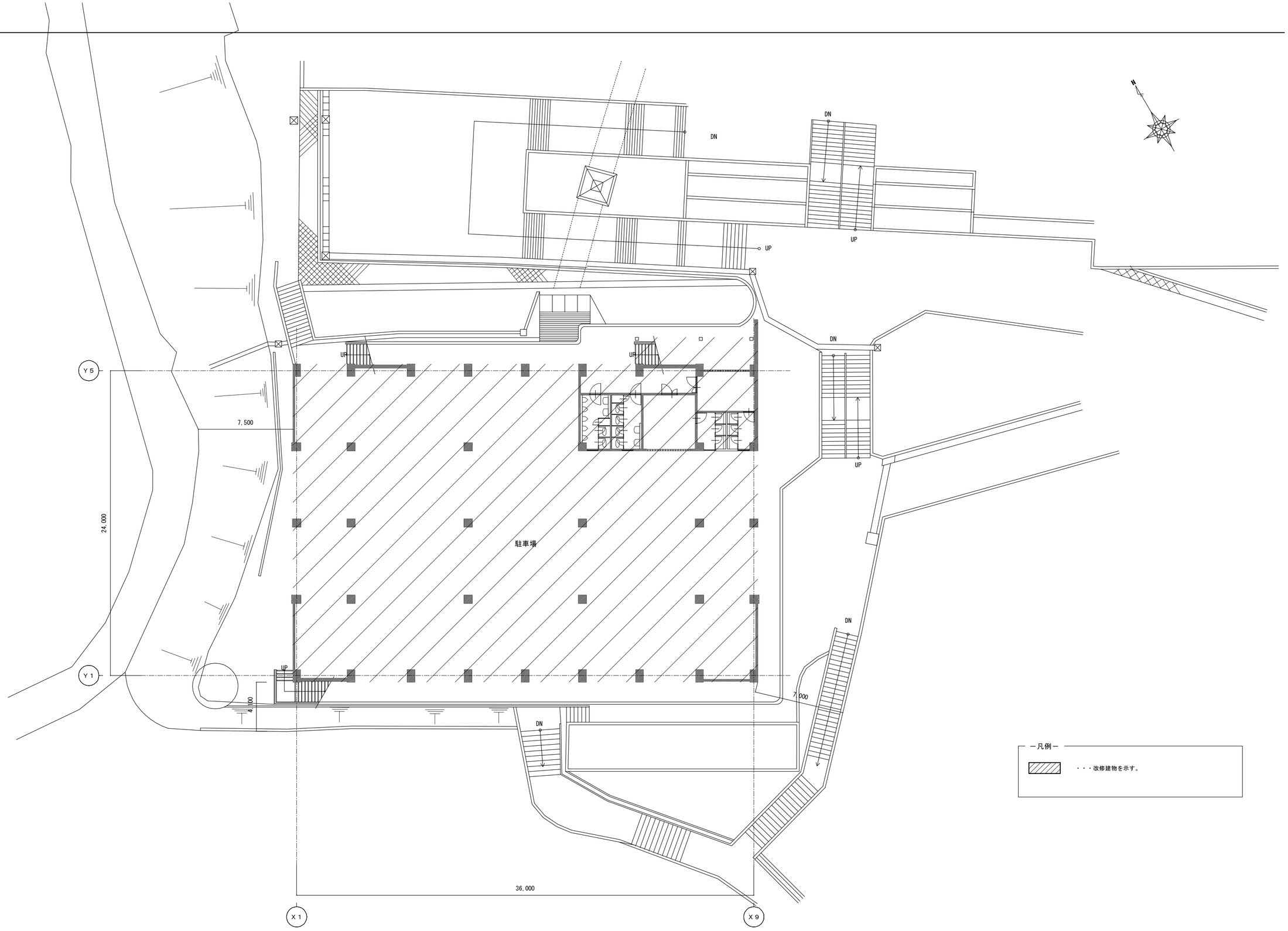
14 ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗り(OS)
(7.14.2) ・　（表７．１４．１参照）

15 木造保護塗料塗り(WP)
(7.15.2) 種別
(表7.15.1) ・ A種　・　B種

特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事
		図名	建築工事特記仕様書４
		縮尺	ＮＳ
		図面番号	Ａ－０４

HAKUHO Archi. Design
株式会社・ 白鳳建築設計事務所
１級建築士事務所　登録（三重１－９５７号）
〒５１８－０８１０　三重県伊賀市平野東町１０７
ＴＥＬ　0595-23-6112　ＦＡＸ　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp

承認	管理建築士	印
図面提出日　／　／	1級　２４７３７６号 田中　敏也	



－凡例－

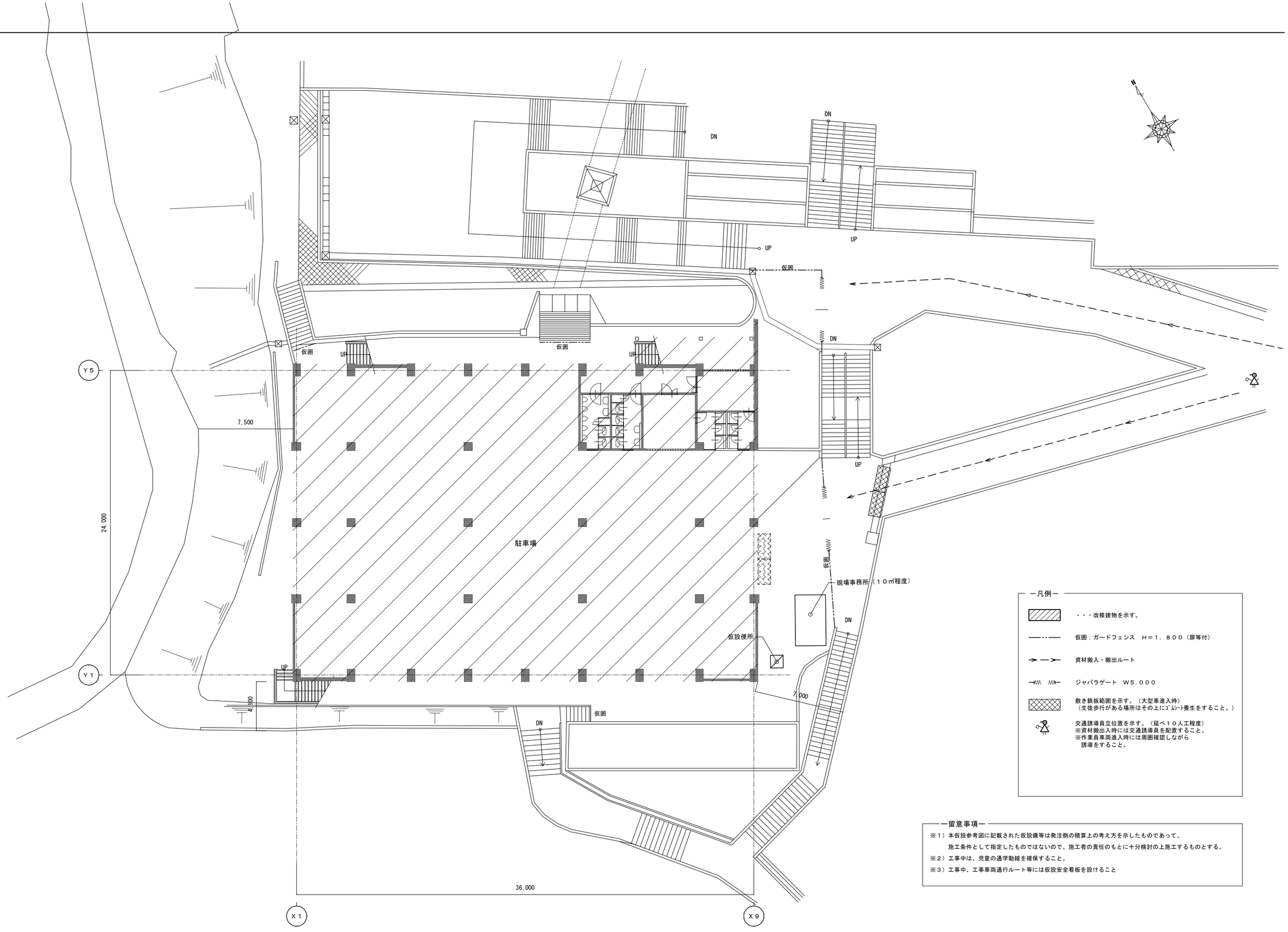
・・・改修建物を示す。

配置図　　Ｓ＝１／２００

特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事		
		図名	配置図	縮尺 Ｓ＝１／２００	図面番号 Ａ－０５

HAKUHO Archi. Design
株式会社・白鳳建築設計事務所
１級建築士事務所　登録（三重１－９５７号）
〒５１８－０８１０　三重県伊賀市平野東町１０７
ＴＥＬ　0595-23-6112　ＦＡＸ　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp

承認	管理建築士	印
図面提出日 ／ ／	１級　２４７３７６号 田中　敏也	



配置図　　Ｓ＝１／２００

－凡例－

・・・改修建物を示す。

仮囲：ガードフェンス　Ｈ＝１，８００（扉等付）

資材搬入・搬出ルート

ジャバラゲート　Ｗ５，０００

敷き鉄板範囲を示す。（大型車進入時）
（生徒歩行がある場所はその上にｺﾝｸﾘｰﾄ養生をすること。）

交通誘導員立位置を示す。（延べ１０人工程度）
※資材搬出入時には交通誘導員を配置すること。
※作業員車両進入時には周囲確認しながら
誘導をすること。

－留意事項－

※１）本仮設参考図に記載された仮設備等は発注側の積算上の考え方を示したものであって、
施工条件として指定したものではないので、施工者の責任のもとに十分検討の上施工するものとする。
※２）工事中は、児童の通学動線を確保すること。
※３）工事中、工事車両通行ルート等には仮設安全看板を設けること

特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事		
		図名	仮設計画図	縮尺 Ｓ＝１／２００	図面番号 Ａ－０６

HAKUHO Archi. Design
株式会社・白鳳建築設計事務所
１級建築士事務所　登録（三重１－９５７号）
〒５１８－０８１０　三重県伊賀市平野東町１０７
ＴＥＬ　0595-23-6112　ＦＡＸ　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp

承認					管理建築士	印
					１級　２４７３７６号 田中　敏也	
図面提出日	／　／					

内　部　仕　上　表

F	室名			床	巾木	H	腰壁	壁	天井	天井高	廻縁	備考
1	駐車場	現況	下地	土　厚１００　一部撤去		５００	▷	コンクリート打放し　シゴキ処理	コンクリート打放し　シゴキ処理	３２００	―	
			仕上	砂利敷　厚１００　一部撤去	コンクリート打放し　シゴキ処理			アクリルリシン吹付　現況のまま	アクリルリシン吹付　現況のまま			
		改修後	下地			５００	▷	現況のまま、一部ＣＢ積部分モルタル金ゴテ押え	現況のまま	３２００	―	スロープ　新設 目隠しフェンス　新設 現場打ち側溝Ｗ１５０、グレーチング　新設
			仕上	アスファルト舗装　新設	現況のまま			現況のまま、一部ＣＢ積部分アクリルリシン吹付	現況のまま			
	通路	現況	下地	モルタルコテ押え		５０ ～ １００	▷	コンクリート打放し　シゴキ処理	コンクリート打放し　シゴキ処理	２８００	塩ビ製	
			仕上	磁器質　１５０角タイル貼り	モルタル金ゴテ押え			アクリルリシン吹付　現況のまま	アクリルリシン吹付　現況のまま			
		改修後	下地	現況のまま		６０	▷	一部　ＬＧＳ　新設	現況のまま	２８００	現況のまま	
			仕上	現況のまま	一部ＳＵＳ製　新設			一部　耐水ＰＢ１２．５　ＥＰ　新設	現況のまま			
	男子更衣室	現況	下地	モルタルコテ押え		１００	▷	モルタルコテ押え	ＬＧＳ	２５００	塩ビ製	脱衣棚　現況のまま
			仕上	長尺ビニルシート　厚２．５　撤去	ソフト巾木　撤去			ＡＥＰ	フレキシブルボード　厚４　ＥＰ			
		改修後	下地	現況のまま		１００	▷	現況のまま、一部ＣＢ積部分モルタル金ゴテ押え	現況のまま	２５００	現況のまま	
			仕上	長尺ビニルシート　厚２．５　新設	ソフト巾木　新設			現況のまま、一部ＣＢ積部分ＥＰ　新設	現況のまま			
	女子更衣室	現況	下地	モルタルコテ押え		１００	▷	モルタルコテ押え	ＬＧＳ	２５００	塩ビ製	脱衣棚　現況のまま
			仕上	長尺ビニルシート　厚２．５　撤去	ソフト巾木　撤去			ＡＥＰ	フレキシブルボード　厚４　ＥＰ			
		改修後	下地	現況のまま		１００	▷	現況のまま	現況のまま	２５００	現況のまま	
			仕上	長尺ビニルシート　厚２．５　新設	ソフト巾木　新設			現況のまま	現況のまま			
	男子便所	現況	下地	モルタルコテ押え　撤去		―	▷	モルタルコテ押え　Ｙ４通り撤去	ＬＧＳ	２５００	塩ビ製	トイレブース　撤去 スイングドア　撤去
			仕上	ポリコンモザイクタイル貼　撤去	―			半磁器質１００角タイル貼り　Ｙ４通り撤去	フレキシブルボード　厚４　ＶＰ			
		改修後	下地	コンクリートコテ押え　厚１００　新設 ワイヤメッシュ６φ１５０角　新設 モルタルコテ押え　新設		―	▷	設備改修部分：モルタル補修、　Ｙ４通りモルタル金ゴテ押え	現況のまま	２４００	現況のまま	トイレブース　新設、引き戸　新設、 排水溝Ｗ１５０、ＳＵＳ製細目グレーチング　新設、 換気扇撤去跡ＳＵＳプレート　新設、 ピクトサイン　新設
			仕上	ポリコンモザイクタイル貼　新設	―			設備改修部分、Ｙ４通り：半磁器質１００角タイル貼り　新設	現況のまま			
	女子便所	現況	下地	モルタルコテ押え　撤去		―	▷	モルタルコテ押え　Ｙ４通り撤去	ＬＧＳ	２５００	塩ビ製	トイレブース　撤去 スイングドア　撤去
			仕上	ポリコンモザイクタイル貼　撤去	―			半磁器質１００角タイル貼り　Ｙ４通り撤去	フレキシブルボード　厚４　ＶＰ			
		改修後	下地	コンクリートコテ押え　厚１００　新設 ワイヤメッシュ６φ１５０角　新設 モルタルコテ押え　新設		―	▷	設備改修部分：モルタル補修、　Ｙ４通りモルタル金ゴテ押え	現況のまま	２４００	現況のまま	トイレブース　新設、引き戸　新設、 排水溝Ｗ１５０、ＳＵＳ製細目グレーチング　新設、 換気扇撤去跡ＳＵＳプレート　新設、 ピクトサイン　新設
			仕上	ポリコンモザイクタイル貼　新設	―			設備改修部分、Ｙ４通り：半磁器質１００角タイル貼り　新設	現況のまま			
	男子シャワー室	現況	下地	モルタルコテ押え　撤去		―	▷	モルタルコテ押え　Ｙ４通り撤去	ＬＧＳ	２３００	塩ビ製	間仕切スクリーン　脱着復旧、 排水溝　Ｗ１５０　撤去
			仕上	ポリコンモザイクタイル貼　撤去	―			半磁器質１００角タイル貼り　Ｙ４通り撤去	フレキシブルボード　厚４　ＶＰ			
		改修後	下地	コンクリートコテ押え　厚６０　新設 ワイヤメッシュ６φ１５０角　新設 モルタルコテ押え　新設		―	▷	設備改修部分：モルタル補修、　Ｙ４通りモルタル金ゴテ押え	現況のまま	２２４０	現況のまま	間仕切スクリーン　脱着復旧、 排水溝　Ｗ１５０　新設、樹脂製細目グレーチング　新設、
			仕上	ポリコンモザイクタイル貼　新設	―			設備改修部分、Ｙ４通り：半磁器質１００角タイル貼り　新設	現況のまま			
	女子シャワー室	現況	下地	モルタルコテ押え　撤去		―	▷	モルタルコテ押え　Ｙ４通り撤去	ＬＧＳ	２３００	塩ビ製	間仕切スクリーン　脱着復旧、 排水溝　Ｗ１５０　撤去
			仕上	ポリコンモザイクタイル貼　撤去	―			半磁器質１００角タイル貼り　Ｙ４通り撤去	フレキシブルボード　厚４　ＶＰ			
		改修後	下地	コンクリートコテ押え　厚６０　新設 ワイヤメッシュ６φ１５０角　新設 モルタルコテ押え　新設		―	▷	設備改修部分：モルタル補修、　Ｙ４通りモルタル金ゴテ押え	現況のまま	２２４０	現況のまま	間仕切スクリーン　脱着復旧、 排水溝　Ｗ１５０　新設、樹脂製細目グレーチング　新設、
			仕上	ポリコンモザイクタイル貼　新設	―			設備改修部分、Ｙ４通り：半磁器質１００角タイル貼り　新設	現況のまま			
2	体育館	現況	下地	軽鉄床組、耐火合板　厚１５		１００	▷	木製胴縁　一部撤去	ＬＧＳ　撤去	７７００ ～ ９７００	アルミ製 撤去	バスケットゴール　６基　撤去 吊縄　撤去
			仕上	ジムフローリング　厚１８　ウレタン樹脂仕上	ラワン合板 厚３０　ＯＰ			アビトンフローリング貼り　ＯＳ　一部撤去	周囲：木毛板　厚２５　撤去 中央：ＰＢ 厚９．０ ＥＰ　撤去、アルミルーバー　撤去			
		現況	下地	現況のまま		１００	▷	壁：木製胴縁　一部新設 柱：モルタルコテ押え　一部新設	―	８５００ ～ １１８００	―	バスケットゴール　２基　新設、吊りバトン　脱着復旧、 壁掛スピーカー転落防止改修、 タテ格子　新設、サッシ改修
			仕上	現況のまま	現況のまま			壁：しな合板 厚５．５ 捨て張りの上、しな合板 厚４　目透かし張り　ＵＣ　一部新設 柱：吹付けタイル小模様仕上（室内用）　一部新設	既設見え掛り鉄部（梁・母屋・配管等）　ＳＯＰ 野地板硬質木毛セメント板 厚１８あらわし			
	多目的便所	現況	下地	ｱｽﾌｧﾙﾄ防水８層、保護ﾓﾙﾀﾙ厚２０、軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ厚５０・・・現況のまま モルタル金ゴテ押え　撤去			▷	モルタルコテ押え	ＬＧＳ	２４００	塩ビ製	アコーディオンドア　撤去
			仕上	ポリコンモザイクタイル貼　撤去	―			半磁器質１００角タイル貼り	フレキシブルボード　厚４　ＶＰ			
		改修後	下地	コンクリートコテ押え　厚１００　新設 ワイヤメッシュ６φ１５０角　新設 モルタルコテ押え　新設		６０	▷	設備改修部分：モルタル補修	現況のまま	２３００	現況のまま	ピクトサイン　新設、 折れ戸　新設、設備壁嵩上げ
			仕上	抗菌性長尺ビニルシート　厚２．０　新設	―			設備改修部分：半磁器質１００角タイル貼り　新設	現況のまま			
	玄関ホール	現況	下地	モルタルコテ押え　撤去		１００	▷	モルタルコテ押え	ＬＧＳ	２４００	塩ビ製	
			仕上	長尺ビニルシート　厚２．５　新設	ソフト巾木			吹付けタイル小模様仕上（室内用）	ロックウール吸音板　厚１２（キューブ）			
		改修後	下地	現況のまま		１００	▷	一部ＬＧＳ　新設	現況のまま	２３００	現況のまま	
			仕上	現況のまま	ソフト巾木　一部新設			一部ＰＢ１２．５　ＥＰ　新設	現況のまま			
3	ギャラリー	現況	下地	モルタルコテ押え		１００	▷	モルタルコテ押え	ＬＧＳ　撤去 周囲：木毛板　厚２５　撤去 中央：ＰＢ 厚９．０ ＥＰ　撤去、アルミルーバー　撤去	４６７０	アルミ製 撤去	
			仕上	カラートップＵ塗り	ソフト巾木			吹付けタイル小模様仕上（室内用）				
		改修後	下地	現況のまま		１００	▷	壁：木製胴縁　一部新設 柱：モルタルコテ押え　一部新設	―	直天	―	
			仕上	現況のまま	現況のまま			壁：しな合板 厚５．５ 捨て張りの上、しな合板 厚４　目透かし張り　ＵＣ　一部新設 柱：吹付けタイル小模様仕上（室内用）　一部新設	既設見え掛り鉄部（梁・母屋・配管等）　ＳＯＰ			

防火材料認定番号

けい酸カルシウム板　厚６（０．８ＦＫ）	不　燃	ＮＭ－８５７６	石こうボード　厚９．５（ＧＢ－Ｒ）	準不燃	ＱＭ－９８２８
ＳＯＰ、ＥＰ	不　燃	ＮＭ－８５８５	石こうボード　厚１２．５（ＧＢ－Ｒ）	不　燃	ＮＭ－８６１９
	準不燃	ＱＭ－９８１６	耐水石こうボード　厚１２．５（ＧＢ－Ｓ）	不　燃	ＮＭ－８５８５
	難　燃	ＲＭ－９３６４			

シックハウス対策仕様

接着剤（現場施工）	エポキシ樹脂系接着剤	規制対象外建材を使用（Ｆ☆☆☆☆）
塗料（現場施工）	ＳＯＰ、ＥＰ	規制対象外建材を使用（Ｆ☆☆☆☆）
壁	石こうボード	告示対象外建材
床	磁器質タイル	告示対象外建材

ソノ他

※ 既設撤去材：アスベスト含有材料なし

※ 化学物質の濃度測定（体育室）

特記

工事名　笠置小学校屋内運動場天井等改修工事

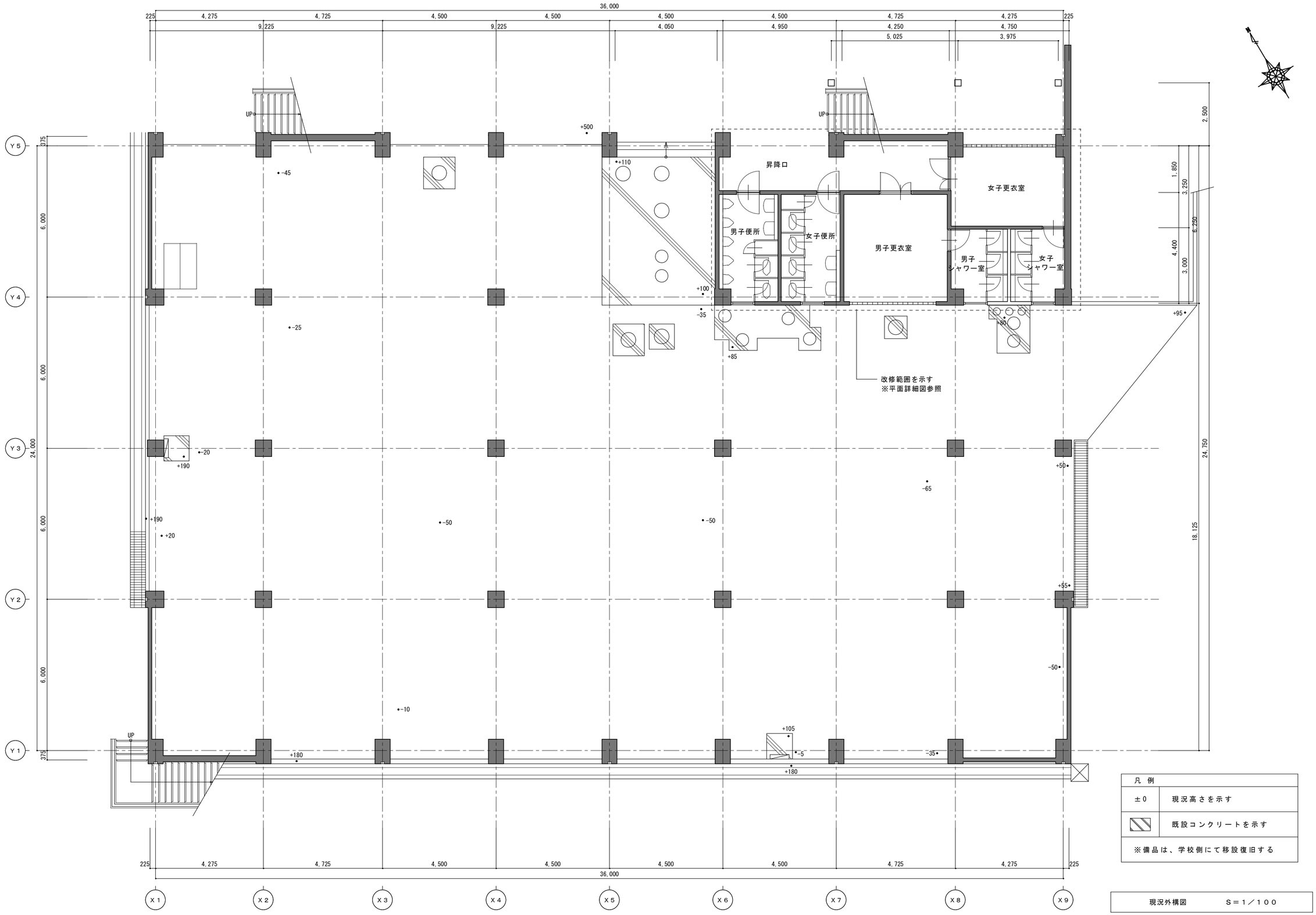
図名　仕上表　／　縮尺　ＮＳ　／　図面番号　Ａ－０７

株式会社・白鳳建築設計事務所
HAKUHO Archi. Design
１級建築士事務所　登録（三重１－９５７号）
〒５１８－０８１０　三重県伊賀市平野東町１０７
ＴＥＬ　0595-23-6112　ＦＡＸ　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp

承認　／　図面提出日　／　／

管理建築士　１級　２４７３７６号　田中　敏也

印



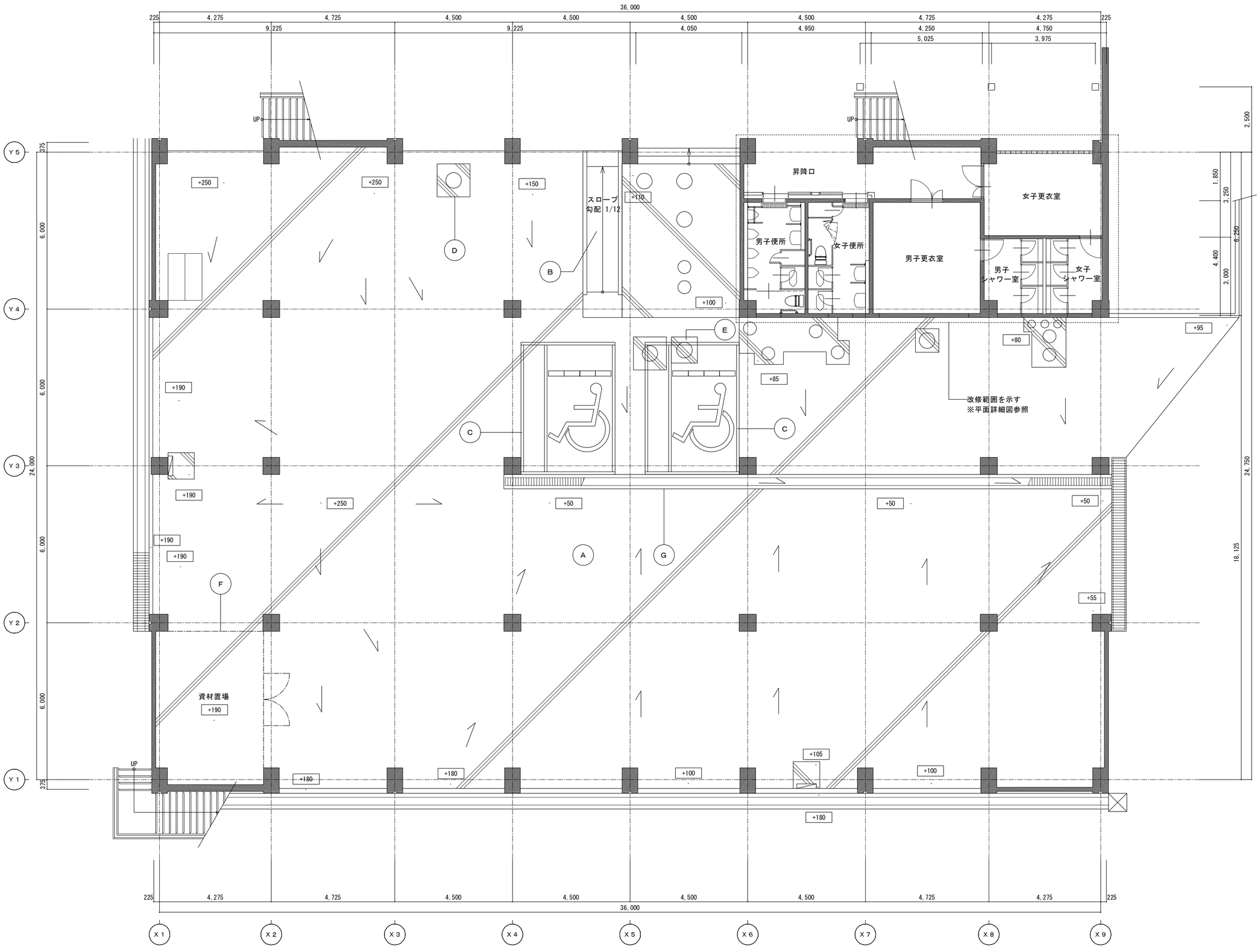
凡 例	
±0	現況高さを示す
	既設コンクリートを示す
※備品は、学校側にて移設復旧する	

現況外構図　　S＝1／100

特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事		
		図名	現況１階平面図	縮尺 S＝1／100	図面番号 A－08

HAKUHO Archi. Design
株式会社 白鳳建築設計事務所
1級建築士事務所　登録（三重1－957号）
〒518－0810　三重県伊賀市平野東町107
TEL 0595-23-6112　FAX 0595-23-6132
E-mail hakuho@ict.ne.jp

承認				管理建築士	印
				1級 247376号 田中 敏也	
図面提出日	／ ／				



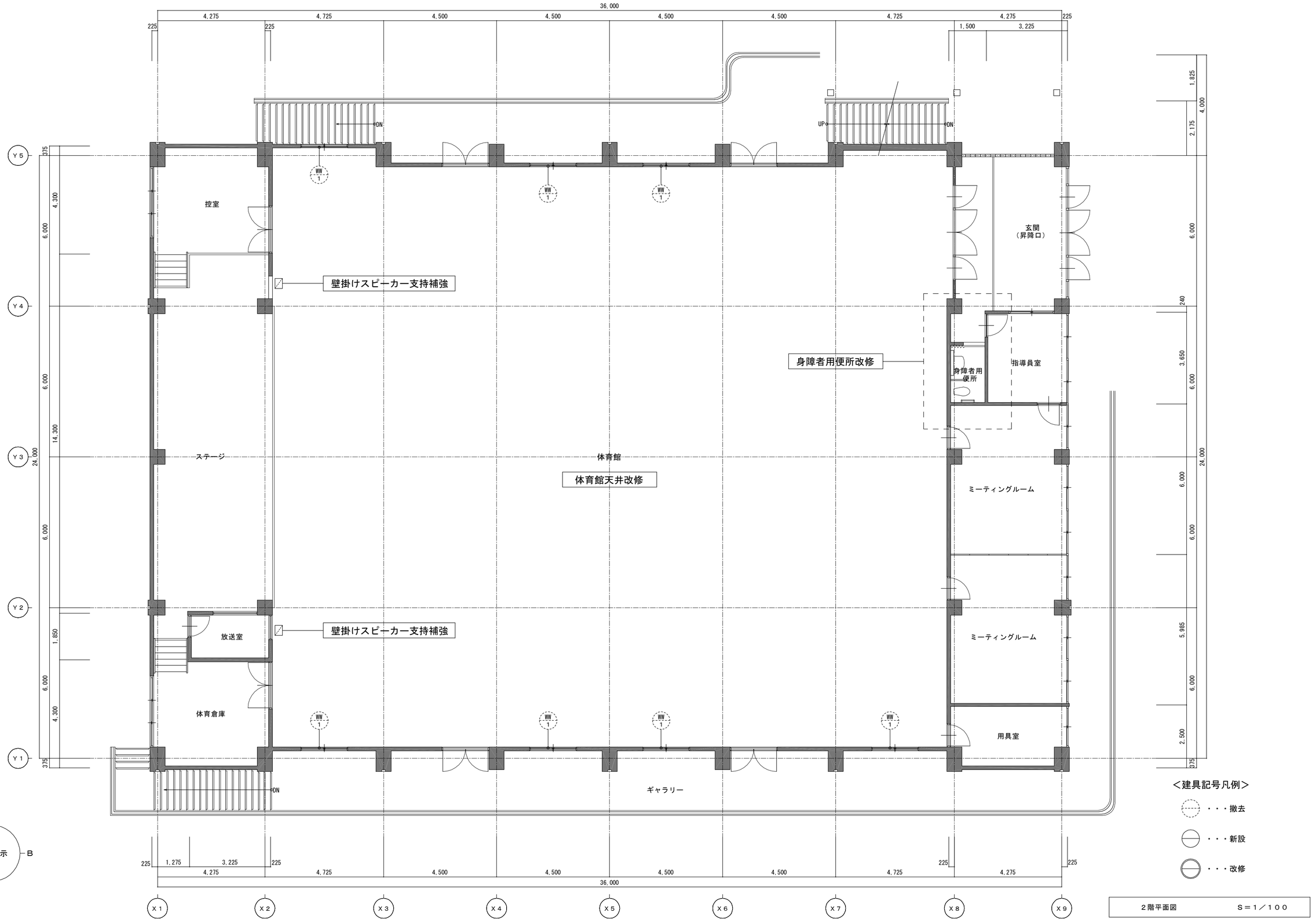
凡 例	
A	アスファルト舗装 新設 密粒度アスコン50、再生路盤材150
B	スロープ 新設 点字タイル・アルミ手摺共 ※詳細図参照
C	ライン引き 新設 ※詳細図参照
D	マンホール嵩上げ
E	マンホール廻り コンクリート補修
F	目隠しフェンス H=1,800 新設 門扉 W=2,000 H=1,800 新設 ※詳細図参照
G	現場打ち側溝 W=150 H=125 新設 ｽﾁｰﾙｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 亜鉛メッキ T-14 ※詳細図参照
	コンクリート舗装を示す
	アスファルト舗装を示す
±0	計画高さを示す

改修後外構図　　S＝1／100

特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事		
		図名	改修後　1階平面図	縮尺 S＝1／100	図面番号 A－09

HAKUHO Archi. Design
株式会社・白鳳建築設計事務所
1級建築士事務所　登録（三重1－957号）
〒518－0810　三重県伊賀市平野東町107
TEL　0595-23-6112　FAX　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp

承認				管理建築士	印
				1級　247376号 田中　敏也	
図面提出日	／　／				



＜建具記号凡例＞

・・・撤去

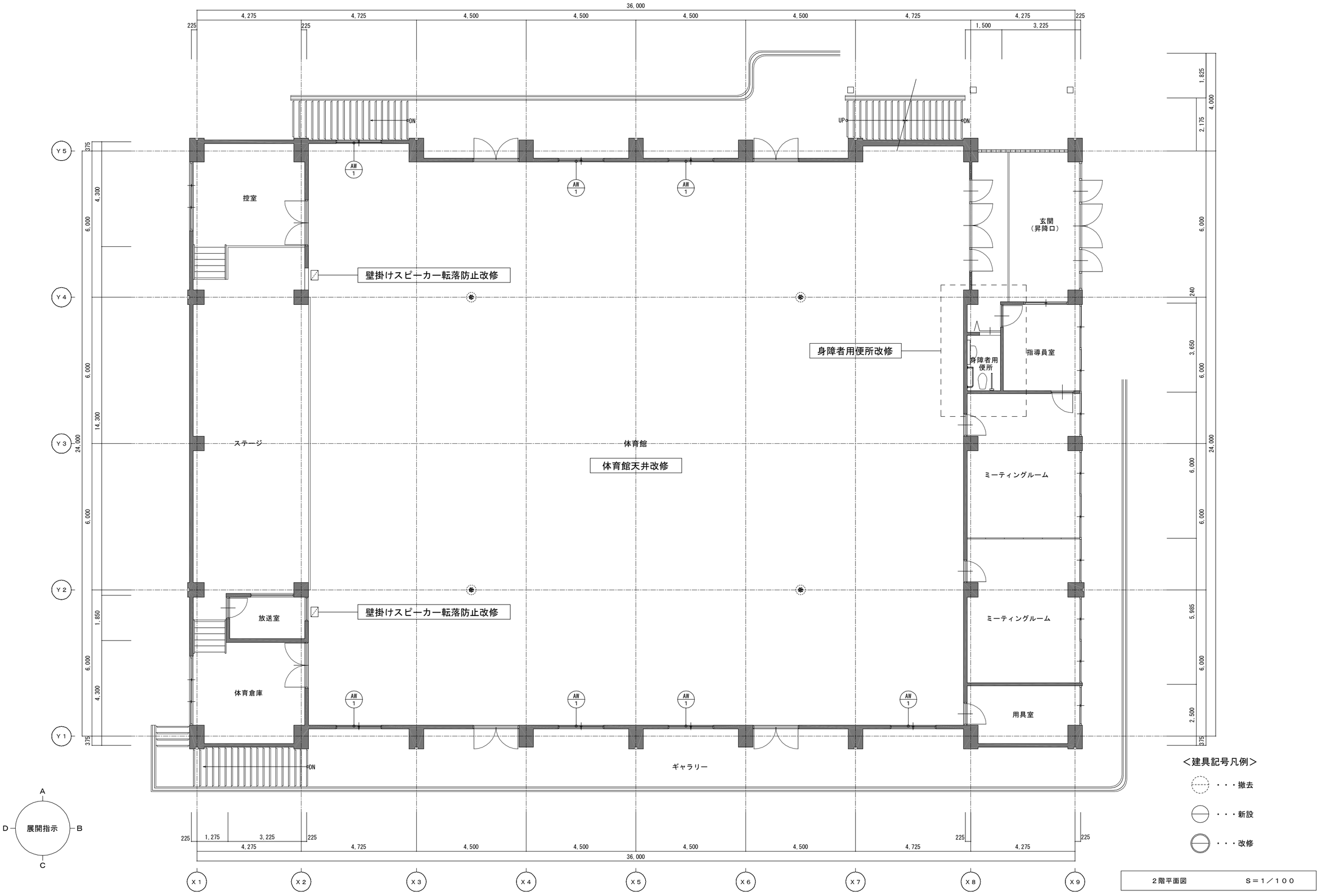
・・・新設

・・・改修

２階平面図　　Ｓ＝１／１００

特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事			承認	管理建築士	印
		図名	現況　２階平面図	縮尺	Ｓ＝１／１００	図面提出日　／　／	１級　２４７３７６号 田中　敏也	
				図面番号	Ａ－１０			

HAKUHO Archi. Design
株式会社・　白鳳建築設計事務所
１級建築士事務所　登録（三重１－９５７号）
〒５１８－０８１０　三重県伊賀市平野東町１０７
ＴＥＬ　0595-23-6112　ＦＡＸ　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp



＜建具記号凡例＞

・・・撤去

・・・新設

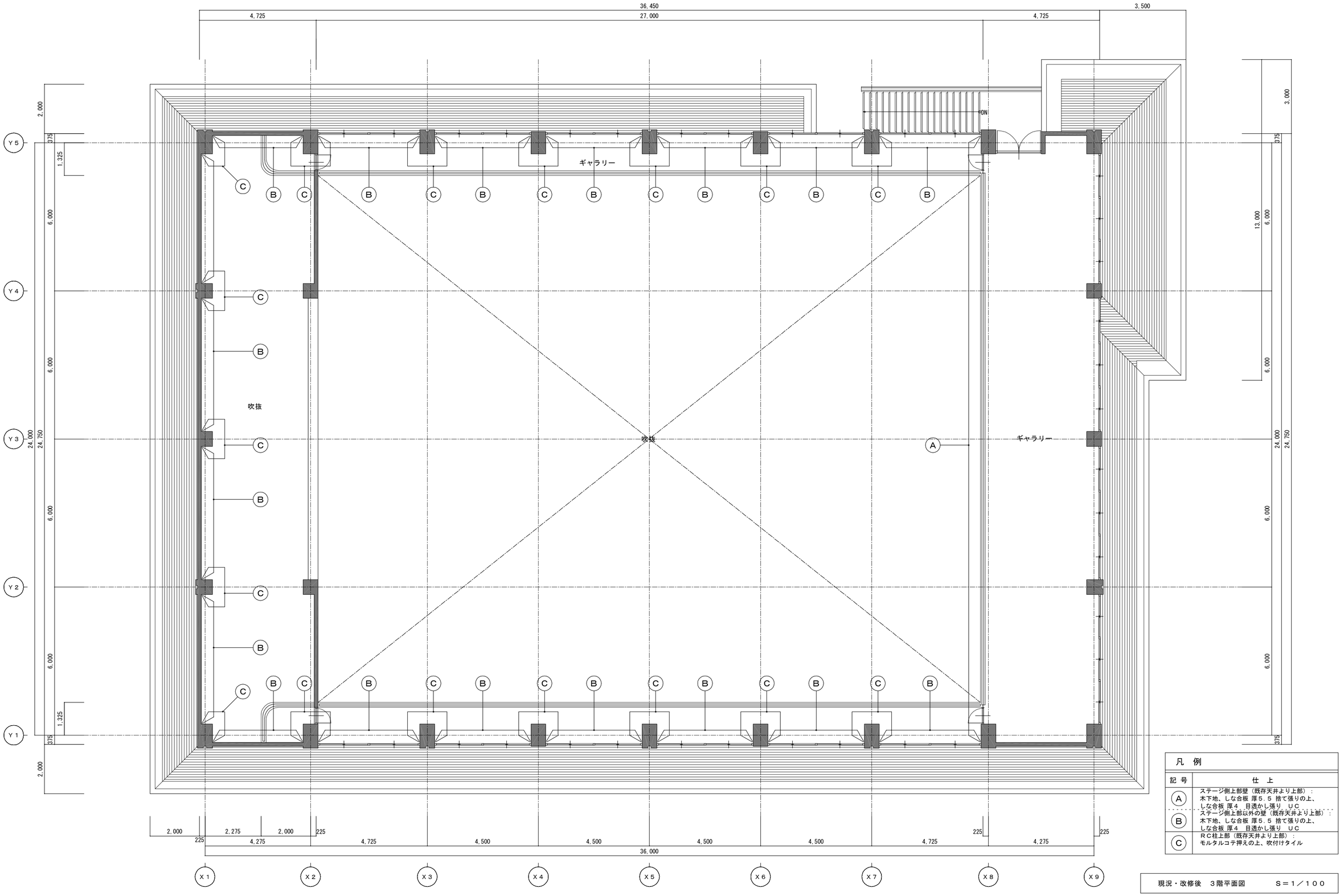
・・・改修

２階平面図　　Ｓ＝１／１００

特記	㊫・・・化学物質の濃度測定箇所を示す（４箇所）	工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事		
		図名	改修後　２階平面図	縮尺	Ｓ＝１／１００
				図面番号	Ａ－１１

HAKUHO Archi. Design
株式会社・白鳳建築設計事務所
１級建築士事務所　登録（三重１－９５７号）
〒５１８－０８１０　三重県伊賀市平野東町１０７
ＴＥＬ　0595-23-6112　ＦＡＸ　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp

承認			管理建築士	印
			１級　２４７３７６号	
図面提出日	／　／		田中　敏也	



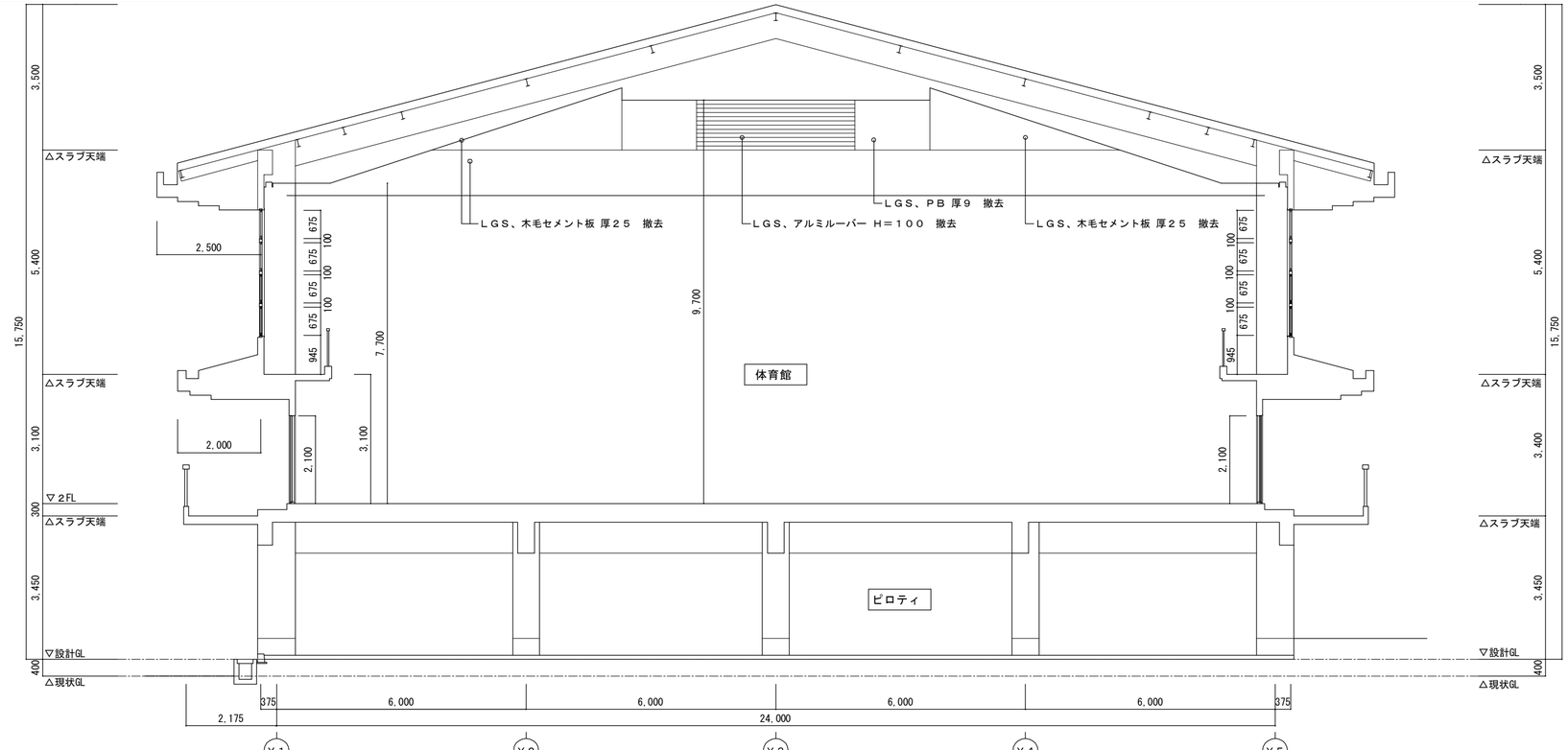
凡　例

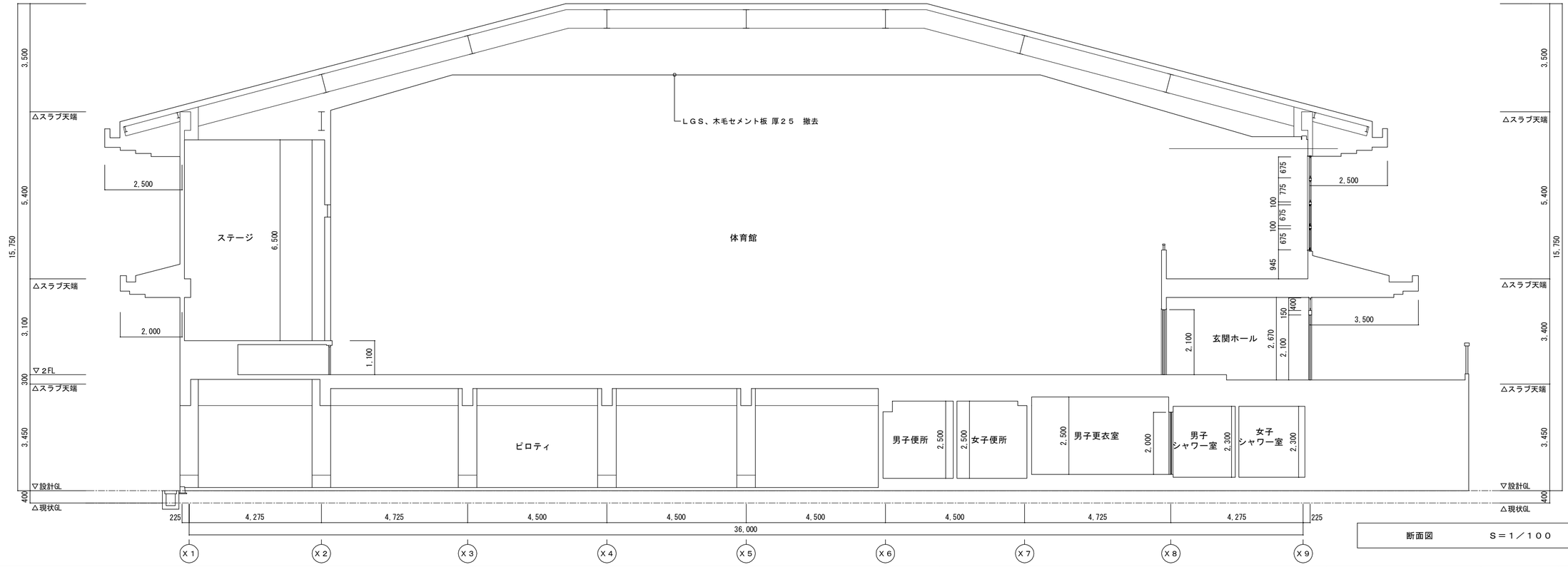
記号	仕　上
A	ステージ側上部壁（既存天井より上部）： 木下地、しな合板 厚５．５ 捨て張りの上、 しな合板 厚４　目透かし張り　ＵＣ
B	ステージ側上部以外の壁（既存天井より上部）： 木下地、しな合板 厚５．５ 捨て張りの上、 しな合板 厚４　目透かし張り　ＵＣ
C	ＲＣ柱上部（既存天井より上部）： モルタルコテ押えの上、吹付けタイル

現況・改修後　３階平面図　　Ｓ＝１／１００

特記	３階平面図：改修内容なし	工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事			承認	管理建築士	印
		図名	現況・改修後　３階平面図	縮尺	Ｓ＝１／１００		1級　２４７３７６号 田中　敏也	
				図面番号	Ａ－１２	図面提出日	／　／	

HAKUHO Archi. Design
株式会社・白鳳建築設計事務所
１級建築士事務所　登録（三重１－９５７号）
〒５１８－０８１０　三重県伊賀市平野東町１０７
ＴＥＬ　0595-23-6112　ＦＡＸ　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp



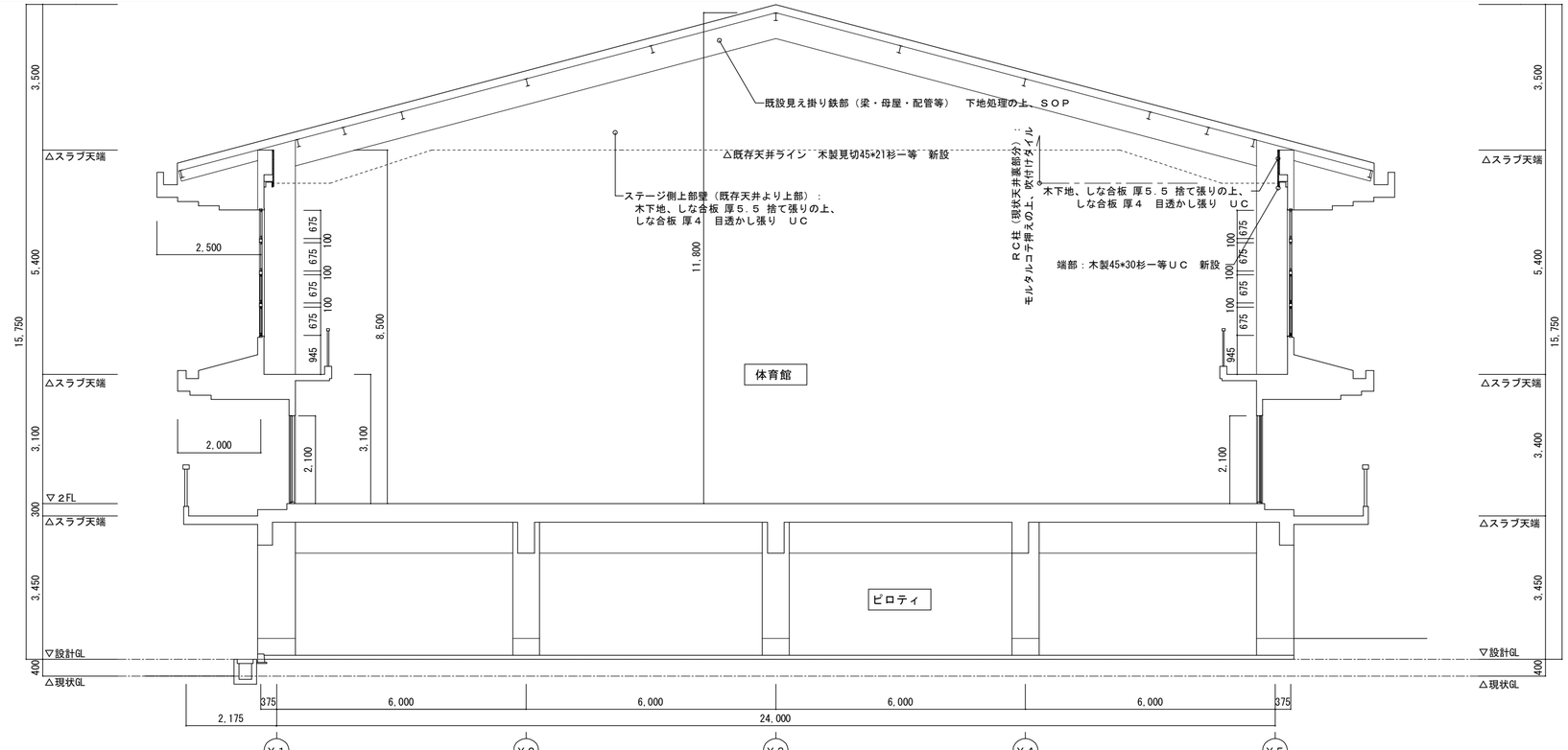


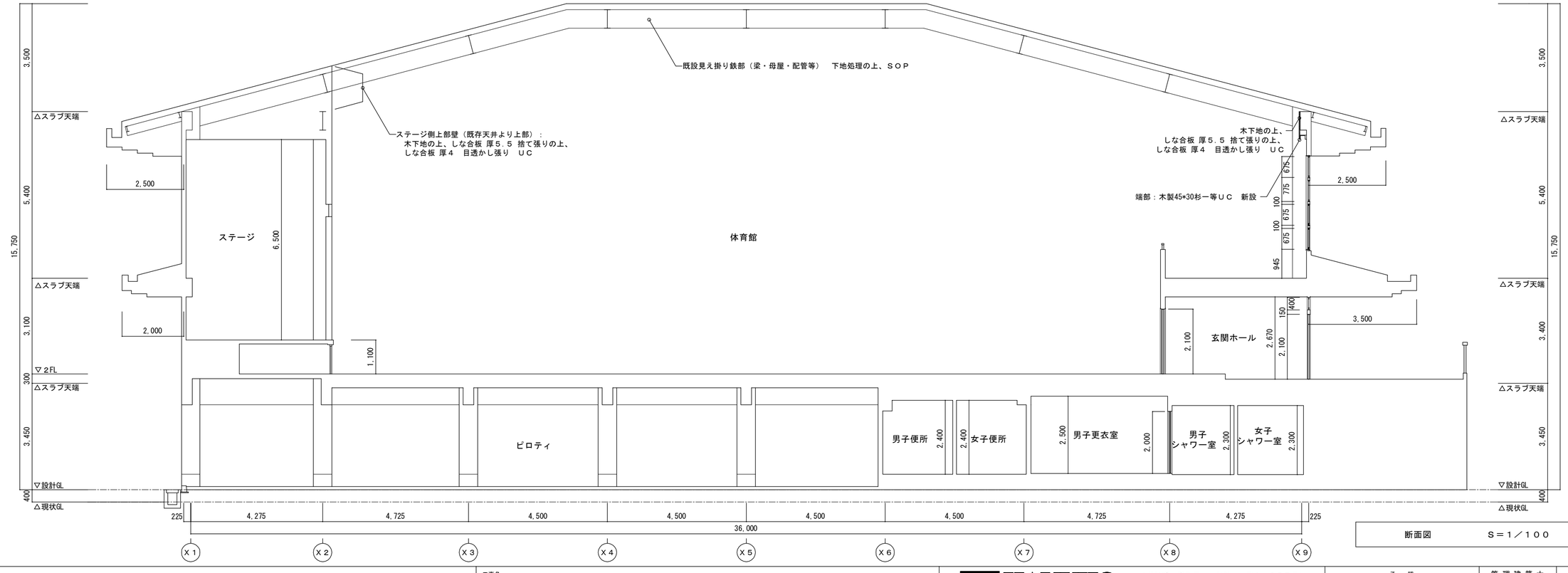
断面図　　S＝1／100

特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事		
		図名	現況　断面図	縮尺 S＝1／100	図面番号 A－13

HAKUHO Archi. Design
株式会社・白鳳建築設計事務所
1級建築士事務所　登録（三重1－957号）
〒518－0810　三重県伊賀市平野東町107
TEL　0595-23-6112　FAX　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp

承認					管理建築士	印
					1級　247376号 田中　敏也	
図面提出日	／　／					



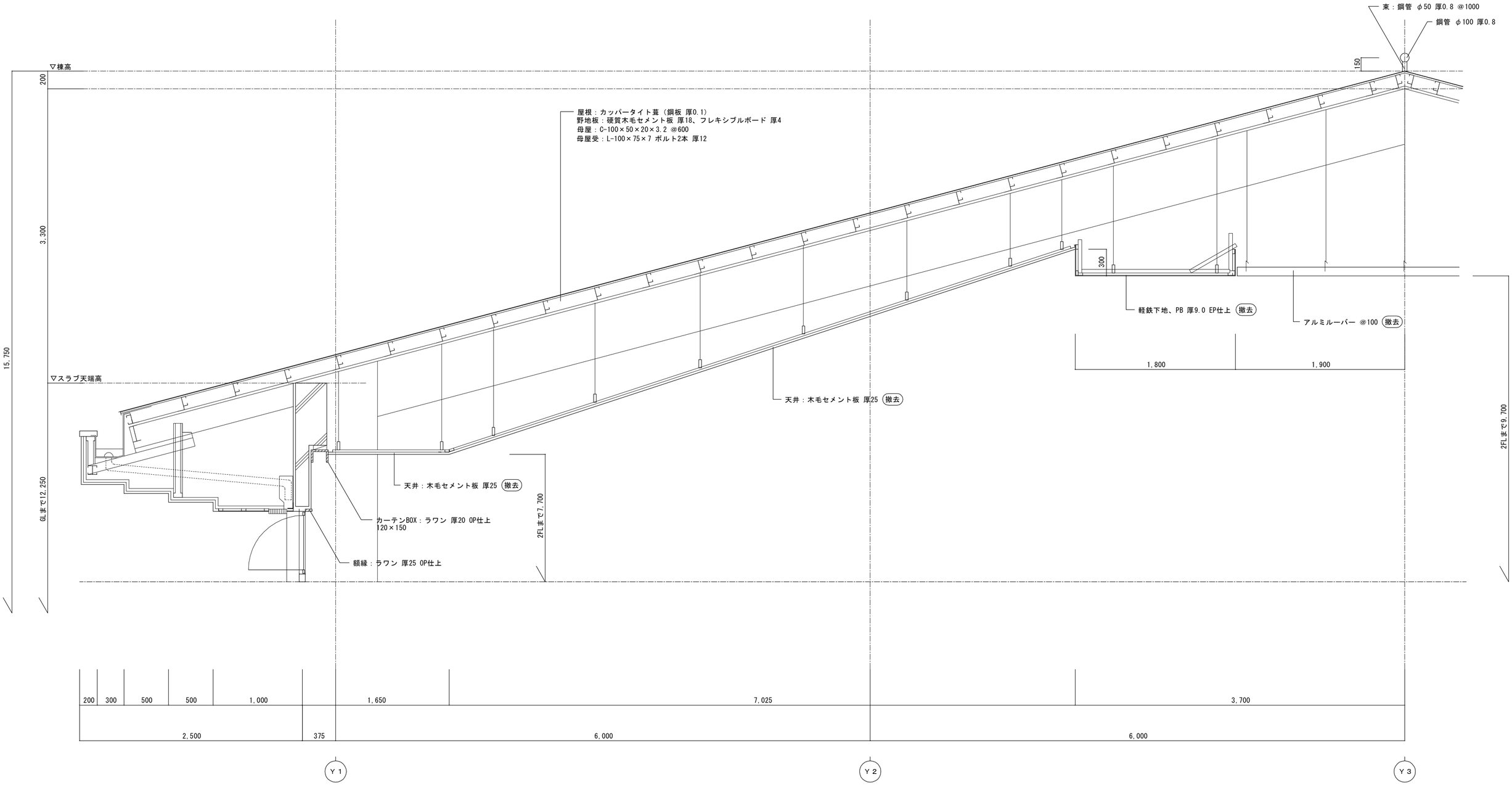


断面図　　Ｓ＝１／１００

特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事		
		図名	改修後　断面図	縮尺 Ｓ＝１／１００	図面番号 Ａ－１４

HAKUHO Archi. Design
株式会社・白鳳建築設計事務所
１級建築士事務所　登録（三重１－９５７号）
〒５１８－０８１０　三重県伊賀市平野東町１０７
ＴＥＬ　0595-23-6112　ＦＡＸ　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp

承認	管理建築士	印
図面提出日　／　／	１級　２４７３７６号 田中　敏也	

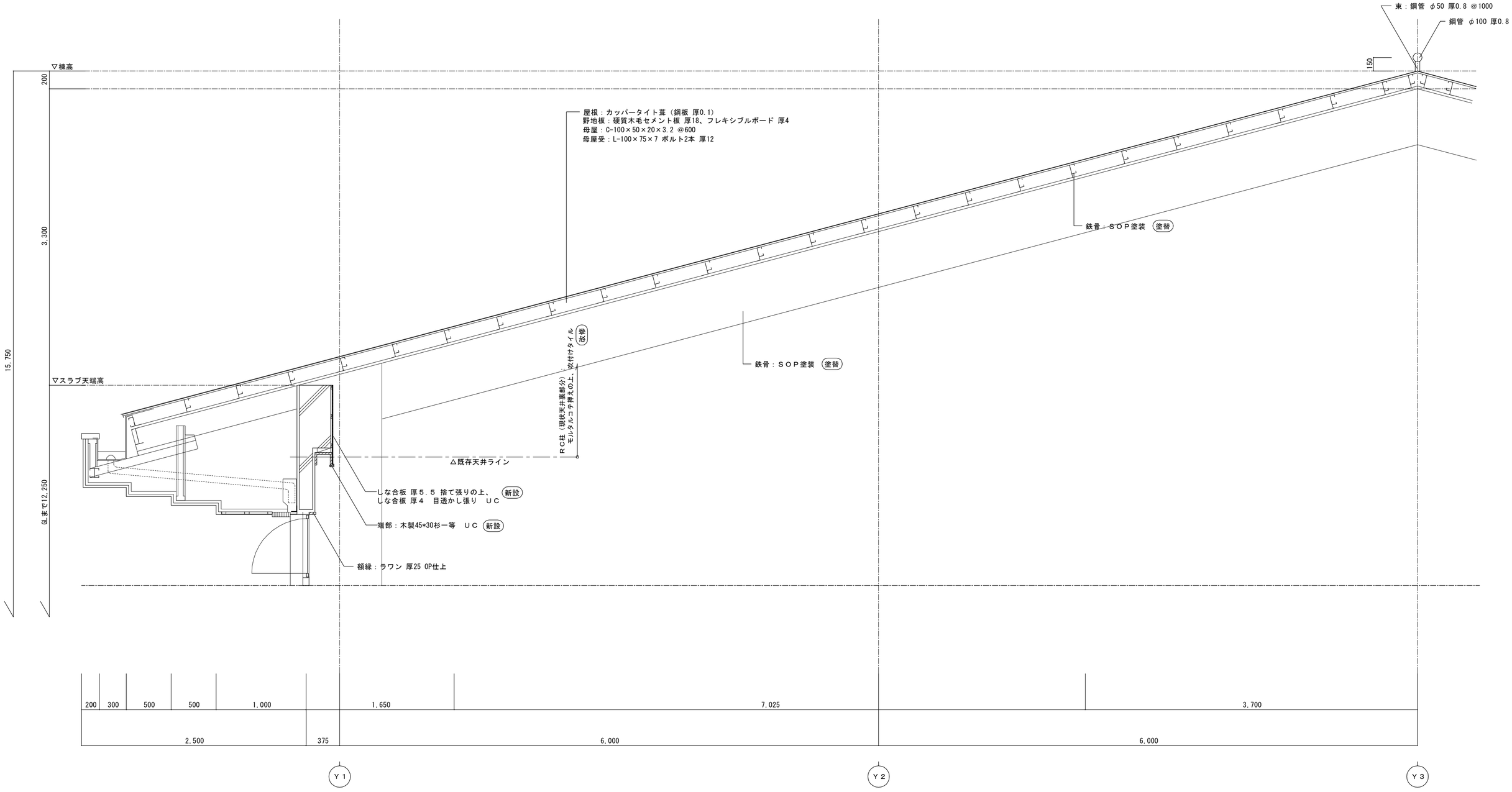


現況　屋根断面詳細図　　S＝1／30

特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事		
		図名	現況　屋根断面詳細図	縮尺 S＝1／30	図面番号 A－15

HAKUHO Archi. Design
株式会社・ 白鳳建築設計事務所
1級建築士事務所　登録（三重1－957号）
〒518－0810　三重県伊賀市平野東町107
TEL　0595-23-6112　FAX　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp

承認				管理建築士	印
				1級　247376号 田中　敏也	
図面提出日	／　／				



現況　屋根断面詳細図　　Ｓ＝１／３０

特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事			承認	管理建築士
		図名	改修後　屋根断面詳細図	縮尺	Ｓ＝１／３０	図番号	Ａ－１６

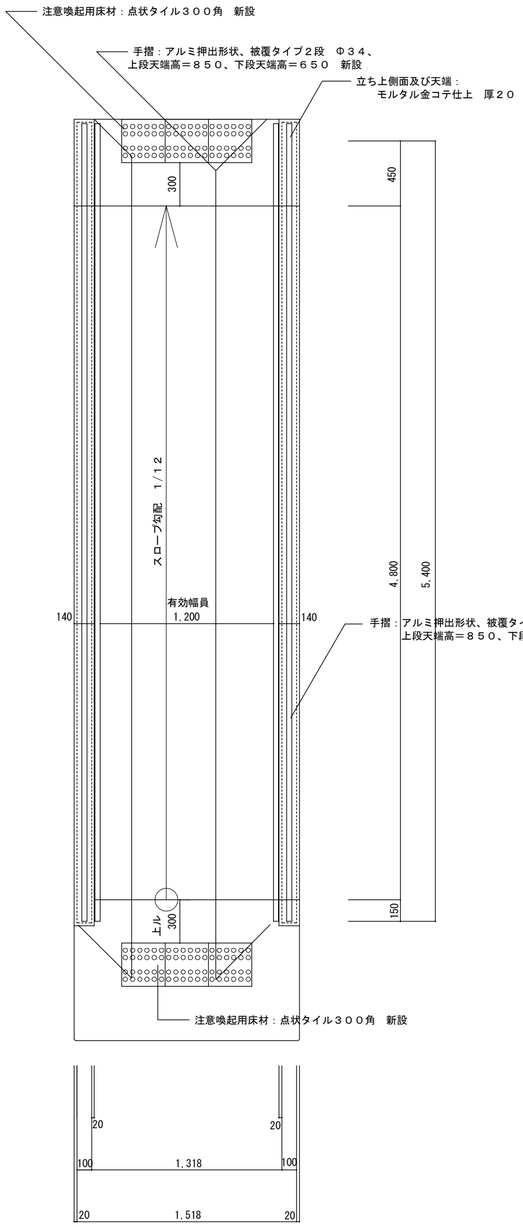
HAKUHO Archi. Design
株式会社・白鳳建築設計事務所
１級建築士事務所　登録（三重１－９５７号）
〒５１８－０８１０　三重県伊賀市平野東町１０７
ＴＥＬ　0595-23-6112　ＦＡＸ　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp

図面提出日　／　／

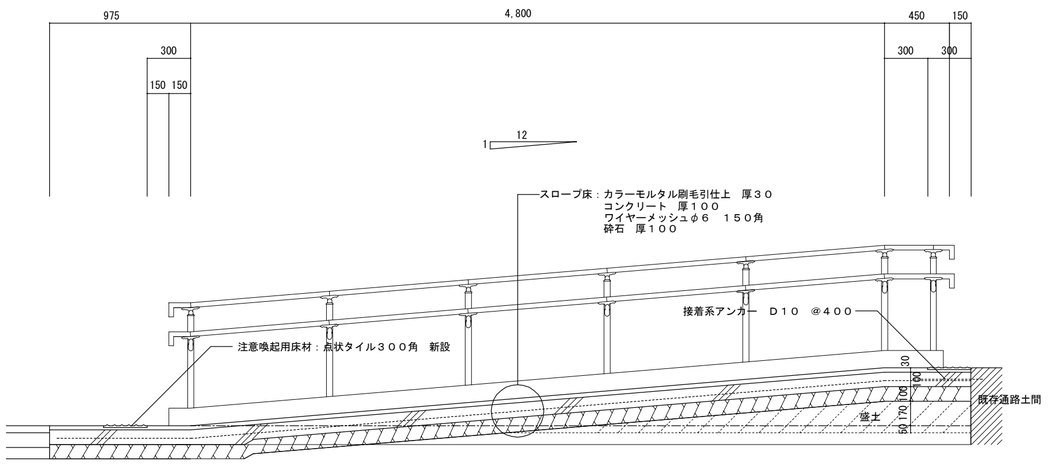
１級　２４７３７６号
田中　敏也

印

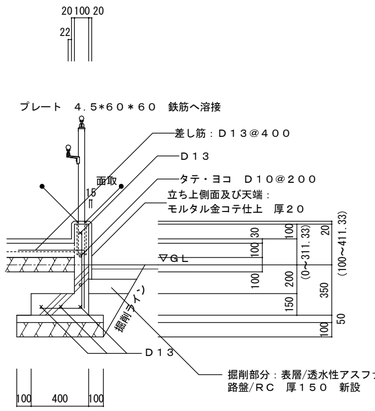
スロープ　詳細図　S=1/30



スロープ平面詳細図　　Ｓ＝１／３０

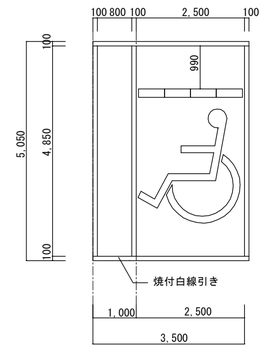


スロープ断面詳細図　　Ｓ＝１／３０

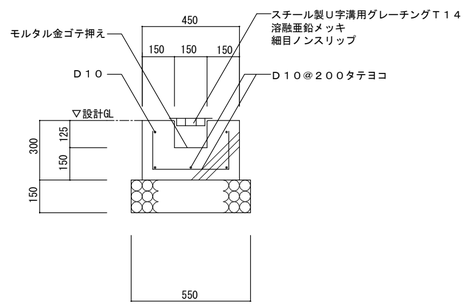


スロープ手摺詳細図　　Ｓ＝１／３０

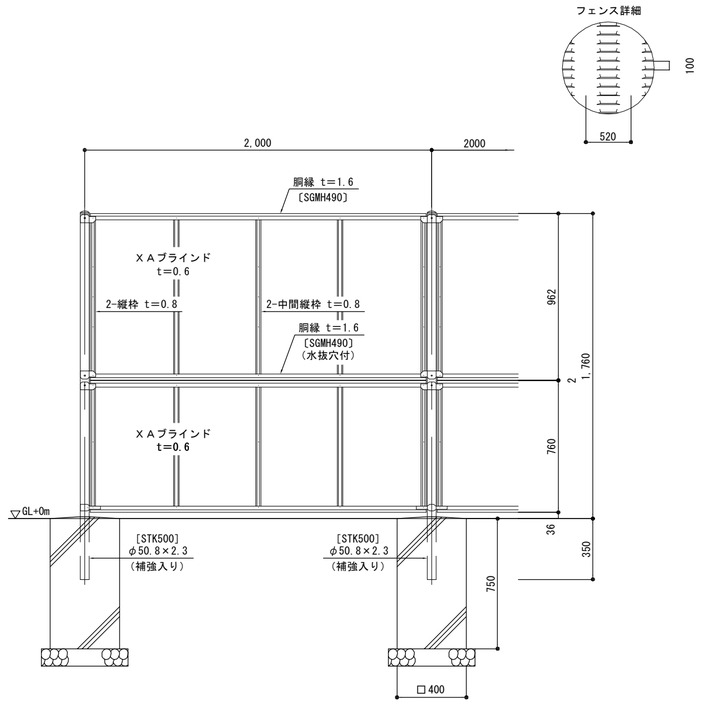
焼付白線引き　詳細図　S=1/100



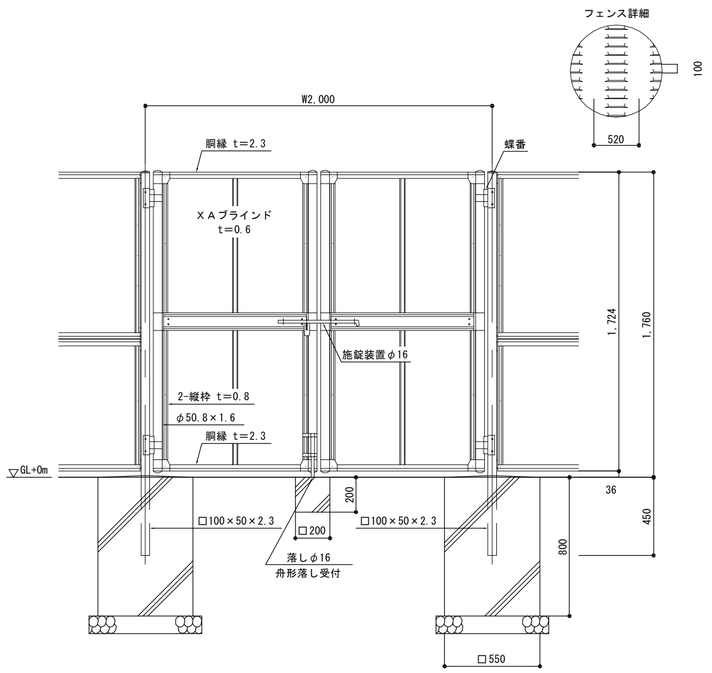
現場打ち側溝　詳細図　S=1/50



目かくしフェンス　詳細図（参考図）　S=1/50



目かくしフェンス両開き門扉　詳細図（参考図）　S=1/50



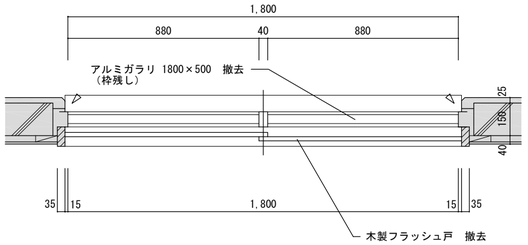
特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事	
		図名	部分詳細図　1	縮尺　図示　／　図面番号　Ａ－１７

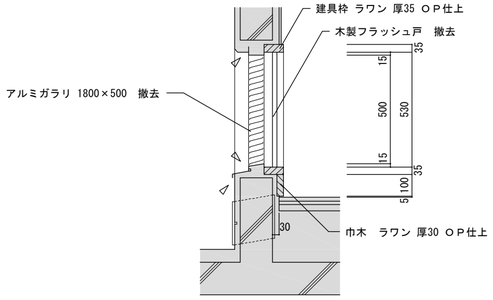
HAKUHO Archi. Design
株式会社・白鳳建築設計事務所
１級建築士事務所　登録（三重１－９５７号）
〒５１８－０８１０　三重県伊賀市平野東町１０７
ＴＥＬ　0595-23-6112　ＦＡＸ　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp

承認	管理建築士	印
図面提出日　／　／	１級　２４７３７６号 田中　敏也	

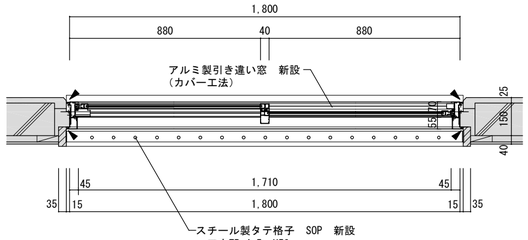
体育館サッシ改修　　S=1:20

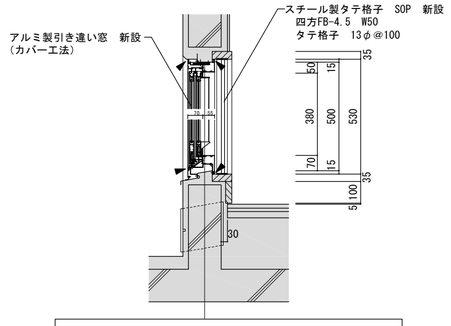
現況 → 改修後





アリーナ換気窓詳細図　　Ｓ＝１／２０



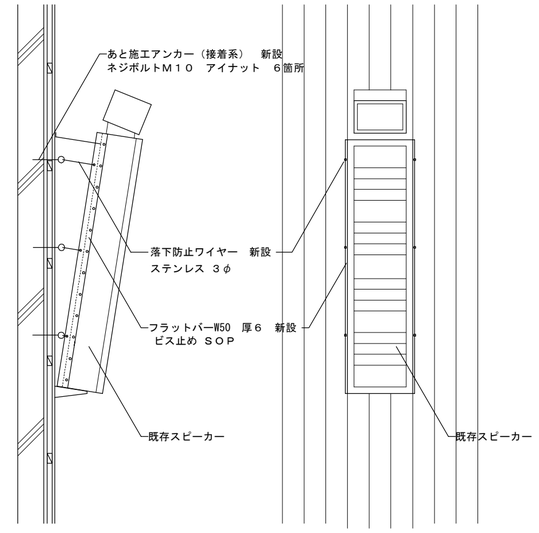


アリーナ換気窓詳細図（参考図）　　Ｓ＝１／２０

・・・現況のまま部分を示す

・・・現況のまま部分を示す

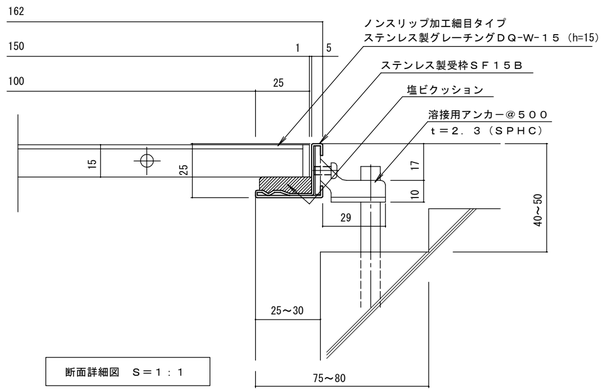
壁掛けスピーカー転落防止改修　　S=1:20



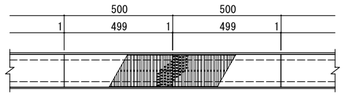
側面図　　正面図

便所排水ピット（参考図）　　図示

ノンスリップ加工細目タイプ ステンレス製グレーチングＤＱ-W-１５（h=15） （カネソウ 同等品）
ステンレス製受枠ＳＦ１５Ｂ （カネソウ 同等品）



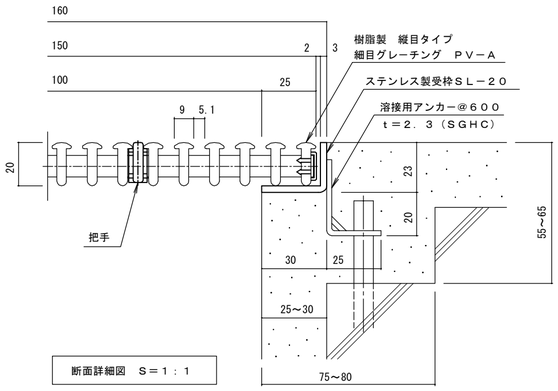
断面詳細図　Ｓ＝１：１



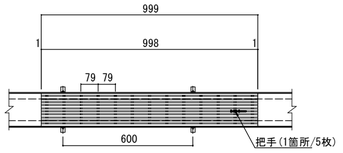
平面詳細図　Ｓ＝１：１０

シャワー室排水ピット（参考図）　　図示

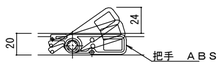
樹脂製 縦目タイプ 細目グレーチング ＰＶ－Ａ １１５２０＋ＳＬ－２０ （カネソウ 同等品）
ステンレス製受枠ＳＬ－２０ （カネソウ 同等品）



断面詳細図　Ｓ＝１：１



平面詳細図　Ｓ＝１：１０



把手部詳細　Ｓ＝１：２

特記　✔ ・・・新規シーリング箇所を示す

工事名　笠置小学校屋内運動場天井等改修工事

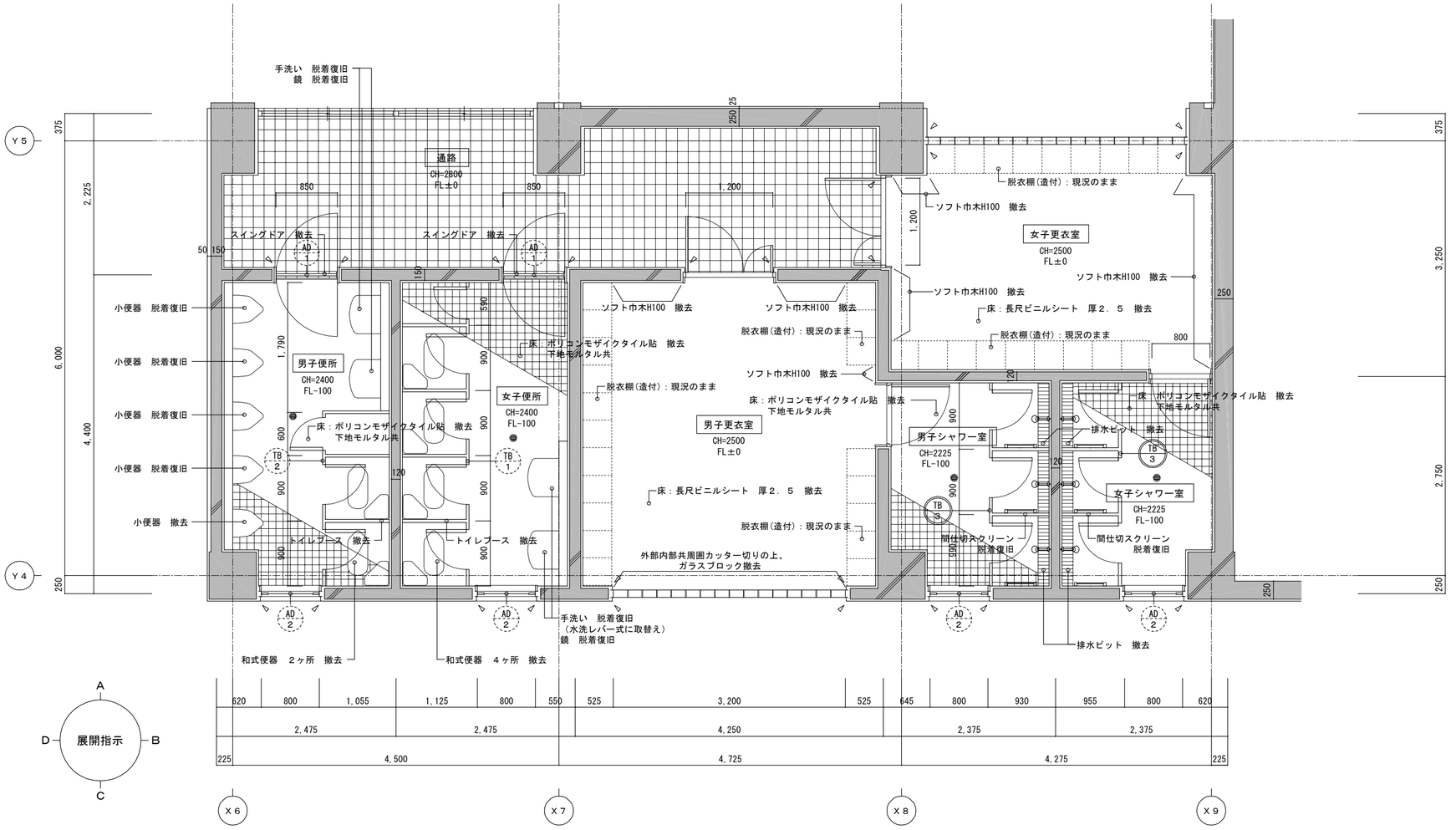
図名　部分詳細図 2　　縮尺　図示　　図面番号　Ａ－１８

HAKUHO Archi. Design
株式会社・ 白鳳建築設計事務所
１級建築士事務所 登録（三重１－９５７号）
〒５１８－０８１０ 三重県伊賀市平野東町１０７
ＴＥＬ 0595-23-6112 ＦＡＸ 0595-23-6132
E-mail hakuho@ict.ne.jp

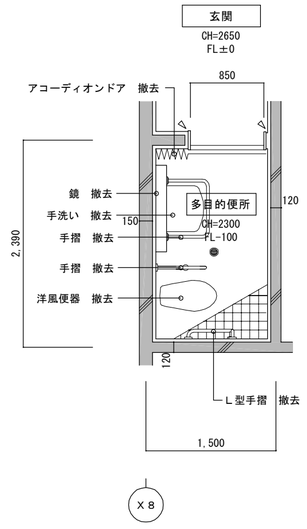
承認　　図面提出日　／／

管理建築士　１級 ２４７３７６号 田中 敏也

印



１階平面詳細図　　Ｓ＝１／５０



多目的便所平面詳細図　　Ｓ＝１／５０

＜建具記号凡例＞

・・・撤去

・・・新設

・・・改修

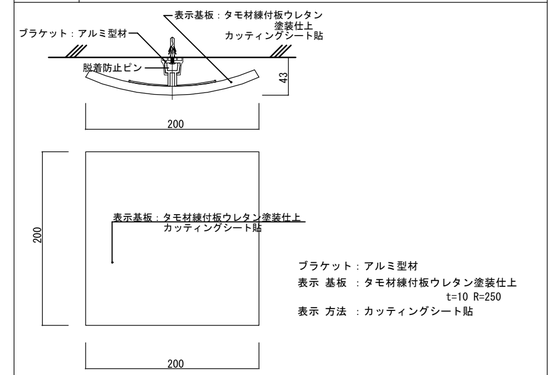
特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事		
		図名	現況　平面詳細図	縮尺	Ｓ＝１／５０
		図面番号	Ａ－１９		

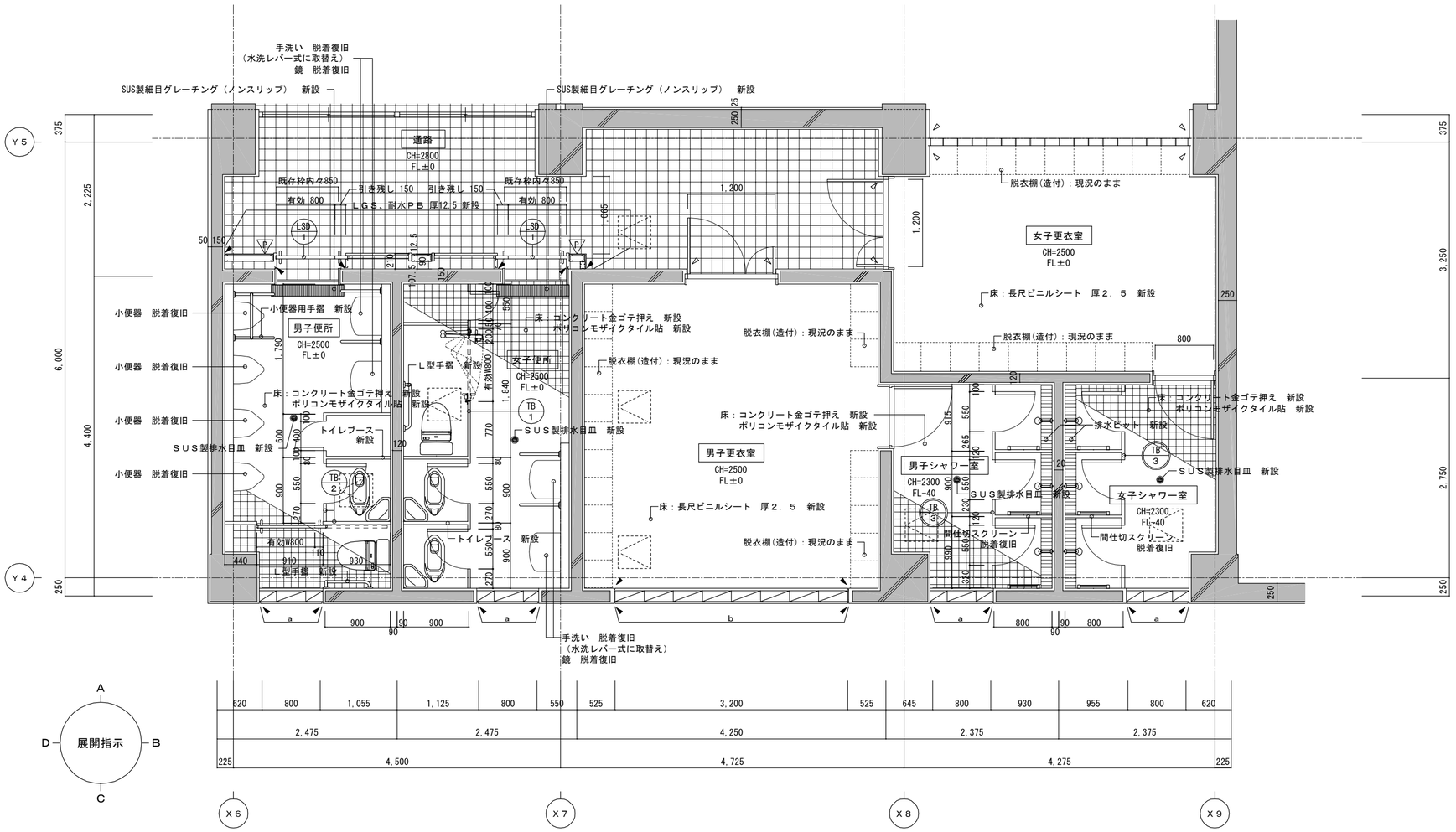
HAKUHO Archi. Design
株式会社・白鳳建築設計事務所
１級建築士事務所　登録（三重１－９５７号）
〒５１８－０８１０　三重県伊賀市平野東町１０７
ＴＥＬ　0595-23-6112　ＦＡＸ　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp

承認					管理建築士	印
					１級　２４７３７６号 田中　敏也	
図面提出日	／　／					

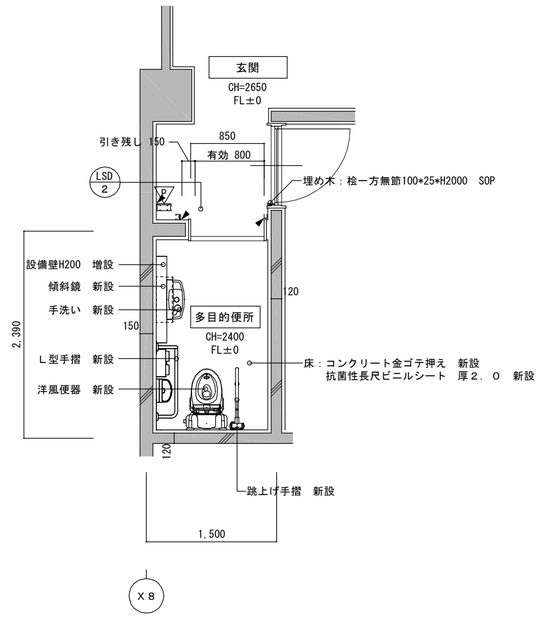
凡例

P	ピクトサイン(突出タイプH200*W200)	ケース：アルミ 標示部：アクリル　３ヶ所 ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ貼





１階平面詳細図　　Ｓ＝１／５０



多目的便所平面詳細図　　Ｓ＝１／５０

＜建具記号凡例＞

・・・撤去

・・・新設

・・・改修

＜凡例＞

・・・天井点検口　７箇所 新設

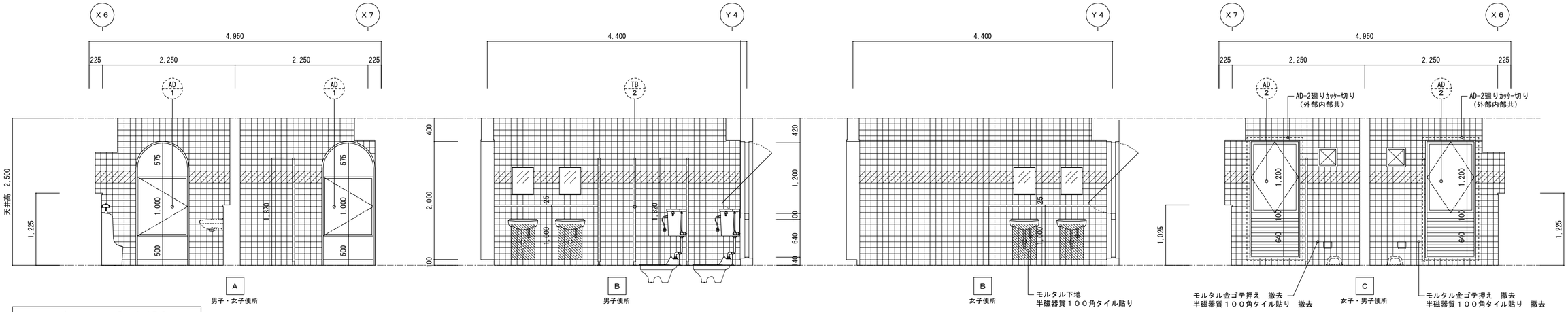
a ・・・ＣＢ150積　新設
周囲差筋アンカーＤ13@400
内部：モルタルの上、
半磁器質１００角タイル貼り　新設
外部：モルタルの上、アクリルリシン吹付

b ・・・ＣＢ150積　新設
周囲差筋アンカーＤ13@400
内部：モルタルの上、ＥＰ　新設
外部：モルタルの上、アクリルリシン吹付

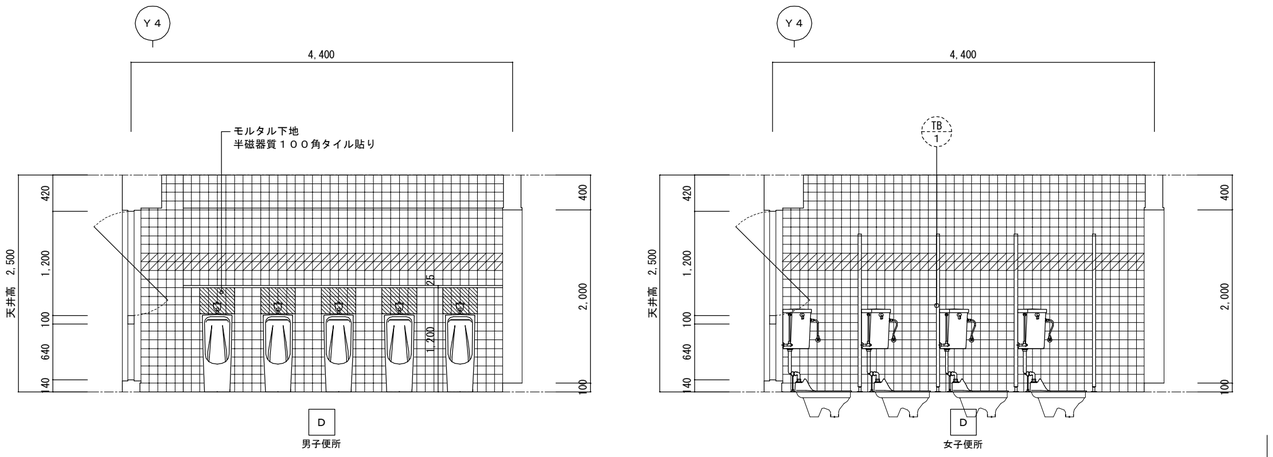
特記	✔・・・新規シーリング箇所を示す	工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事	
		図名	改修後　平面詳細図	縮尺 Ｓ＝１／５０ / 図面番号 Ａ－２０

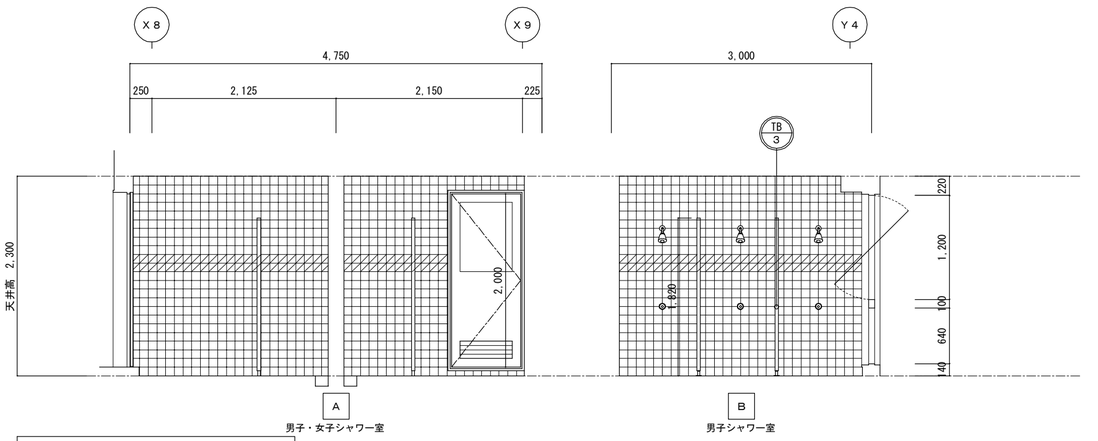
HAKUHO Archi. Design
株式会社・白鳳建築設計事務所
１級建築士事務所　登録（三重１－９５７号）
〒５１８－０８１０　三重県伊賀市平野東町１０７
ＴＥＬ　0595-23-6112　ＦＡＸ　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp

承認				管理建築士	印
				１級　２４７３７６号 田中　敏也	
図面提出日	／　／				

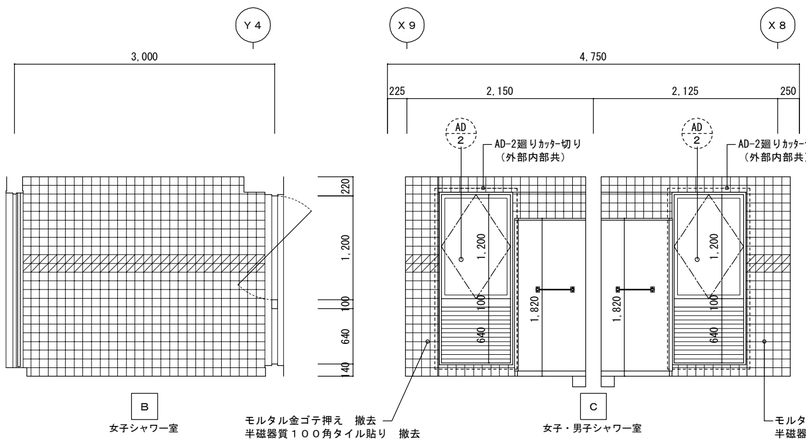


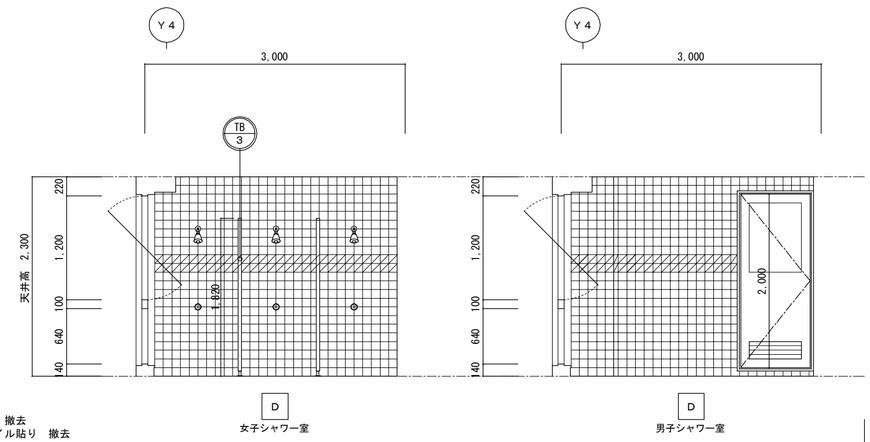
男子・女子便所展開図　Ｓ＝１／５０

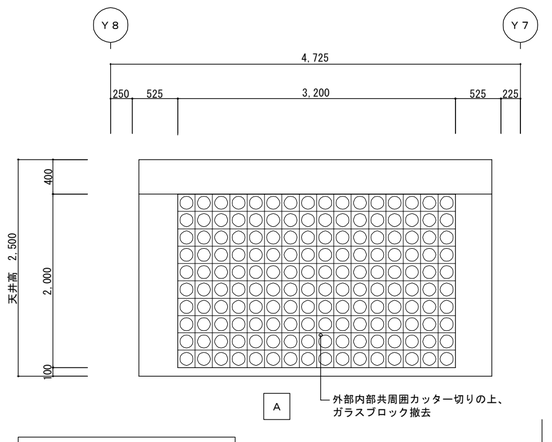




男子・女子シャワー室展開図　Ｓ＝１／５０





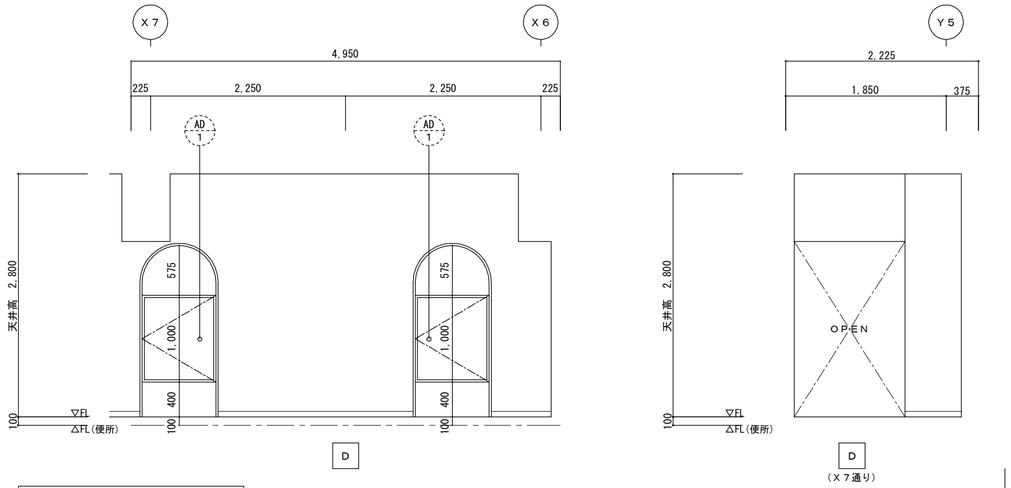


男子更衣室展開図　Ｓ＝１／５０

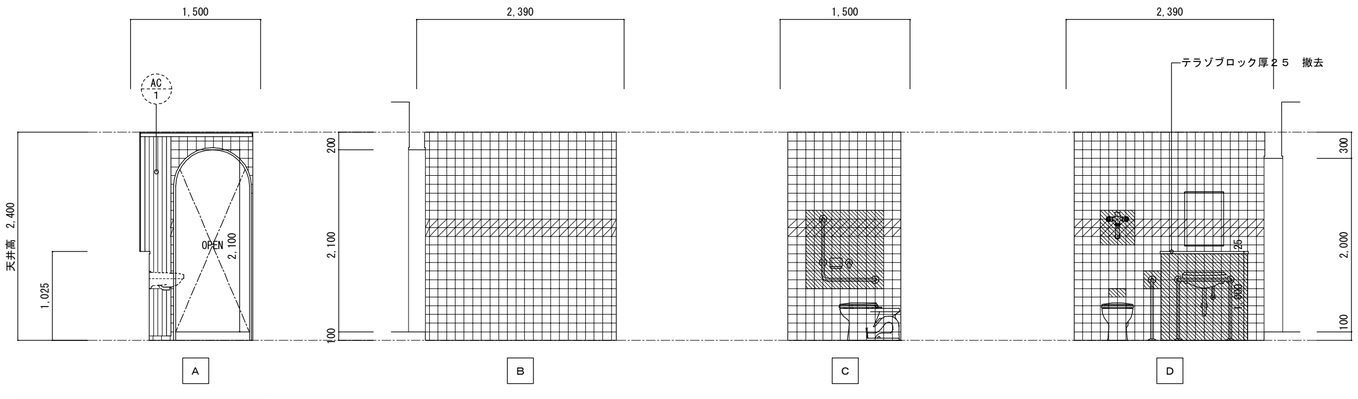
特記	工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事	
	図名	現況　展開図１	縮尺 Ｓ＝１／５０ / 図面番号 Ａ－２１

HAKUHO Archi. Design
株式会社・ 白鳳建築設計事務所
１級建築士事務所　登録（三重１－９５７号）
〒５１８－０８１０　三重県伊賀市平野東町１０７
ＴＥＬ　0595-23-6112　ＦＡＸ　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp

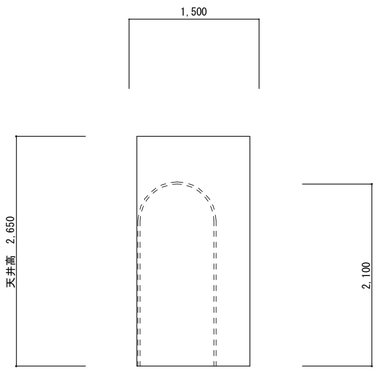
承認	管理建築士	印
図面提出日 ／ ／	１級　２４７３７６号 田中　敏也	



通路展開図　　Ｓ＝１／５０



多目的便所展開図　Ｓ＝１／５０



玄関展開図　　Ｓ＝１／５０

＜建具記号凡例＞

・・・撤去

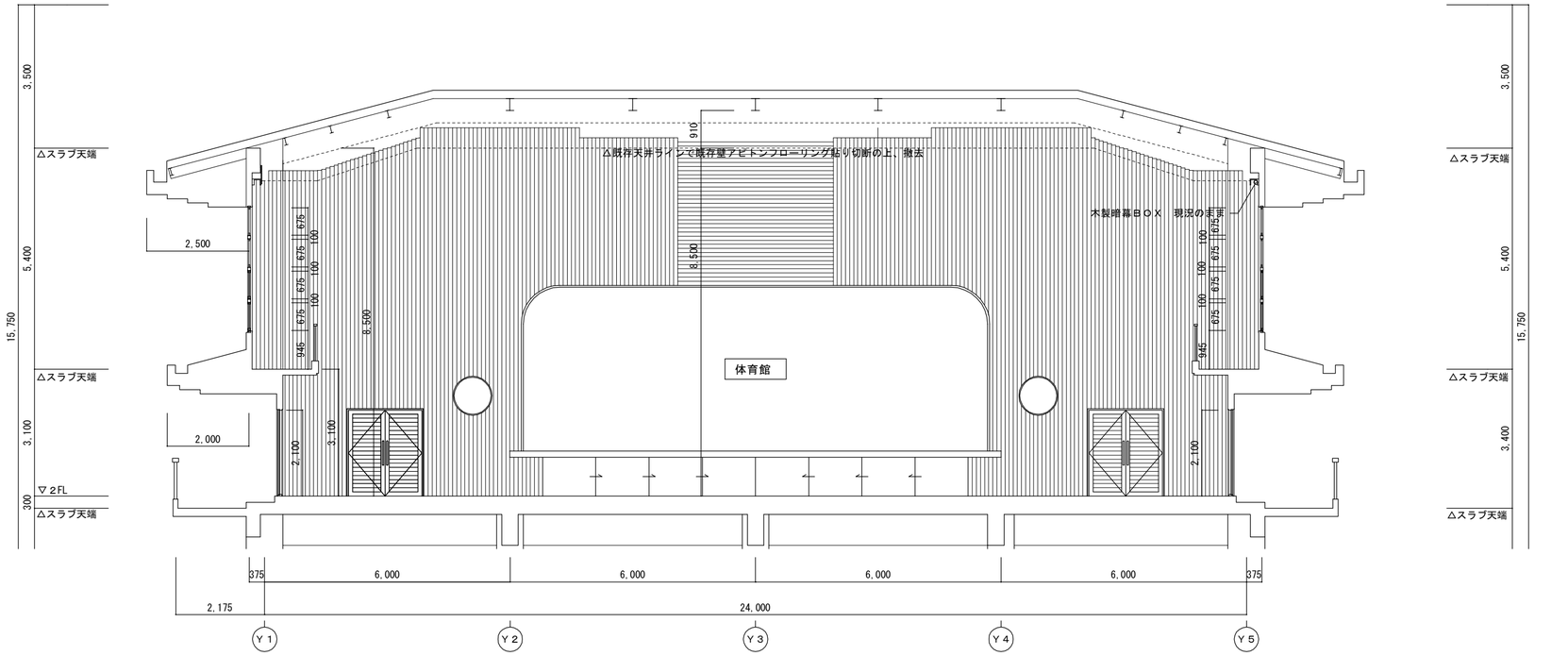
・・・新設

・・・改修

＜凡例＞

・・・壁改修範囲

・・・床嵩上げ範囲

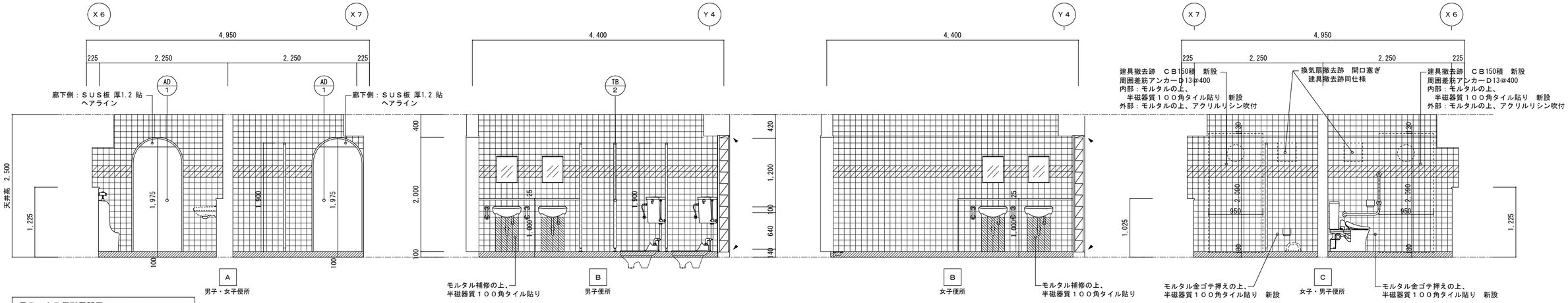


体育館展開図　　Ｓ＝１／１００

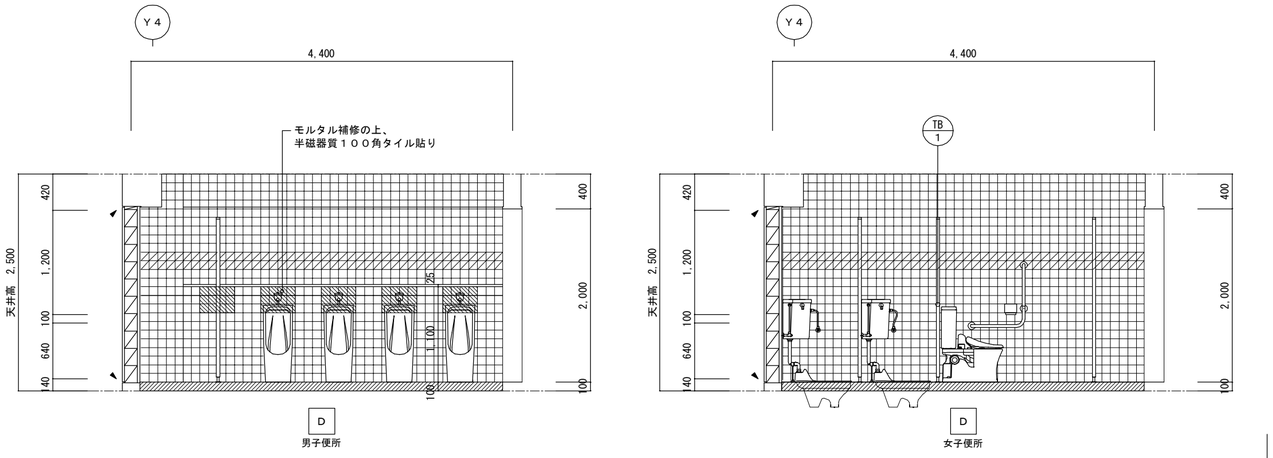
特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事		
		図名	現況　展開図２	縮尺 Ｓ＝１／５０	図面番号 Ａ－２２

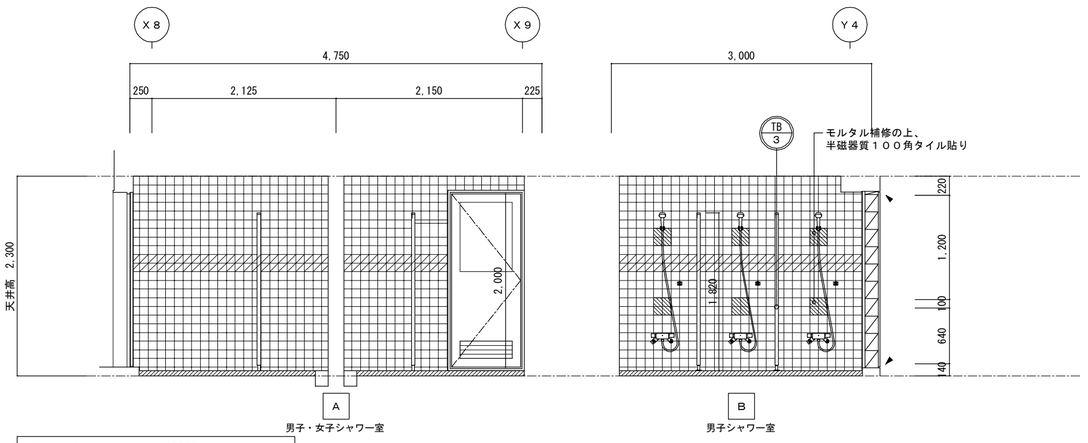
HAKUHO Archi. Design
株式会社・　白鳳建築設計事務所
１級建築士事務所　登録（三重１－９５７号）
〒５１８－０８１０　三重県伊賀市平野東町１０７
ＴＥＬ　0595-23-6112　ＦＡＸ　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp

承認				管理建築士	印
				１級　２４７３７６号 田中　敏也	
図面提出日	／　／				

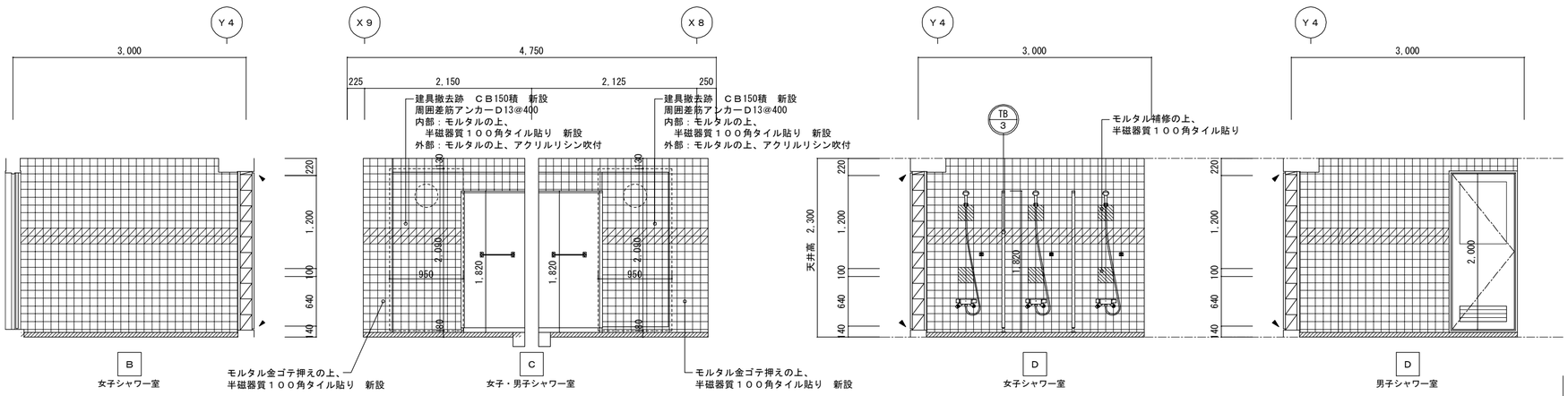


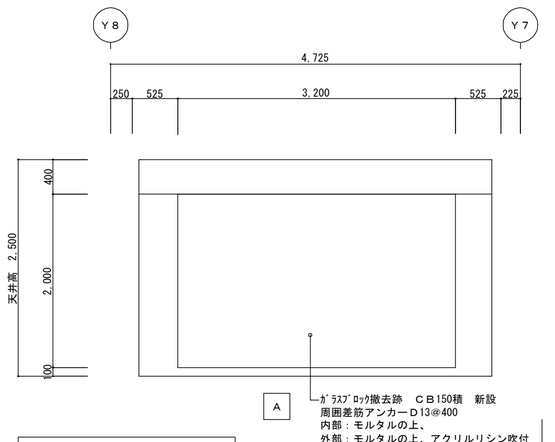
男子・女子便所展開図　Ｓ＝１／５０





男子・女子シャワー室展開図　Ｓ＝１／５０



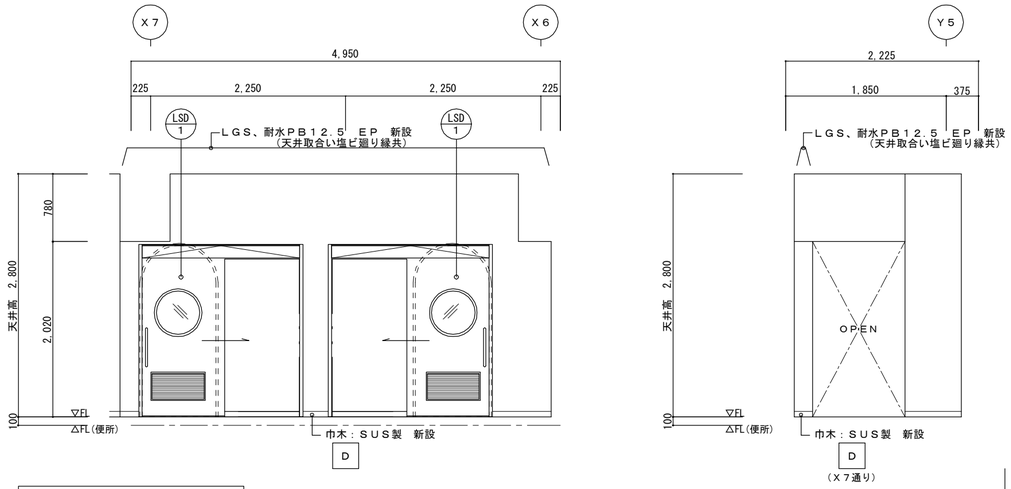


男子更衣室展開図　Ｓ＝１／５０

特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事		
		図名	改修後　展開図１	縮尺	Ｓ＝１／５０
		図面番号	Ａ－２３		

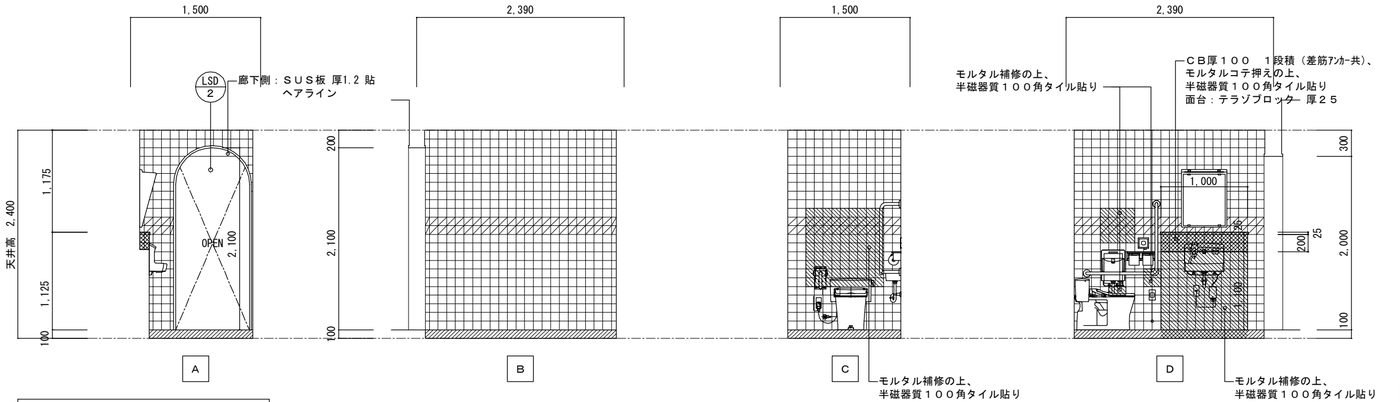
HAKUHO Archi. Design
株式会社・ 白鳳建築設計事務所
１級建築士事務所　登録（三重１－９５７号）
〒５１８－０８１０　三重県伊賀市平野東町１０７
ＴＥＬ　0595-23-6112　ＦＡＸ　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp

承認	管理建築士	印
図面提出日 ／ ／	１級　２４７３７６号 田中　敏也	

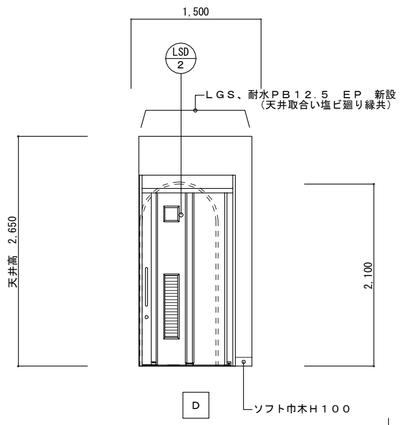


通路展開図　　Ｓ＝１／５０

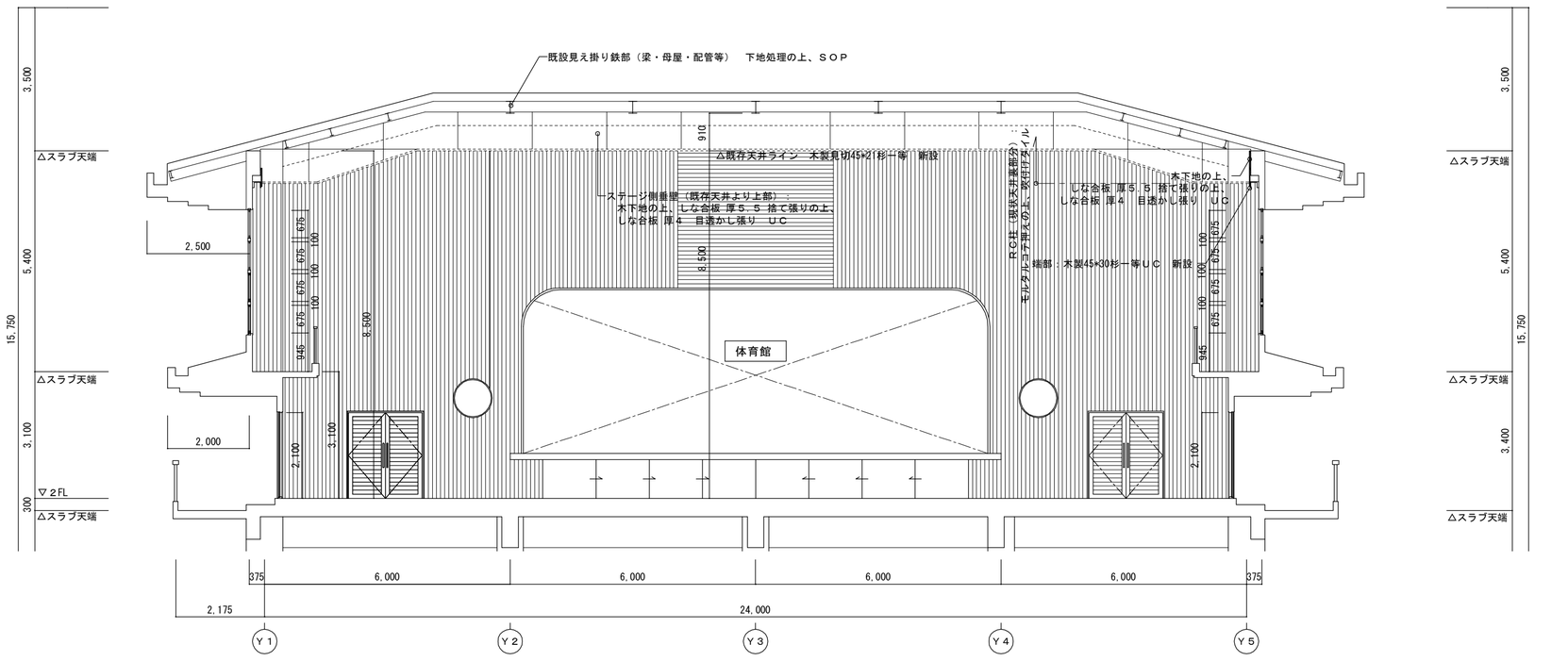
（Ｘ７通り）



多目的便所展開図　Ｓ＝１／５０



玄関展開図　　Ｓ＝１／５０



体育館展開図　　Ｓ＝１／１００

＜建具記号凡例＞

・・・撤去

・・・新設

・・・改修

＜凡例＞

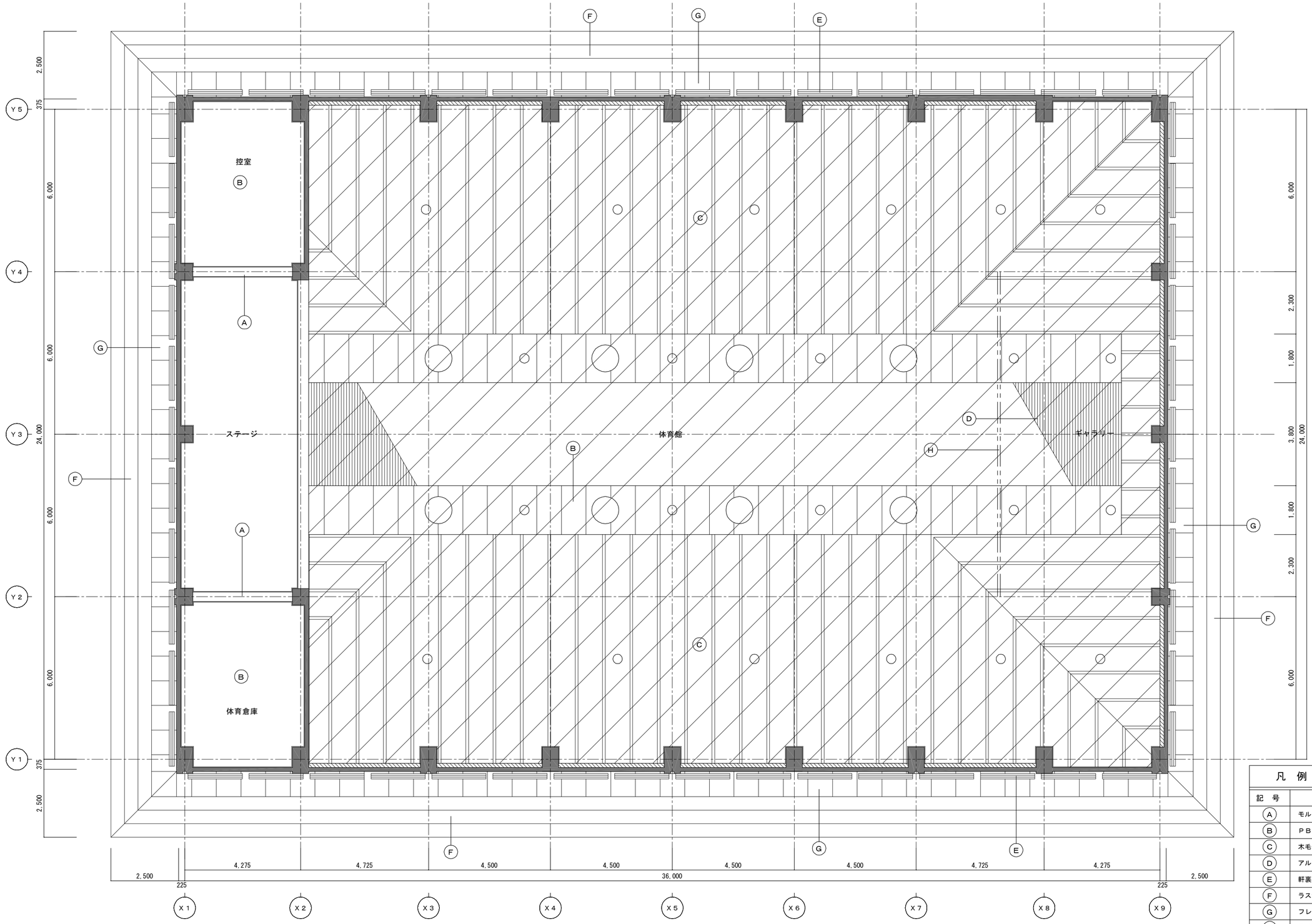
・・・壁改修範囲

・・・床嵩上げ範囲

特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事		
		図名	改修後　展開図２	縮尺 Ｓ＝１／５０	図面番号 Ａ－２４

HAKUHO Archi. Design
株式会社・ 白鳳建築設計事務所
１級建築士事務所　登録（三重１－９５７号）
〒５１８－０８１０　三重県伊賀市平野東町１０７
ＴＥＬ　0595-23-6112　ＦＡＸ　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp

承認	管理建築士	印
図面提出日 ／ ／	１級　２４７３７６号 田中　敏也	



現況ギャラリー階天井伏図　　Ｓ＝１／１００

凡　例

記　号	仕　上	
A	モルタルコテ押え ＡＥＰ塗	現況のまま
B	ＰＢ 厚９ ＥＰ塗	体育館：撤去（ＬＧＳ下地、廻縁共） 体育倉庫・控室：現況のまま
C	木毛セメント板 厚２５	撤去（ＬＧＳ下地、廻縁共）
D	アルミルーバー Ｈ＝１００	撤去（ＬＧＳ下地、廻縁共）
E	軒裏換気ガラリ Ｗ＝２００ アルミ格子	現況のまま
F	ラス地モルタル塗 アクリルリシン吹付 目地切仕上	現況のまま
G	フレキシブルボード 厚４ アクリルリシン吹付	現況のまま
H	吊りバトン　脱着復旧	
	木製暗幕ＢＯＸ	
	電灯、取付開口位置	
	撤去範囲を示す	

特記

工事名　笠置小学校屋内運動場天井等改修工事

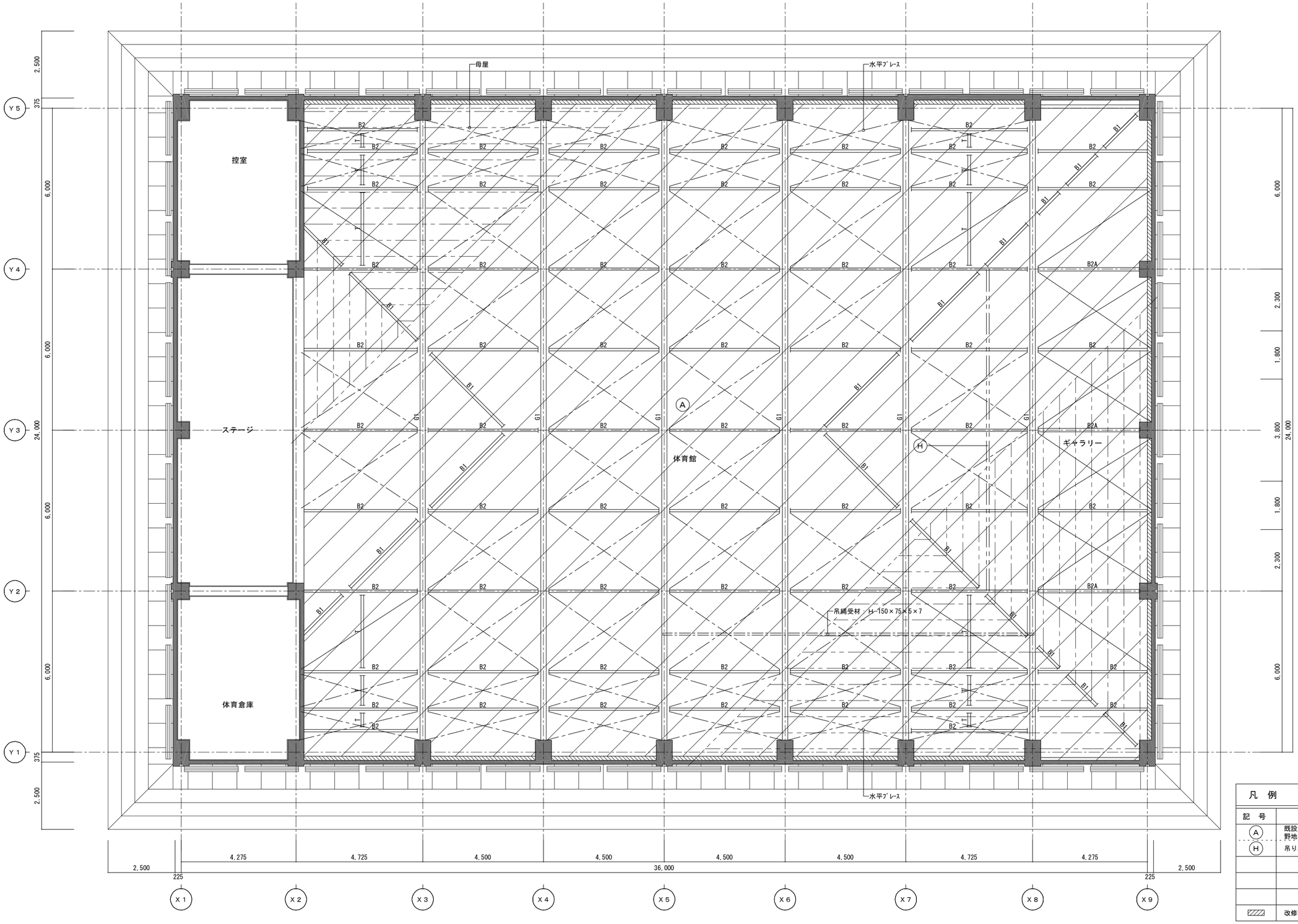
図名　現況ギャラリー階天井伏図　　縮尺　Ｓ＝１／１００　　図面番号　Ａ－２５

HAKUHO Archi. Design
株式会社・白鳳建築設計事務所
１級建築士事務所　登録（三重１－９５７号）
〒５１８－０８１０　三重県伊賀市平野東町１０７
ＴＥＬ　0595-23-6112　ＦＡＸ　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp

承認　　図面提出日　／　／

管理建築士　１級　２４７３７６号　田中　敏也

印



鉄骨部材リスト

記　号	寸　法
G1	H-600*200*11*17
G2	H-294*200*8*12
B1	H-100*100*6*8
B2	H-175*90*5*8
B2A	H-250*125*6*9
B3	H-200*100*5.5*8
B4	H-250*125*6*9
B5	H-294*200*8*12
B6	H-400*200*6*13
T	2C-100*50*20*3.2
母屋	C-100*50*20*3.2@600
水平ﾌﾞﾚｰｽ	20φターンバックル締め

凡　例

記　号	仕　上
A	既設見え掛り鉄部（梁・母屋・配管等）　下地処理の上、ＳＯＰ
	野地板硬質木毛セメント板 厚１８あらわし
H	吊りバトン　脱着復旧
	改修範囲を示す

改修後ギャラリー階天井伏図　　Ｓ＝１／１００

特記			
工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事		
図名	改修後ギャラリー階天井伏図	縮尺 Ｓ＝１／１００	図面番号 Ａ－２６

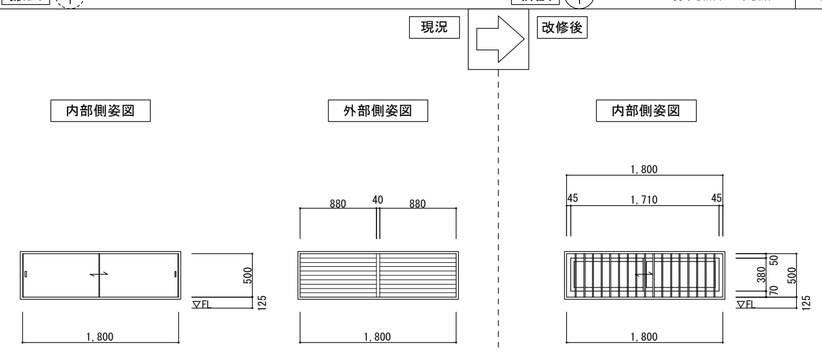
HAKUHO Archi. Design
株式会社・白鳳建築設計事務所
１級建築士事務所　登録（三重１－９５７号）
〒５１８－０８１０　三重県伊賀市平野東町１０７
ＴＥＬ　0595-23-6112　ＦＡＸ　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp

承　認	管理建築士	印
図面提出日　／　／	１級　２４７３７６号 田中　敏也	

建具表　　S＝1：50

記号 ． 数量：撤去 WW 1　新設 AW 1　男子便所、女子便所　1階： 7

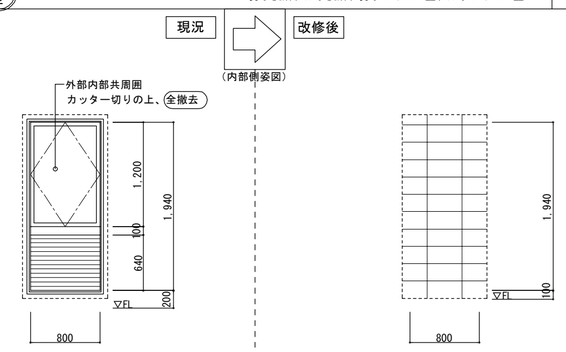
姿図



建　具	木製引き違いフラッシュ戸　撤去	アルミ製固定ガラリ　撤去	アルミ製引き違い窓（カバー工法）、既設木製額縁に銅製タテ格子取付
硝　子			強化ガラス　厚６
備　考	表面：ピーリング貼　厚12、裏面：耐水ベニヤＯＰ	アルミ水切り	ＳＵＳ網戸　新設
金　物	引手、レール	付属金物一式	クレセント等付属金物一式
見　込	３０（戸見込）	７０	７０

記号 ． 数量：改修 AW 2　男子便所、女子便所、男子シャワー室、女子シャワー室　1階： 4

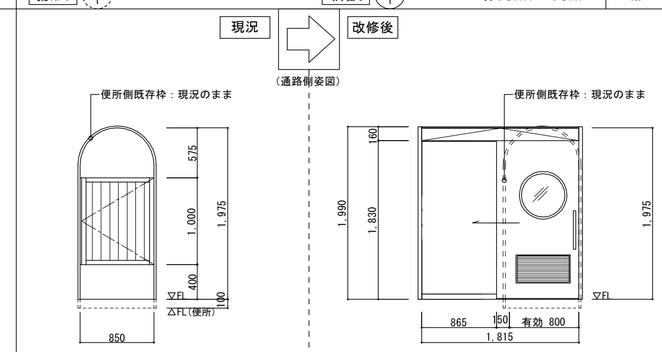
姿図



建　具	アルミ製横軸回転窓　ガラリ付　撤去　ｶﾗｰｱﾙﾐ（電解着色）	開口塞ぎ　ＣＢ150積　（仕上げは展開図参照）
硝　子	型板ガラス 厚４．０　撤去	周囲差筋アンカーＤ13@400
備　考	アングルピース、アルミ水切　撤去	
金　物	付属金物一式　撤去	
見　込	７０	７０

記号 ． 数量：撤去 AD 1　新設 LSD 1　男子便所、女子便所　1階： 2

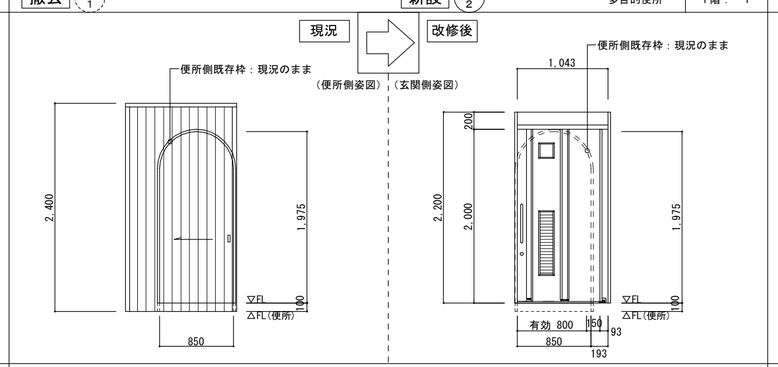
姿図



建　具	アルミ製スイングドア　撤去　ｶﾗｰｱﾙﾐ（電解着色）	軽量スチール片引きハンガードア（片面戸袋パネル・三方枠）
硝　子		ポリカーボネード樹脂板（両面マット）　厚５
備　考	ｻﾝﾄﾞｲｯﾁﾊﾟﾈﾙ	亜鉛めっき鋼板（枠・扉・切窓・ガラリ：カラー焼付塗装仕上）
金　物	自由丁番、付属金物一式	取手(SUS)、エアダンパー、傾斜レール、全開ストッパ、戸車、戸袋パネル、切窓、ガラリ、付属金物一式
見　込		４０

記号 ． 数量：撤去 AC 1　新設 LSD 2　多目的便所　1階： 1

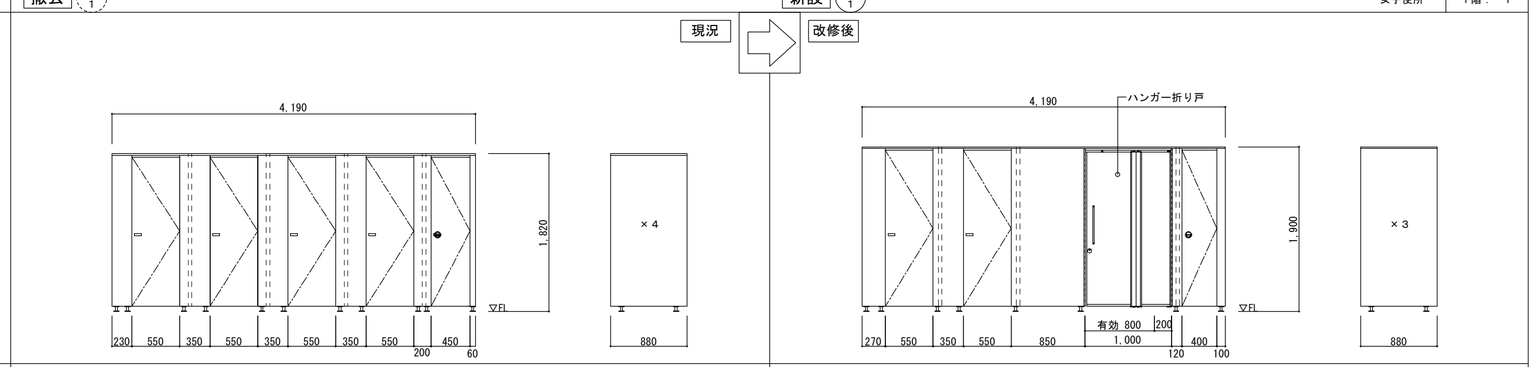
姿図



建　具	アコーディオンドア　撤去	軽量スチール横片引き折れ戸
硝　子		ポリカーボネード樹脂板（両面マット）　厚５
備　考		亜鉛めっき鋼板（枠・扉・切窓・ガラリ：カラー焼付塗装仕上）
金　物	レール、付属金物一式	取手(SUS)、戸車、表示錠、 切窓、ガラリ、－－－－附属金物一式
見　込		

記号 ． 数量：撤去 TB 1　新設 TB 1　女子便所　1階： 1

姿図

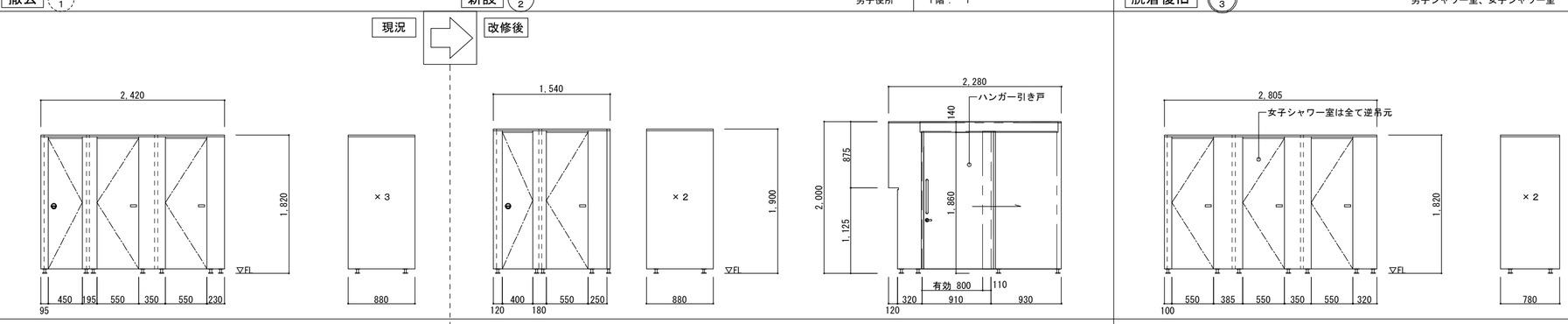


建　具	トイレブース　撤去	トイレブース　（ポリエステル化粧合板）
硝　子		
備　考		
金　物	取手、丁番、スライド錠、帽子戸当、－－－－附属金物一式 ＳＵＳ巻、ＳＵＳ笠木、ＳＵＳ足金物	取手、ヒンジ、スライド錠、帽子戸当、－－－－附属金物一式 アルミエッジ巻、アルミ笠木、ステンレス足金物
見　込	４０	４０

記号 ． 数量：撤去 TB 1　新設 TB 2　男子便所　1階： 1

脱着復旧 TB 3　男子シャワー室、女子シャワー室　1階： 2

姿図



建　具	トイレブース　撤去	トイレブース　（ポリエステル化粧合板）	シャワーブース
硝　子			
備　考			
金　物	取手、丁番、スライド錠、帽子戸当、－－－－附属金物一式 ＳＵＳ巻、ＳＵＳ笠木、ＳＵＳ足金物	取手、ヒンジ、スライド錠、帽子戸当、－－－－附属金物一式 アルミエッジ巻、アルミ笠木、ステンレス足金物	取手、丁番、スライド錠、帽子戸当、－－－－附属金物一式 ＳＵＳ巻、ＳＵＳ笠木、ＳＵＳ足金物
見　込	４０	４０	４０

＜建具記号凡例＞

・・・撤去

・・・新設

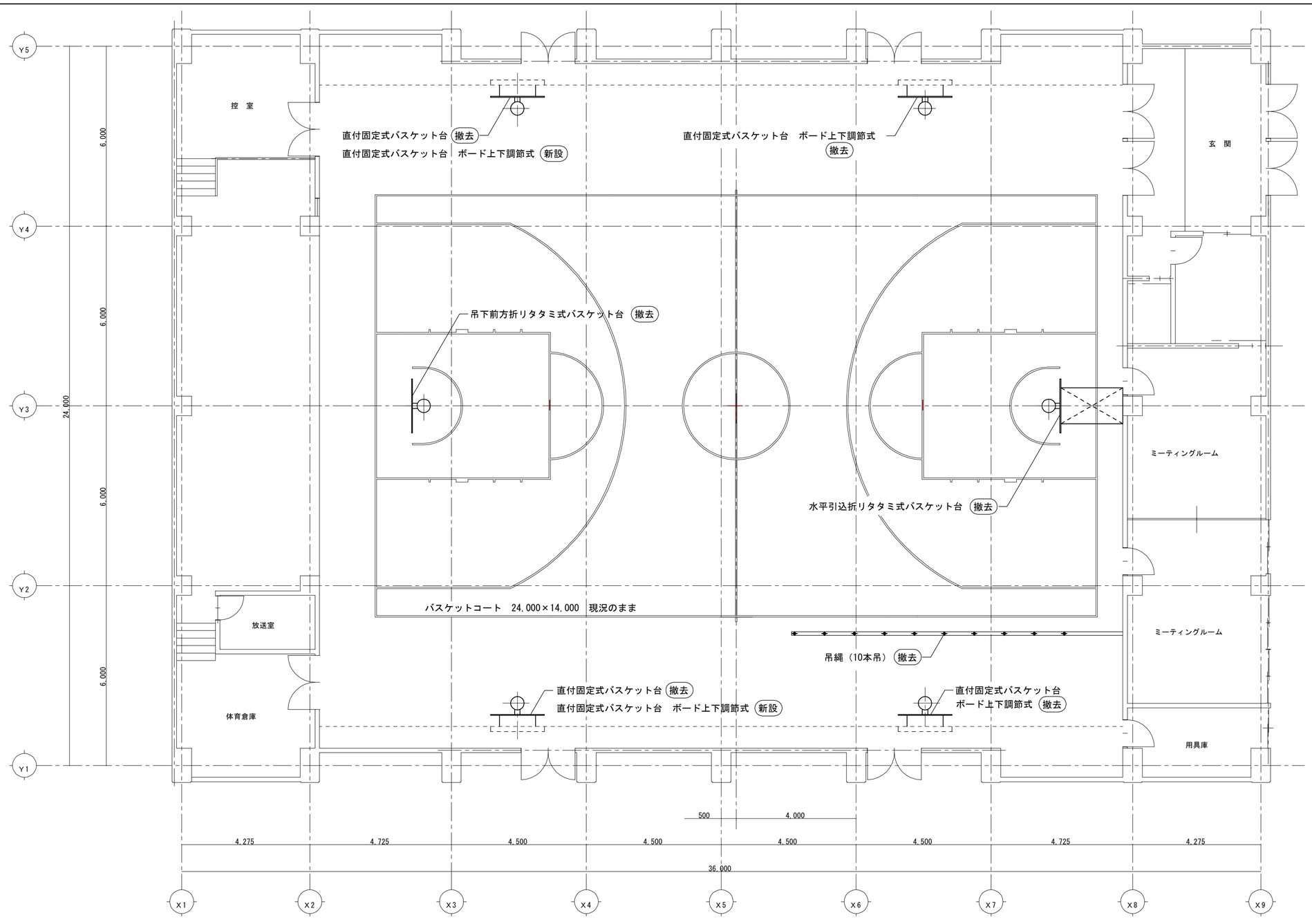
・・・改修

特記

工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事		
図名	建具表	縮尺 S＝1／50	図面番号 A－27

HAKUHO Archi. Design
株式会社・白鳳建築設計事務所
1級建築士事務所　登録（三重1－957号）
〒518－0810　三重県伊賀市平野東町107
TEL　0595-23-6112　FAX　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp

承認	管理建築士	印
図面提出日　／　／	1級　247376号 田中　敏也	



既　設　体　育　施　設　　撤　去・処　分　工　事　一　覧　表

NO	品　　名	数量
1	既設　吊下バスケット台　手動式　撤去・処分	1基
2	既設　壁面取付折リタタミ式バスケット台　手動式　撤去・処分	1基
3	既設　壁面取付固定式バスケット台　ボード上下調節式　撤去・処分	2基
4	既設　壁面取付固定式バスケット台　撤去・処分	2基
5	既設　吊縄　レール収納式　撤去・処分	1基

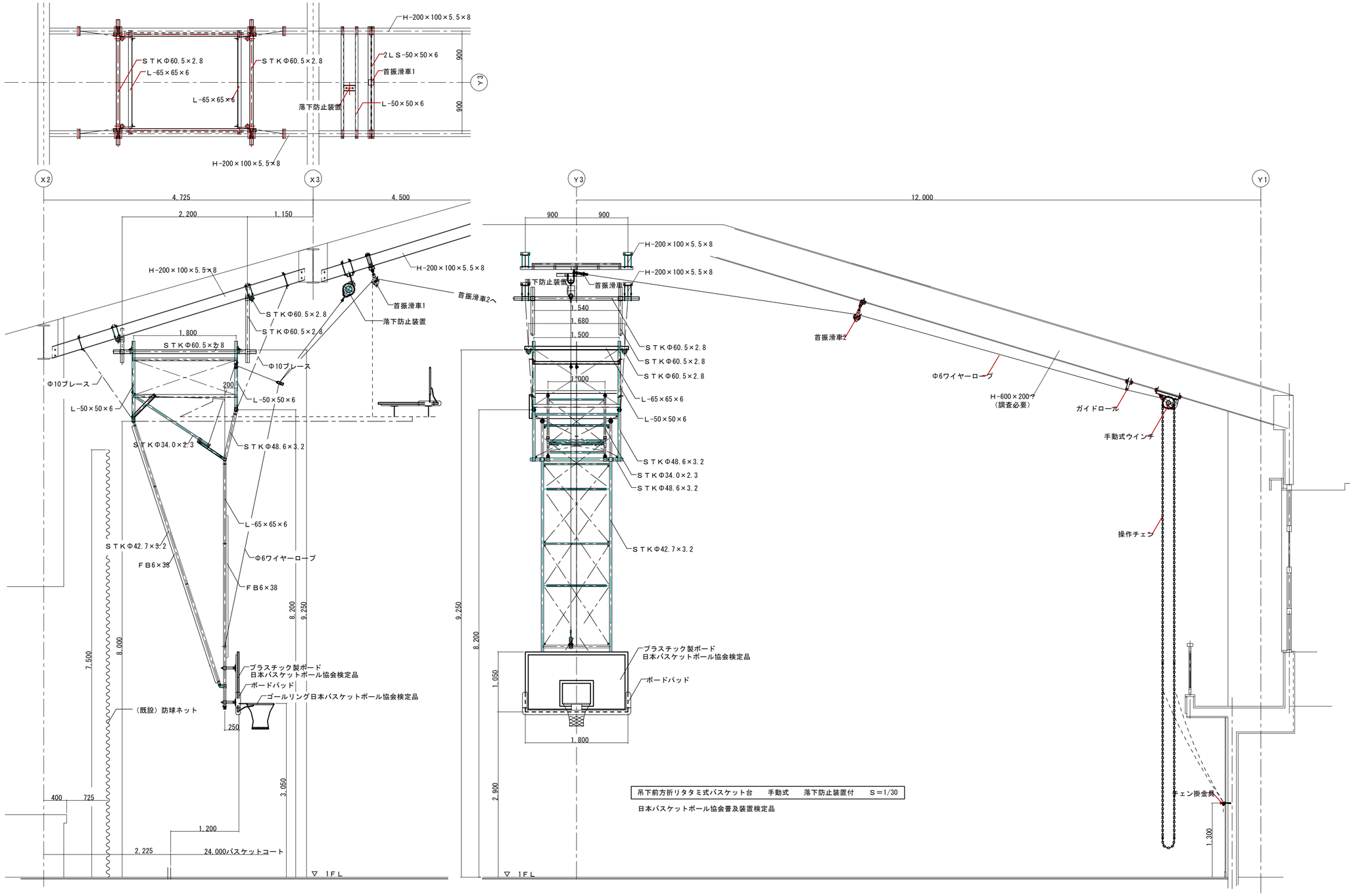
新　設　　体　育　施　設　工　事　一　覧　表

NO	品　番	品　　名	数量	規　　格　　仕　　様
1	ＢＢ４３３	吊下前方折リタタミ式バスケット台	1基	手動式　プラスチック製ボード付　落下防止装置付　日本バスケットボール協会普及装置検定品
2	ＢＢ５６７	水平引込折リタタミ式バスケット台	1基	ＳＦＳ　フロアーハンドル式　プラスチック製ボード付　日本バスケットボール協会普及装置検定品
3	ＢＢ６２２	直付固定式バスケット台	2基	ダグラスフラッシュ板付　ボード上下調節式
4	ＢＢ６２３	直付固定式バスケット台	2基	ダグラスフラッシュ板付
5	ＳＳ１１１	吊　　縄	1基	Φ32マニラロープ10本吊　レール収納式

特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事		HAKUHO Archi. Design	承認	管理建築士
		図名	体育器具平面図	縮尺 Ｓ＝１／１００	図面番号 Ａ－２８		1級　２４７３７６号
					株式会社・白鳳建築設計事務所	図面提出日	田中　敏也

１級建築士事務所　登録（三重１－９５７号）
〒５１８－０８１０　三重県伊賀市平野東町１０７
ＴＥＬ　0595-23-6112　ＦＡＸ　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp

撤去：１箇所 新設：０箇所	吊下前方折リタタミ式バスケット台　手動式　落下防止装置付	Ｓ＝1/30



吊下前方折リタタミ式バスケット台　手動式　落下防止装置付　Ｓ＝1/30

日本バスケットボール協会普及装置検定品

特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事			株式会社・白鳳建築設計事務所	承認	管理建築士	印
		図名	体育器具　詳細図１（吊下前方折畳式バスケット台）	縮尺	Ｓ＝１／３０	図面番号 Ａ－２９		1級　２４７３７６号 田中　敏也	

HAKUHO Archi. Design

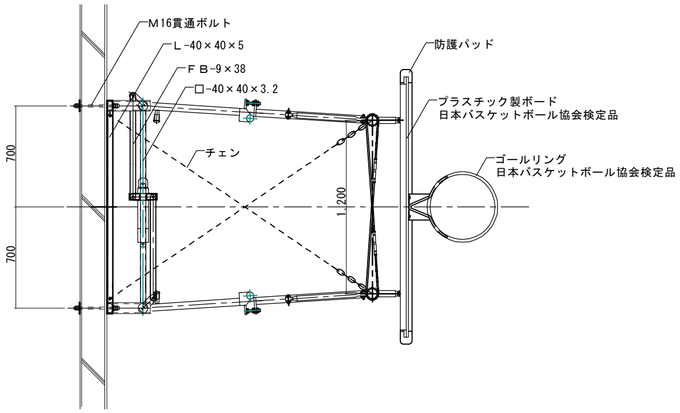
１級建築士事務所　登録（三重１－９５７号）
〒５１８－０８１０　三重県伊賀市平野東町１０７
ＴＥＬ　0595-23-6112　ＦＡＸ　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp

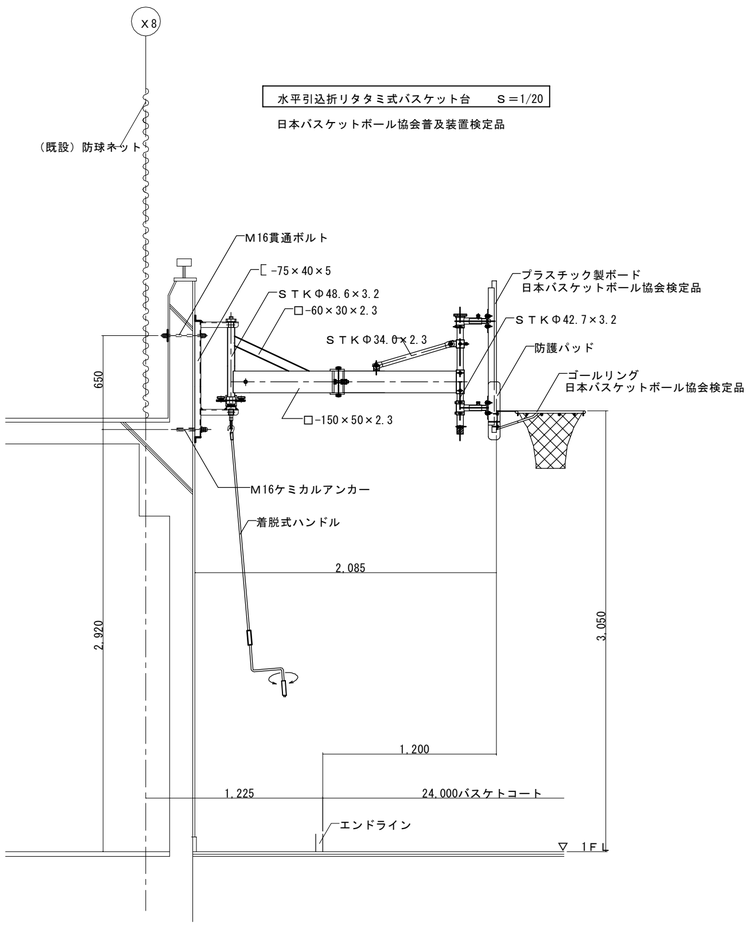
図面提出日　／　／

撤去：１箇所
新設：０箇所

水平引込折リタタミ式バスケット台

S＝1/20





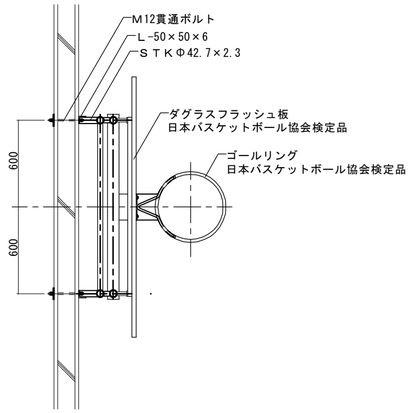
水平引込折リタタミ式バスケット台　S＝1/20

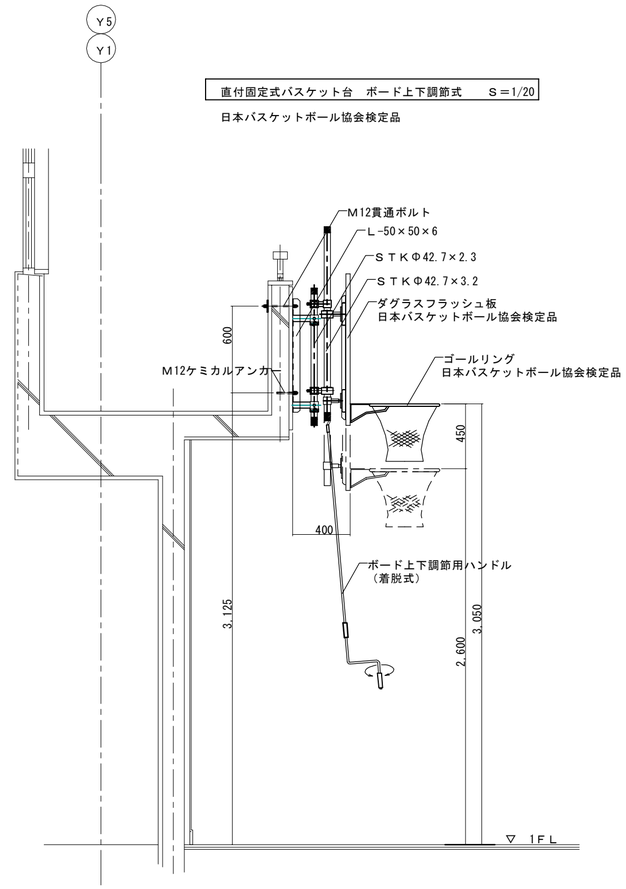
日本バスケットボール協会普及装置検定品

撤去：２箇所
新設：２箇所

直付固定式バスケット台　ボード上下調節式

S＝1/20





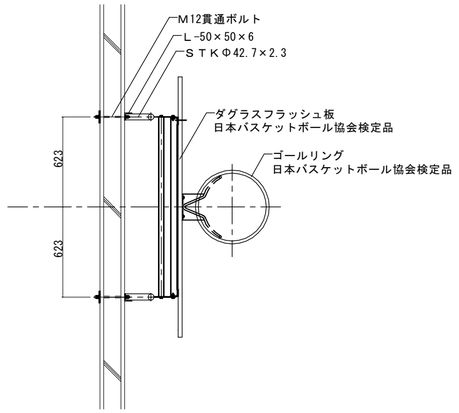
直付固定式バスケット台　ボード上下調節式　S＝1/20

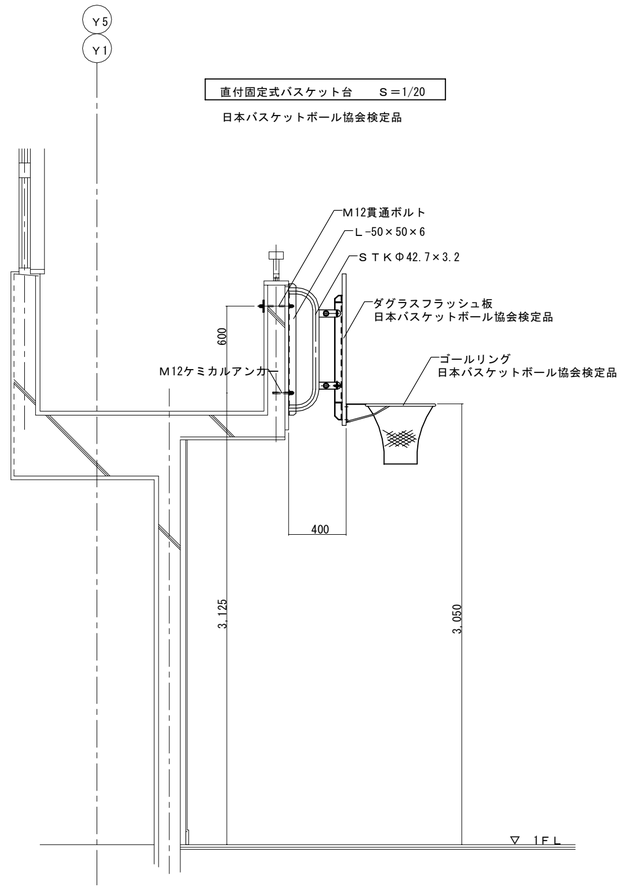
日本バスケットボール協会検定品

撤去：２箇所
新設：０箇所

直付固定式バスケット台

S＝1/20





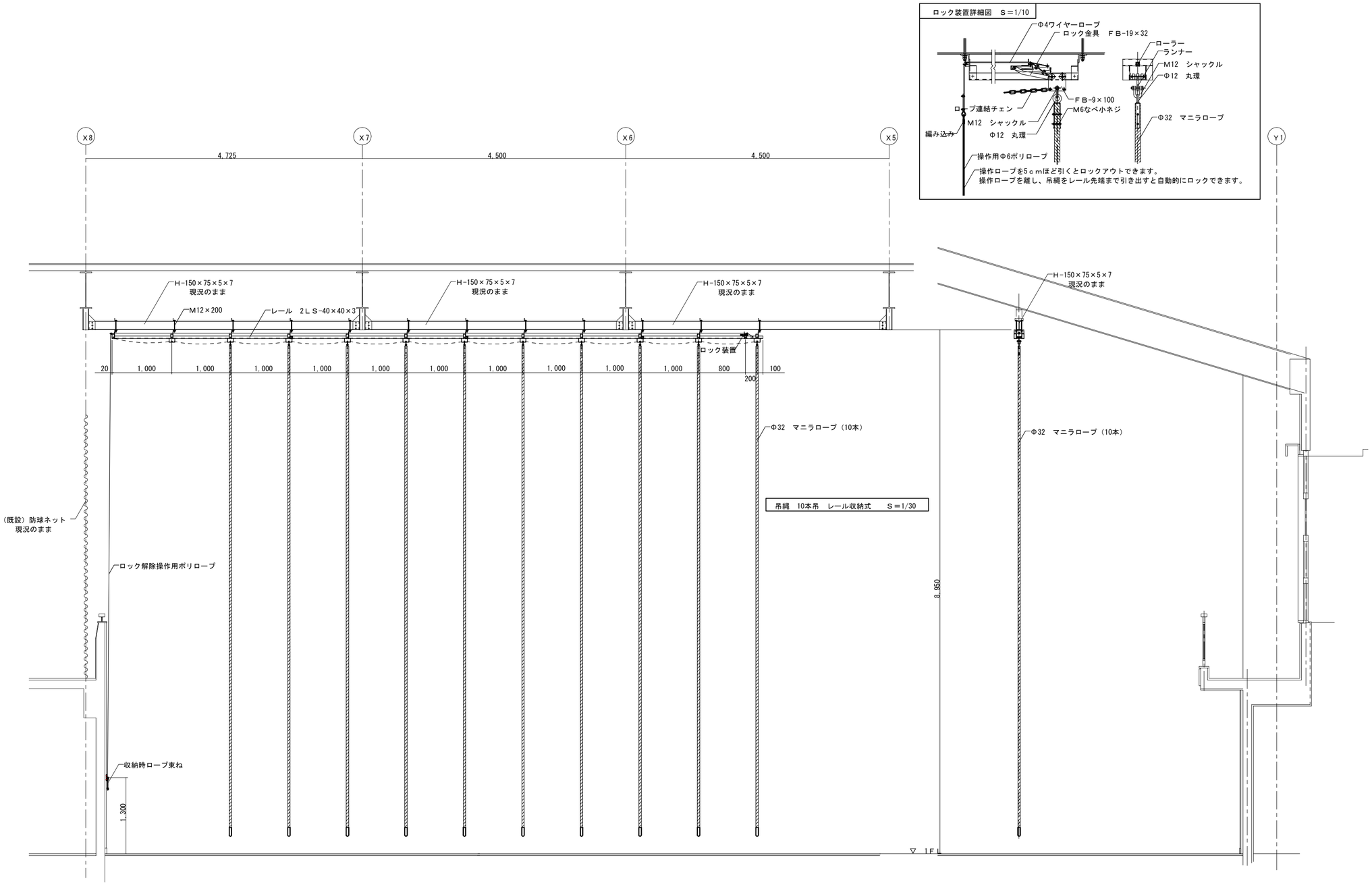
直付固定式バスケット台　S＝1/20

日本バスケットボール協会検定品

特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事			承認	管理建築士	印
		図名	体育器具　詳細図２（水平引込折畳式バスケット台）（直付固定式バスケット台）	縮尺	S＝1／20		1級　247376号 田中　敏也	
				図面番号	A－30	図面提出日 ／ ／		

HAKUHO Archi. Design
株式会社・白鳳建築設計事務所
1級建築士事務所　登録（三重1－957号）
〒518－0810　三重県伊賀市平野東町107
TEL　0595-23-6112　FAX　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp

撤去：１箇所 新設：０箇所	吊縄　10本吊　レール収納式	Ｓ＝1/30



ロック装置詳細図　Ｓ＝1/10

特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事			承認		管理建築士	印
		図名	体育器具　詳細図３（吊縄）	縮尺	Ｓ＝１／３０	図面番号	Ａ－３１	図面提出日	／　／	1級　２４７３７６号 田中　敏也	

HAKUHO Archi. Design
株式会社・白鳳建築設計事務所
１級建築士事務所　登録（三重１－９５７号）
〒５１８－０８１０　三重県伊賀市平野東町１０７
ＴＥＬ　0595-23-6112　ＦＡＸ　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp

電気設備工事特記仕様書

Ⅰ 工事概要

1 工事場所 相楽群笠置町大字笠置 地内

2 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積(㎡)	消防令別表第一	備考
屋内運動場	RC	3階	８６７㎡	7項	

3 工事種別(○印のあるものを適用する。)

建物別 / 工事種目	屋内運動場				屋外
受変電設備					
自家発電設備					
電灯設備	○				
動力設備					
避雷針設備					
構内配電線路					
電話配管設備					
ｲﾝﾀｰﾎﾝ・電気錠設備					
拡声設備					
電気時計設備					
ﾃﾚﾋﾞ共聴設備					
表示設備					
火災報知設備	○				
防犯配管設備					
構内交換設備					
構内通信線路					
AV設備工事					
ITV設備工事					

Ⅱ 工事仕様書

1 共通事項

図面及び特記仕様書に記載されていない事項はすべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の電気設備工事、建築工事、機械設備工事標準仕様書(平成25年版)及び標準図(平成25年版)工事監理指針(平成22年版)による。但し標準図による図示記号、区分、名称の記入なきものは標準図を適用しない。図面と仕様書に差異がある場合及び不明な箇所が生じた場合は全て監督員の指示による。

2 特記仕様書

1)項目は番号に○印の付いたものを適用する。

2)特記事項は○印の付いたものを適用する。

3 設計図書優先順位

設計図書中に相互に差異のある場合の優先順位は次の通りとする。

但し現場説明書及び質疑 回答書は最優先とする。

1 特記仕様書 2 設計図 3 標準仕様書

項目		特記事項
共通事項	①機材等の指定	⊙ 設備機材等指定表によるほか同等品以上とする。但し同等品以上とする場合は監督員の承諾を受ける。
	②施工従事者	⊙ 自家用電気工作物においても法令で定める電気工事とする。
	③工事用仮設	⊙ 工事区分表による。
	4 残土処分	・ 構内指示場所に敷ならし。 ・構内指示の場所に推積。 ・構外搬出適切処分
	5 埋戻し土	・ 根切土の中の良質土 ・山砂類(購入土)
	6 発生材の処分	・ 自由処分 ・市に引渡 ・市に引渡しを要するもの
	⑦再使用機器	・ なし ○清掃絶縁抵抗測定のうえ取り付ける。
	⑧提出書類及び期限(原則としてA版とする)	・ 別紙による
	⑨引渡書類	・ 別紙による
	⑩官公庁その他手続き	⊙工事の施工に必要な手続きは請負者の責任とし、その費用は請負者の負担とする。 尚、各種手続き一覧表を作成の上、事前に提出し係員の承諾を得る事。
	⑪照度測定	⊙測定箇所は4ヶ所以上○ ・ｱﾘｰﾅ部分は5mﾋﾟｯﾁとする (注)係員の指示ある場合はその内所とする。
	⑫耐震施工	設備機器の固定は建設省住宅局建築指導課監修の建築設備耐震設計施工指針による。
	⑬既設との取合い	⊙本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は本工事とする。
	⑭他工事との取合い	⊙工事区分表による。

共通事項

⑮塗装

塗装場所 機材	状態	塗装の種別	塗り回数	備考
金属製ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ ﾀﾞｸﾄ		調合ﾍﾟｲﾝﾄ	2	内面は除く
金属製の支持金物 架台など	露出	ｻﾋﾞ止めﾍﾟｲﾝﾄ	2	(合計4回)
		調合ﾍﾟｲﾝﾄ又はｱﾙﾐﾆｭｳﾑﾍﾟｲﾝﾄ	2	
	隠ぺい	ｻﾋﾞ止めﾍﾟｲﾝﾄ	2	
電線管	露出	ｴｯﾁﾝｸﾞﾌﾟﾗｲﾏｰ	1	
		調合ﾍﾟｲﾝﾄ又はｱﾙﾐﾆｭｳﾑﾍﾟｲﾝﾄ	2	

(備考) 配線室、共同構内は露出として扱う。

⑯ 電力等の引込み

・電力及び電話引込線の引止方法、位置については電力会社、及び電話会社と打合わせの上監督員との協議により施工する。

・配線器具は(・大角形 ・ﾏｲﾄﾞ形)ｽｲｯﾁは(・一般 ・ﾈｰﾑ付)とする。

・配線器具のﾌﾟﾚｰﾄは(・樹脂製 ・新金属製)とする。

・ﾌﾛｱﾎﾞｯｸｽのﾌﾟﾚｰﾄは(・ｱﾙﾐﾐﾀﾞｲｶｽﾄ製・銅合金製)とする。

・機器を実装しないﾎﾞｯｸｽ等には用途表示を行う。

⊙ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽの使用区分は、屋内一般は鋼製、屋内多湿箇所は塩化ﾋﾞﾆﾙ製、屋外はｽﾃﾝﾚｽ製とする。また、鋼製及びｽﾃﾝﾚｽ製は接続端子付とする。

⊙ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽの止めﾈｼﾞは、鋼製にはｸﾛﾑﾒｯｷ製、塩化ﾋﾞﾆﾙ製及びｽﾃﾝﾚｽ製にはｽﾃﾝﾚｽ製とし、ねじの頭部はﾌﾟﾗｽとする但し陰ぺい部分に設けるﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽの止めねじは、蝶ねじとする

・盤類には、盤面体より(・二重天井内 ・床下)迄予備配管(31)1本を施工する。

⊙配管の使用区分は原則として次による。

屋内幹線(陰ぺい、打ち込み) ・・E管
屋内幹線(露出) ・・CP管
屋外(地中) ・・FEP管
屋外(露出) ・・CP管
H.H～盤 ・・HIVE管
屋内分岐(陰ぺい、打ち込み) ・・PF1重管
屋内分岐(露出) ・・CP管 ﾒﾀﾙﾓｰﾙ

・露出配管はねじ込み接続とする。

⊙配管等の支持間隔は次による。

金属管 ・・2.0m以下 金属ﾀﾞｸﾄ ・・水平2.0m以下
合成樹脂管 ・・1.5m以下 垂直3.0m以下
PF管 ・・1.0m以下 金属線び配線 ・・1.0m以下
ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾀ2.0m以下
合成樹脂線び配線・・0.5m以下

⊙露出配管をｻﾋﾞ止めする場合は両ｻﾋﾞﾙとする。

・配管工事だけの場合は、呼び線(ﾋﾞﾆｰﾙ被覆鉄線1.2㎜)を挿入する。

⊙幹線用ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ及び盤内その他要所のｹｰﾌﾞﾙ電線には、ﾌｧｲﾊﾞｰ製の名札を取付回路の種別、行く先等を表示する。但しH.H内はﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製(ｴｯﾁﾝｸﾞ)とする。

・地中電路には全て、標識ｼｰﾄ及び埋設表示杭を設け、埋設表示杭の位置を施工図に付すこと。

・ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙの天端はGL+20㎜とする。但しｱｽﾌｧﾙﾄ用はGL±0㎜とする。

⊙金属管と配分電盤、ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽなどとの間はﾎﾞﾝﾃﾞｨﾝｸﾞを行い電気的に接続する。

⊙機器及び配管等の塗装色は監督員の指示による。

⑰ 施工一般

受変電設備

1 電気方式 高圧 ※三相3線 6KV
低圧 ※単相3線200/100V
※三相3線200V

2 盤形式 ・屋外ｷｭｰﾋﾞｸﾙ形 ・その他( )

3 主遮断装置 ・VCB形 ・PF-S形
・遮断容量 ・40KA

4 操作方法 ・手動式 ・電気式(・交流 ・直流)

5 変圧器 ・油入形 ・ﾓｰﾙﾄﾞ形

6設備容量 ・変圧器容量 KVA
・高圧ｺﾝﾃﾞﾝｻｰ総容量 KVA

7避雷器 ・設ける

8接地 ・A種D種共用 B種単独 ・単独
・共用(3Ω以下)
・接地埋設位置近くに接地極埋設標を設ける
・但し避雷極接地は単独とする。

9接地用端子函 ・設ける。 ( )

10 換気扇 ・設ける。(温度感知形)

11 基礎及びﾌｪﾝｽ ・本工事 ・別途工事

12 その他 ・消防庁認定品

自家発電設備

1 形式 ・ｵｰﾌﾟﾝ ・簡易形 ・ｷｭｰﾋﾞｸﾙ形

2発電機 ・電気方式 ・三相3線式 ・電圧200V

3原動機 ・定格出力 KVA
・種類 ・ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ
・始動方式(・電気式 ・空気式)
・冷却方式(・水冷循環式 ・ﾗｼﾞｴｰﾀｰ式)

4燃料 ・種類 (・A重油 ・軽油 ・灯油)
・小出槽 ﾘｯﾄﾙ
・地下貯油槽 ﾘｯﾄﾙ
(・本工事 ・別途工事 ・専用 ・ﾎﾞｲﾗｰと共用)

5基礎及びﾌｪﾝｽ ・本工事 ・別途工事

6その他 ・消防法認定品

①電灯設備

①電気方式 ・幹線 ・単相3線式200/100V
・直流2線式100V
⊙分岐 ⊙単相2線式100V
・直流2線式100V
・単相2線式200V

2分電盤 ・埋込型 ・半埋込型 ・露出型、鉄製・指定色

3 ﾌﾛｱｰｺﾝｾﾝﾄ ・ｱｯﾌﾟｺﾝ ・収納式(上下可動)

4非常用照明器具 ・電池内蔵 ・電源別置

5蛍光灯安定器 ・蛍光灯器具の安定器の回路方式は原則として次による。

	蛍光灯の種類		回路方式
直管のﾗﾝﾌﾟ	ﾎｰﾑﾗｲﾄ		GL
	環形のﾗﾝﾌﾟ(ﾎｰﾑﾗｲﾄを除く)		GH
	15W以下		GL
	20W	防雨形、防湿形器具	GL
		電池内蔵型非常照明	
		及び誘導灯	
	20W(上記以外のもの)		GH
	30W		GH
	40W及び110W		RH

・直管形ﾗﾝﾌﾟ40W用の高力率ﾗﾋﾟｯﾄｽﾀｰﾄ式安定器は巻線、鉄心等の改良した低消費形のもの、及び電子式安定器とする

6吊りﾎﾞﾙﾄ

種類	ﾎﾞﾙﾄ本数9φ
電池内蔵型白熱灯器具	1以上
電池内蔵型蛍光灯20W×1以上	2以上
蛍光灯20W×2以上、40W×1以上	
蛍光灯20W×4以上、40W×5以上	4以上
その他器具重量1.5kg以上	必要数

家庭用吊り下げ器具及びｼｽﾃﾑ天井器具は除く

7その他 ・分電盤の図面ﾎﾙﾀﾞｰに、単線結線図を具備する。

動力設備

1電気方式 ・幹線 ・三相3線式200V
・分岐 ・三相3線式200V

2制御盤 ・ﾄﾞｱ裏面の充電部に感電防止の処置を施す。

3手元開閉器 ・配電函 ・鉄箱

4電流計 ・0.2KW以上の電動機に設置(管理指針付き)

5その他 ・別途機器への接続は本工事とする。
・分電盤の図面ﾎﾙﾀﾞｰに、単線結線図を具備する。

避雷針

1受電部 ・突針 ・棟上げ導体 ・架空線式

2避雷導線 ・銅より線 ・銅帯 ・建築構造体利用

3接地極 ・単独 ・建築構造体利用

4接地用端子函 ・黄銅製 ・ｽﾃﾝﾚｽ製

構内配電線路

1配線方式 ・地中線式 (・直埋式 ・管路式) ・架空線式

2地中線路の余長 ・ﾏﾝﾎｰﾙ、ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ内でｹｰﾌﾞﾙの余長を見込む。
・直埋式の道路横断ヶ所は管路としその両端は余長を見込む。

3地中線路保護材料 ・耐衝撃性硬質ﾋﾞﾆｰﾙ電線管(HIVE)

4電柱等立上り部 ・波付硬質ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管(FEP)
・厚銅電線管(地中部分ｼﾞｭｰﾄ巻又は防食ﾃｰﾌﾟ巻)
・耐衝撃性硬質ﾋﾞﾆｰﾙ電線管(HIVE)
・ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ被覆鋼線(PLP)

5高圧気中開閉器 ・耐塩型 ・重耐塩型

6装柱器材 ・地路 ・過電流地路 ・過電流方向性地路
・耐塩型(ｹｰﾌﾞﾙ端末処理材共) ・一般型

7外灯接地 ・単独 ・共用(ｹｰﾌﾞﾙL芯線使用)

8外灯の点滅方法 ・自動(・ﾀｲﾏｰ ・光電式自動点滅器)
・手動 ・自動-手動併用

9その他 ・埋設深さ(・H=1.2m以上 ・H=0.6m以上)

10 地下埋設標 ・杭 ・ｼｰﾄ

電話設備

1 ﾛｰﾃｰｼｮﾝｱｳﾄﾚｯﾄ ・一般型 ・ﾎﾞﾀﾝ型

2工事範囲 ・配管 ・配線 ・接地工事

インターホン設備

1電気方式 ・AC ・DC

2機種 ・電話形親機 ・ｽﾋﾟｰｶ形親機 ・ﾅｰｽｺｰﾙ
・電話形子機 ・ｽﾋﾟｰｶ形子機

3通話方式 ・親子式 ・相互式 ・同時式 ・交互式

4機器使用 ・校内連絡用 ・身体障害者用 ・夜間受付用

拡声設備

1 増幅器 ・種類 (・一般放送用○ ・非常放送用 ・併用)
・形式 (・卓上形 ・壁掛形 ・ｷｬﾋﾞﾈｯﾄﾗｯｸ形
・ﾃﾞｽｸ形)
・定格出力 ・性能 級
・付加機器(・ｺｰﾙｻｲﾝ ・ﾓﾆﾀｰ ・AM,FMﾗｼﾞｵ付
・ﾘﾓｺﾝﾏｲｸ ・ﾏｲｸ入力 回路
・出力ｽｲｯﾁﾎﾞｰﾄﾞ 回路
増幅器の入出力配線と外部配線(壁ﾎﾞｯｸｽ等)の接続はｺﾈｸﾀｰによる。

2マイクロホン ・ﾀﾞｲﾅﾐｯｸ形(単一指向性) ・性能 級 本
・ﾜｲﾔﾚｽ式 4本
・ﾏｲｸﾛﾎﾝｽﾀﾝﾄﾞ (・卓上形 1本 ・床上形 1本)
・ﾘﾓｺﾝﾏｲｸ (卓上形 本)
・延長ｺｰﾄﾞ (10m× 各 本)

3ﾜｲﾔﾚｽ受信機 ・水晶制御方式 ﾁｭｰﾅｰ2ﾁｬﾝﾈﾙ内蔵
・800MHZ

電気時計設備

1ﾊﾟﾙｽ発生器 ・水晶式 型 1回線 精度 級

時報器 (・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾀｲﾏｰ ・ﾁｬｲﾑ)

2子時計 ・埋込 ○⊙壁掛け ・ｽﾋﾟｰｶ付

3体育館用時計

4屋外ﾎﾟｰﾙ時計 ・ｱﾅﾛｸﾞ ・ﾃﾞｼﾞﾀﾙ

テレビ共聴

1 同軸ｹｰﾌﾞﾙ ・高周波同軸ｹｰﾌﾞﾙ(2V)
・発砲ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁同軸ｹｰﾌﾞﾙ(FE)

2ｱﾝﾃﾅ ・AV-1形 ・AV-2形 ・AU-1形 ・AU-2形

3ｱﾝﾃﾅ支持 ・側面 ・自立

4増幅器 ・UV-2 ・U-2 ・V-1 ・U-1

5電界強度の測定 ・要 ・不要

6電波障害調査 ・事前調査ﾎﾟｲﾝﾄ 個所 ・事後調査ﾎﾟｲﾝﾄ 個所

表示設備

1電気方式 ・AC ・DC

2表示盤 ・窓数 1窓

3発信器 ・埋込形 ・露出形 ・ﾗﾝﾌﾟ付 ・防水

4その他 ・同一室内に取り付ける電鈴、ﾌﾞｻﾞｰ等の音色は異なるものとする。

②火災報知設備

①火災報知装置 ⊙受信機 P型 1級10回線+ｶﾞｽ漏れ 回線
⊙壁掛型 ・自立型 ・単独
・副受信機 窓

2非常警報装置 ・一体形 ・単独

3ｶﾞｽ漏れ警報装置 ・受信機 級 回線 ・LPｶﾞｽ用 ・都市ｶﾞｽ用
・壁掛形 ・自立形 ・単独 ・一体形(総合防災盤組み込み)

4その他 ・検知器 ・ﾌﾟﾗｸﾞ式 ・固定式
・防犯設備も含む ・非常通報設備も含む
SFD-119(電気通信共済会)

防火戸設備

1連動制御器 ・ 回線(遠方復帰機構 回線)
・壁掛形 ・自立形 ・単独

2自動閉鎖装置 ・防火戸用 ・防火ﾀﾞﾝﾊﾟｰ用 ・防火ｼｬｯﾀｰ用
・単独 ・一体形

構内交換設備

1交換機機種 ・ﾎﾞﾀﾝ電話式 ・電子式

2回線数 ・内線 / 回線(実装 回線)
・局線 / 回線(実装 回線)

3電話機 ・卓上 ・壁掛け ・ﾀﾞｲﾔﾙ式 ・ﾌﾟｯｼｭﾎﾞﾀﾝ式

構内通信線路

1配線方式 ・地中線式(・直埋式 ・管路式) ・架空線式

2地中線の余長 ・ﾏﾝﾎｰﾙ、ﾊﾝﾄﾞﾎｰﾙ内でｹｰﾌﾞﾙの余長を見込む
・直埋式の道路横断ヶ所は管路としてその両端は余長を見込む

3地中線保護材料 ・耐衝撃性硬質ﾋﾞﾆｰﾙ電線管(HIVE)
・波付硬質ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管(FEP)

4電柱等立上り部 ・厚銅電線管(地中部ｼﾞｭｰﾄ巻又は防食ﾃｰﾌﾟ巻)
・耐衝撃性硬質ﾋﾞﾆｰﾙ電線管(HIVE)・ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ被覆鋼線(PLP)

5その他 ・埋設深さ(・H=1.2m以上 ・H=0.6m以上)

6地下埋設標 ・杭 ・ｼｰﾄ

その他

1 ｽﾘｰﾌﾞ ・地中部分はVP管とする。 ・水密を要する部分はﾌﾗﾊﾞ付鋼管とする。
・一般は紙ｽﾘｰﾌﾞとする。但し防火区画貫通部分は鋼管とする。

表－1 「他工事との工事区分表」

他工事との取合い			電気設備工事	機械設備工事	建築工事
開口部	梁・床・壁貫通部	補強	・	・	・
		ｽﾘｰﾌﾞ・仮枠	・	・	・
	埋込分電盤・端子盤・ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽ	補強	・	・	・
		仮枠		・	・
	軽量鉄骨下地天井・壁ﾎﾞｰﾄﾞ類の切込	補強有りの場合(補強共)	・	・	・
		補強無しの場合	・	・	・
	床ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ	切込	・	・	・
	既製間仕切壁の位置ﾎﾞｯｸｽ及びその取付		・	・	・
			・	・	・
発電機の基礎			・	・	・
配電盤・制御盤等の基礎		屋内・屋上	・	・	・
		屋外	・	・	・
自立型ﾃﾚﾋﾞｱﾝﾃﾅの基礎(屋上)			・	・	・
避雷針の基礎(屋上)			・	・	・
配線ﾋﾟｯﾄ及び蓋			・	・	・
自立閉鎖装置を取付ける防火戸の切込・補強及びﾄﾞｱﾁｪｯｸ・ﾌﾛｱﾋﾝｼﾞ			・	・	・
照明器具・幹線等の吊ﾎﾞﾙﾄ用のｲﾝｻｰﾄ			○	・	・
別途機器などへの接続(直接接続するもの)			○	・	・
機器付属制御盤以降の配管配線(接地共)			○	・	・
機器付属制御盤への電源供給の渡配管配線(接地共)			○	・	・
機器付属制御盤への操作回路の渡配管配線			○	・	・
天井吊型 FCU 及び全熱交換形換気扇と操作ｽｲｯﾁとの渡配管配線			・	・	・
煙感知器から連動制御盤を経て防煙ﾀﾞﾝﾊﾟに至る配管配線			・	・	・
小便器用水装置の制御盤以降の配管配線			・	・	・
自動扉及び電動ｼｬｯﾀｰなどの制御装置に至る配管配線			・	・	・
防油提			・	・	・
天井点検口			・	・	○

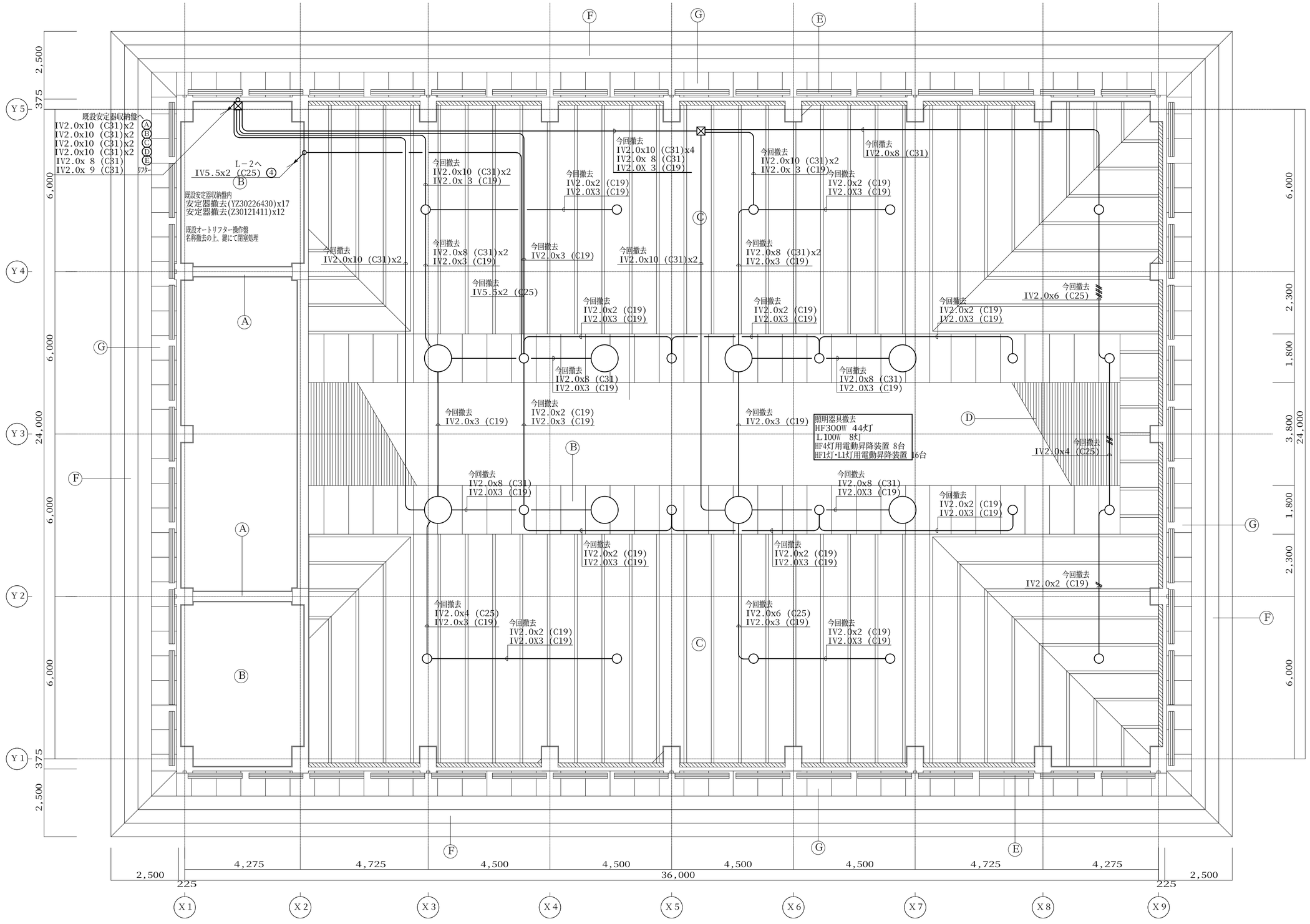
特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事
		図名	電気設備特記仕様書
		縮尺	S＝NON
		図面番号	E－01

HAKUHO Architech
白鳳アーキテック 株式会社
1級建築士事務所 登録(三重1－1987号)
〒518－0752 三重県名張市希央台5番町109番地
TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067
E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp

承認					
図面提出日	／ ／				

管理建築士 印

1級7818号
西尾 勲

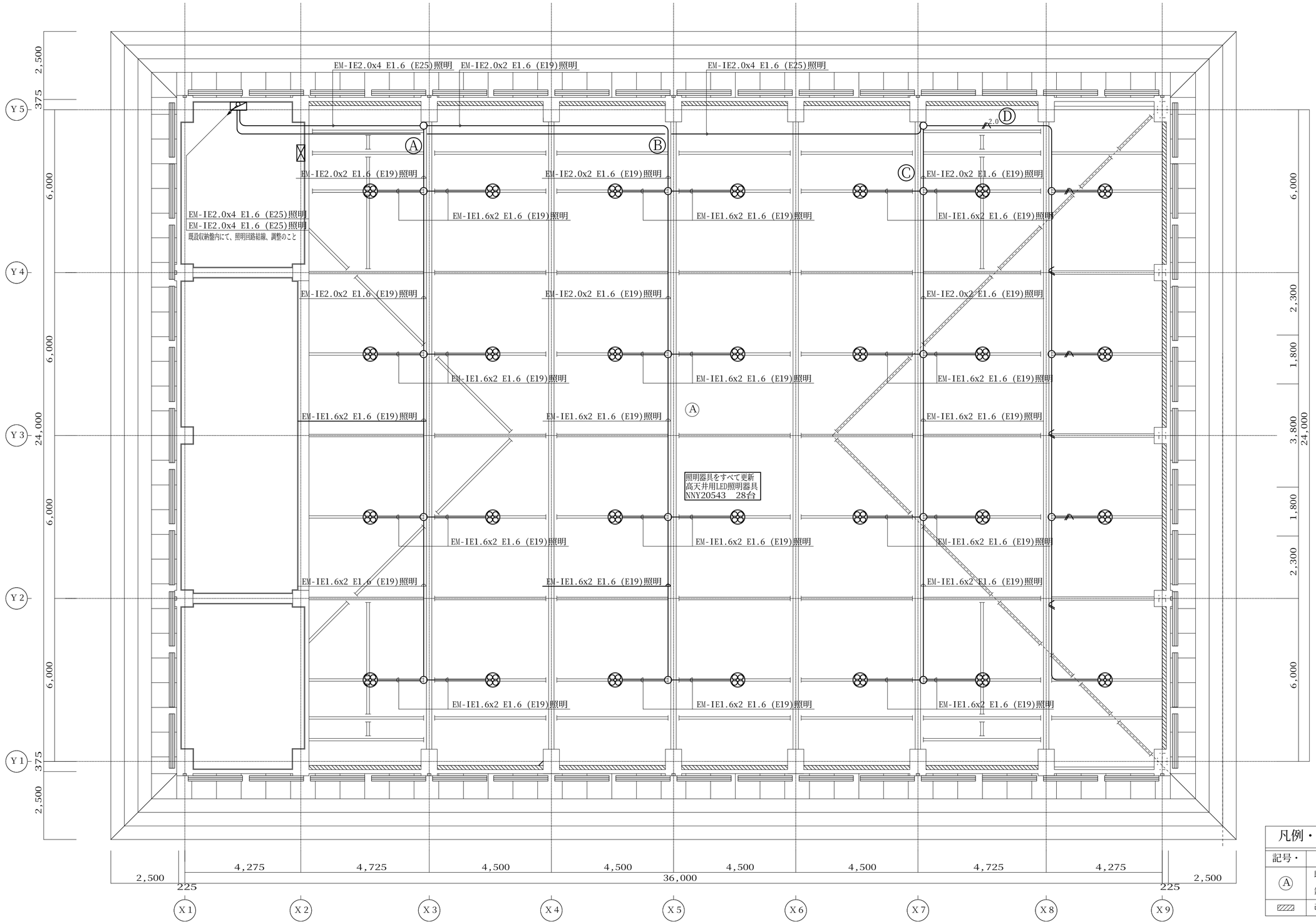


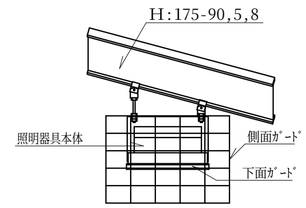
現況ギャラリー階天井伏図　S＝1／100・

特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事		
		図名	既設照明器具及び付随機器配管撤去図	縮尺 S＝1／100	図面番号 E－02

HAKUHO Archi. Design
株式会社・白鳳建築設計事務所
1級建築士事務所　登録（三重1－957号）
〒518－0810　三重県伊賀市平野東町107
TEL 0595-23-6112　FAX 0595-23-6132
E-mail hakuho@ict.ne.jp

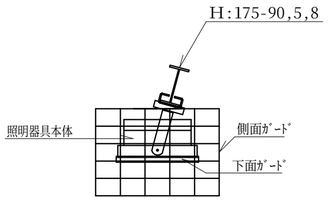
承認						管理建築士	印
						1級 247376号 田中 敏也	
図面提出日 ／ ／							





取付詳細図　S:1/20

取付金具
Z-BHIL100(ﾈｸﾞﾛｽ)相当



取付詳細図　S:1/20

取付金具
Z-BHD1-W4(ﾈｸﾞﾛｽ)相当

※ 特記事項
1，記入なき配線配管は下記による。
EM-IE1.6x2 E-1.6 (E19)
2.0 EM-IE2.0x2 E-1.6 (E19)
2.照明器具はワイヤーにて緊結のこと

凡例・

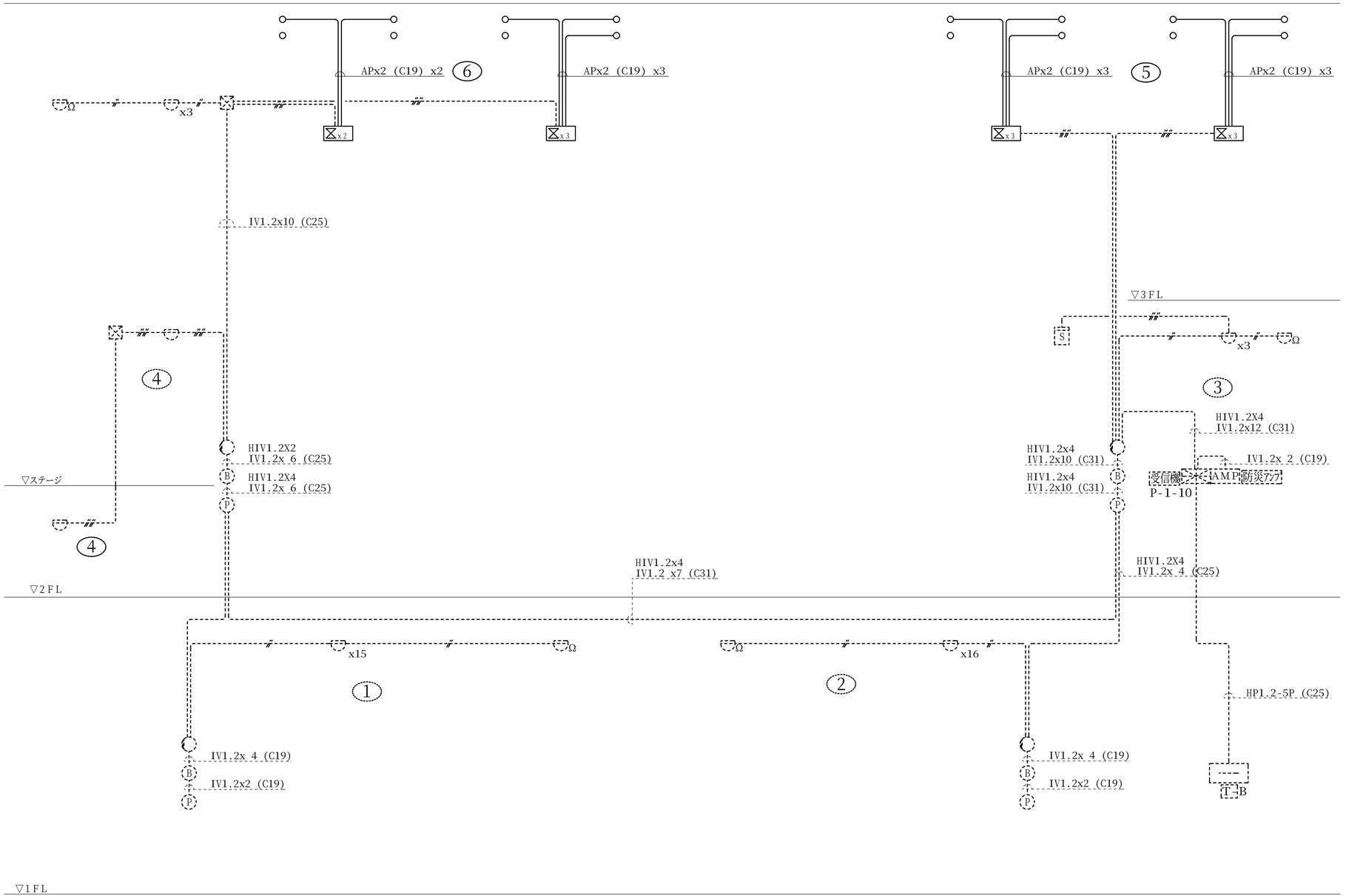
記号・	仕上・
Ⓐ	既存天井（PB厚9、木毛セメント板 厚25）撤去処分（廻縁共） 鉄骨梁現し　SOP塗
▨	改修範囲を示す

改修後ギャラリー階天井伏図　S＝1／100

特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事		
		図名	改修後照明器具配線図	縮尺 S＝1／100	図面番号 E－03

HAKUHO Archi. Design
株式会社・白鳳建築設計事務所
1級建築士事務所　登録（三重1－957号）
〒518－0810　三重県伊賀市平野東町107
TEL　0595-23-6112　FAX　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp

承認					管理建築士	印
					1級　247376号 田中　敏也	
図面提出日　／／						



凡　例

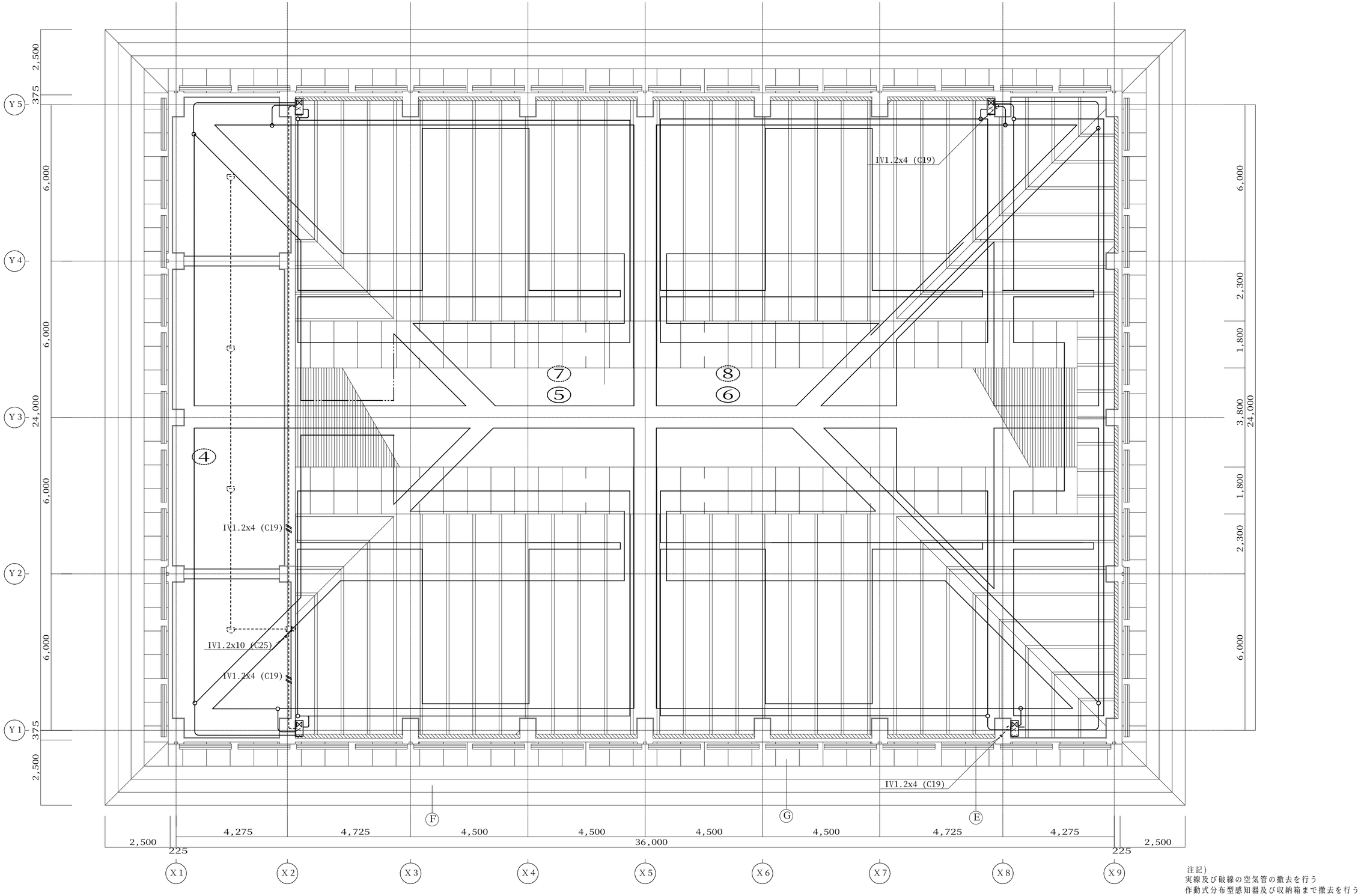
	受信機	Ｐ型１級10回線
P	発信器	Ｐ型１級埋込型
	表示灯	AC24V5W
B	ベル	DC24V150Φ
	感知器	差動式スポット型　２種
x2	感知器	
S	煙感知器	差動式分布型　２種(収納函共)
	端子盤	
	空気管	
//	電線路	IV1.2x2
///	電線路	IV1.2x4
- - - -	電線路	ステージ下
4	警戒区域番号	

今回改修箇所を示す。
既設箇所を示す

特　記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事		
		図名	火災報知設備系統図	縮尺 S＝NS	図面番号 E－04

HAKUHO Archi. Design
株式会社・白鳳建築設計事務所
1級建築士事務所　登録（三重1－957号）
〒518－0810　三重県伊賀市平野東町107
TEL　0595-23-6112　FAX　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp

承　認					管理建築士	印
					1級　247376号 田中　敏也	
図面提出	日	／	／			



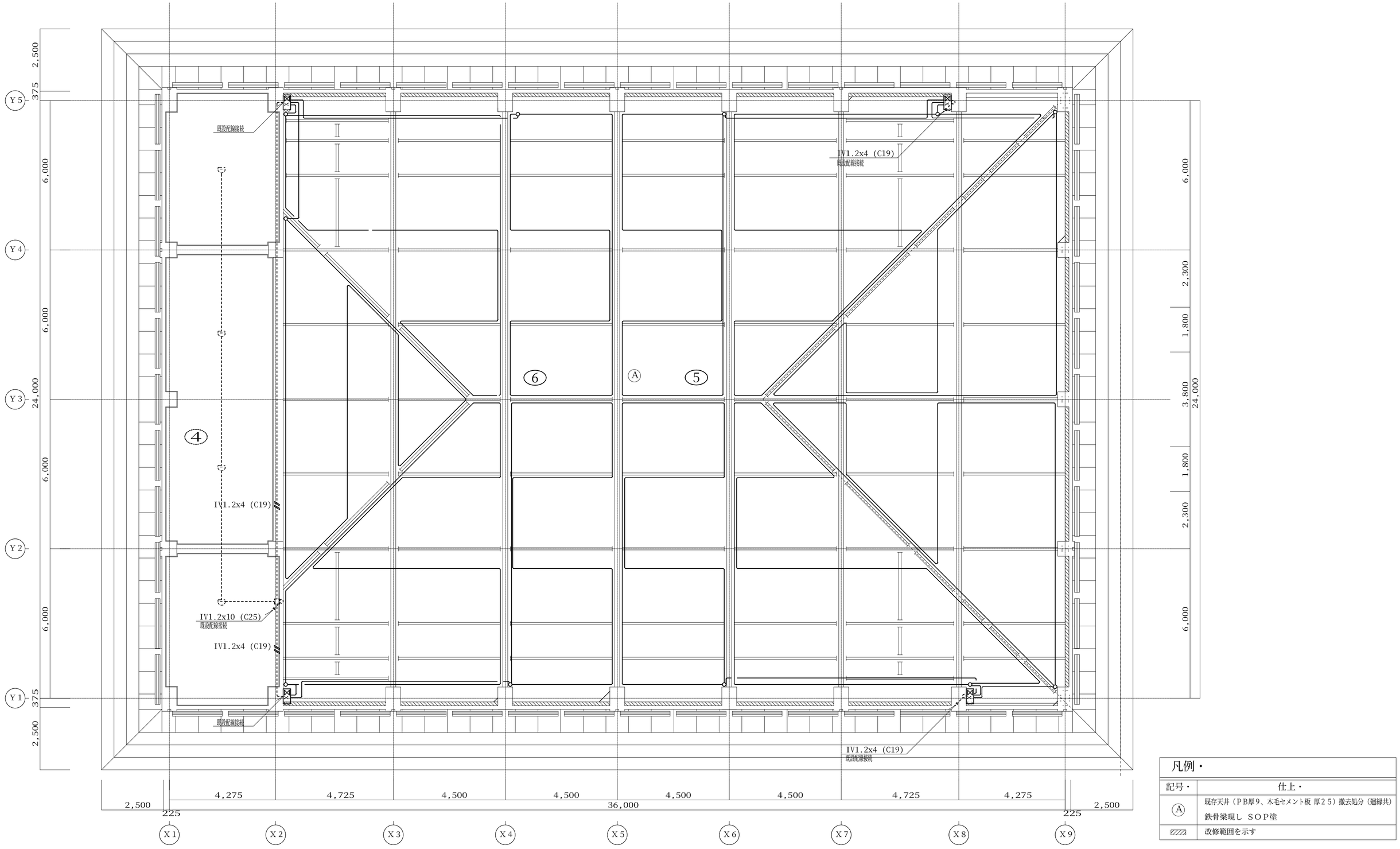
注記）
実線及び破線の空気管の撤去を行う
作動式分布型感知器及び収納箱まで撤去を行う

現況ギャラリー階天井伏図　S＝1／100・

特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事		
		図名	既設(火災報知設備)空気管分布図	縮尺 S＝1／100	図面番号 E－05

HAKUHO Archi. Design
株式会社・白鳳建築設計事務所
1級建築士事務所　登録（三重1－957号）
〒518－0810　三重県伊賀市平野東町107
TEL　0595-23-6112　FAX　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp

承認					管理建築士	印
					1級　247376号 田中　敏也	
図面提出日　／／						



凡例・

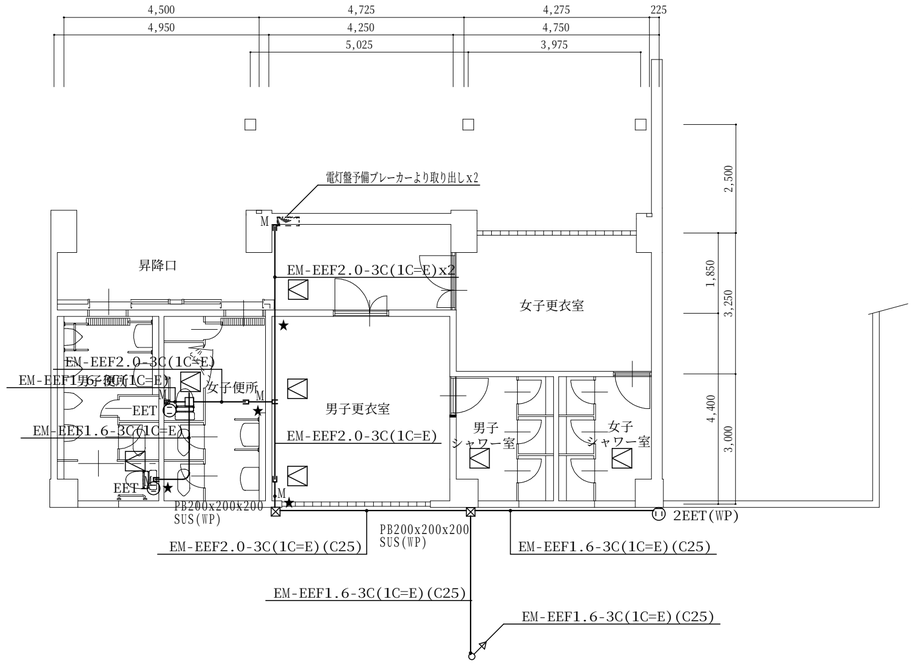
記号・	仕上・
Ⓐ	既存天井（ＰＢ厚9、木毛セメント板 厚２５）撤去処分（廻縁共） 鉄骨梁現し ＳＯＰ塗
▨	改修範囲を示す

改修後ギャラリー階天井伏図　Ｓ＝１／１００

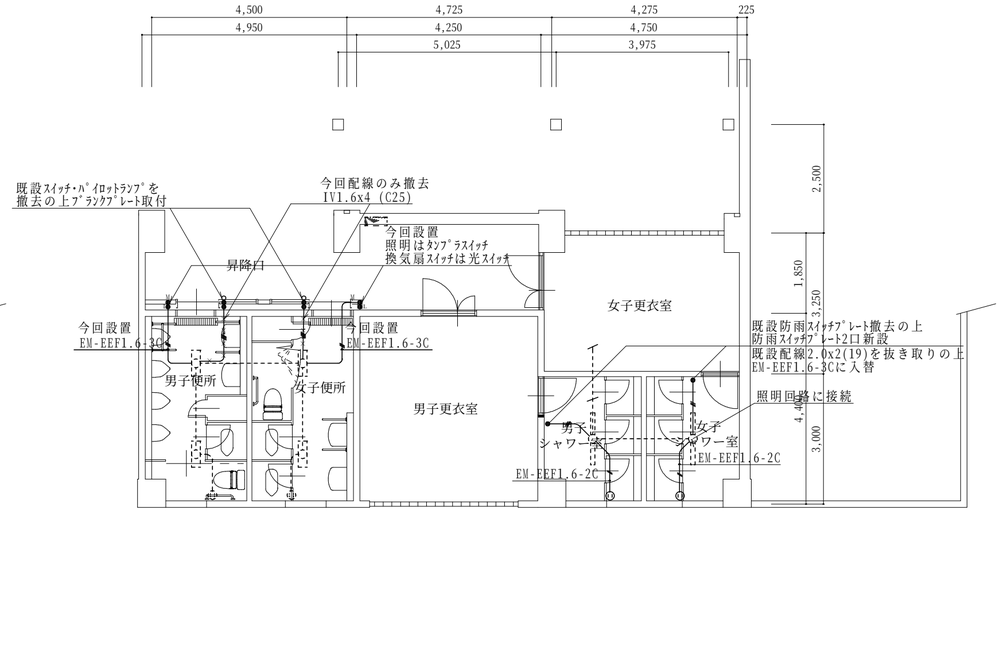
特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事		
		図名	改修後(火災報知設備)空気管分布図	縮尺 Ｓ＝１／１００	図面番号 Ｅ－０６

HAKUHO Archi. Design
株式会社・白鳳建築設計事務所
１級建築士事務所　登録（三重１－９５７号）
〒５１８－０８１０　三重県伊賀市平野東町１０７
ＴＥＬ　0595-23-6112　ＦＡＸ　0595-23-6132
E-mail　hakuho@ict.ne.jp

承認					管理建築士・・	印
					1級 247376号 田中　敏也	
図面提出日 ／ ／						

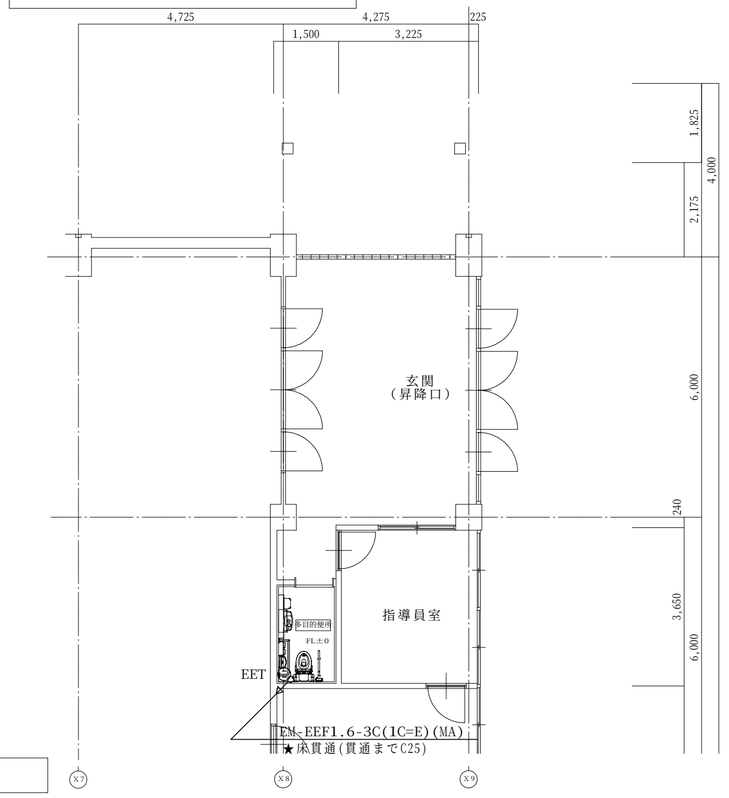


1 階 平 面 図　S = 1 ／ 1 0 0



1 階 平 面 図　S = 1 ／ 1 0 0

※ 特記事項
1，天井内配線はころがし配線とする。
2，壁貫通部はPF16にて保護すること。
-------- 既設機器及び配線を示す。
——— 新設または増設機器及び配線を示す。
M 立ち下がりA型モールを示す。
★ 壁貫通箇所を示す。
区画貫通箇所はモルタル充填とする。



2 階 平 面 図　S = 1 ／ 1 0 0

特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事		
		図名	便所改修電気設備図	縮尺 S=1／100	図面番号 E－07

HAKUHO Archi. Design
株式会社・白鳳建築設計事務所
1級建築士事務所　登録（三重1－957号）
〒518－0810　三重県伊賀市平野東町107
TEL 0595-23-6112　FAX 0595-23-6132
E-mail hakuho@ict.ne.jp

承認					管理建築士	印
					1級 247376号 田中 敏也	
図面提出	日 ／ ／					

機械設備工事特記仕様書　（⊙印を付けたものを適用する。）

建築概要

工事名称　笠置小学校屋内運動場天井等改修工事

工事場所　京都府相楽郡笠置町

建物名称	構造	階数	延面積（㎡）	備考
屋内運動場	ＲＣ造	２階		

一般事項

適用仕様書	・日本建築家協会編「建築設備工事共通仕様書」最新年版 ・空気調和・衛生工学会規格「空気調和・衛生設備工事標準仕様書」最新年版 ⊙国土交通大臣官房官庁営繕部監修「機械設備工事共通仕様書」平成25年版
優先順位	1．質疑応答書 2．本特記仕様書 3．設計図書 4．工事共通仕様書
申請手続	工事に伴う関係官庁公署、ガス会社への諸手続きは受注者がこれを代行し、必要経費も本工事に含むものとする。
疑義	設計図書の誤記、記載漏れ、又図面上納まり不明な事に起因する問題点疑義についてはその都度監督員と協議する事。
変更	設計図書に明記なくとも、外観上、機能上又は法規上当然必要と認められるものについては本工事に含むものとする。
完成図書	工事完成の上は各種の試験、検査を受け許可書証、成績表、工事写真、日報材料検収簿、完成写真、竣工図、 取扱説明書等とりまとめ提出する事。
耐震基準	日本建築センター編「建築設備耐震設計・施工指針」による事。

特記事項

⊙地中埋設の給水、ガス、消火管等は埋設表示杭、埋設シートを布設する。

⊙機器及び配管等は、地震時に水平移動、転倒、落下などが生じないように「建築設備耐震設計指針」により施工する。

⊙防火区画貫通部分は、日本建築センターの性能評定を受けた工法に基づく材料を使用する事。

⊙建物導入配管（給水・ガス・消火）は十分な可撓性を有する変位吸収配管施工を行う。

⊙水密を要する部分はつば付スリーブ、地中に用いるスリーブはＶＰ管、他は紙製等のスリーブを使用する事ができる。

⊙排水管を除く管の埋設深さは、一般敷地３００mm以上、車両道路部６００mm以上とする。

⊙既設コンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。

⊙土間配管は土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持するようにする。

⊙屋外露出及び多湿箇所（トレンチピット等）の配管架台は、ＳＵＳ又はＳＳ溶融亜鉛メッキ仕上げとする。

⊙機器・配管・支持金物において、異種金属が接する部分には、絶縁処理を行う。

⊙屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、ケミカルアンカー（ＳＵＳ）とする。

⊙監督職員の指示する時期に施設関係者の立会いを行うものとする。

共通事項

保温工事	・保温施工範囲は共通仕様書による。				
	⊙保温施工種別	・共通仕様書による。			
		⊙下表による。（但しダクト、機器、煙道は共通仕様書による。）			
屋内露出	グラスウール保温筒	樹脂カバー			
屋外露出・多湿箇所	ＰＳ保温筒	ＳＵＳ鋼板仕上げ			
天井・ＰＳ内	グラスウール保温筒	アルミガラスクロス			
床下・暗渠内	ＰＳ保温筒	アルミガラスクロス			
	⊙保温の厚さ	・共通仕様書による。			
		⊙下表による。（但しダクト、機器、煙道は共通仕様書による。）			
給排水管・給湯管・温水管・ドレン管	８０Ａ以下	２０mm	冷水管・冷温水管	２５Ａ以下	３０mm
消火管（但し図示に特記ある場合のみ）	１００～１５０Ａ	２５mm		３２～２００Ａ	４０mm
	２００Ａ以上	４０mm		２５０Ａ以下	５０mm
冷媒配管の露出部仕上げ	・ＳＵＳ仕上げ	⊙化粧ケース仕上げ			

工事種別

	屋外	屋内（　）	屋内（　）	屋内（　）	屋内（　）
給排水衛生設備					
・給水設備	○	○			
・排水設備		○			
・衛生器具設備		○			
・給湯設備		○			
・ガス設備		○			
・消火設備					
・ろ過設備					
・浄化槽設備					
空調設備					
・機器設備					
・配管設備					
・ダクト設備					
・換気設備		○			
・排煙設備					
・自動制御設備					

給水設備

- ⊙ 給水方式：・水道直結式　⊙高架水槽式（・市水　・　　）　・圧力方式（・圧力タンク　・回転数制御　・圧力一定）
- 受水槽＜本体＞：・ＦＲＰ製　・一体型（・複合板・単板）・パネル型（・複合板・単板）　・ステンレス製　・一体型　・パネル型　・鋼板製　・一体型　・パネル型
- 高架水槽＜本体＞：・ＦＲＰ製　・一体型（・複合板・単板）・パネル型（・複合板・単板）　・ステンレス製　・一体型　・パネル型
- ⊙ 配管材料：⊙ライニング鋼管＜一般＞（⊙ＶＡ　・ＶＢ　・ＶＤ　・ＰＡ　・ＰＢ　・ＰＤ）　⊙ライニング鋼管＜土中＞（⊙ＶＤ　・ＰＤ）　・塩化ビニル管＜土中・暗渠＞（・ＨＩ　・ＶＰ　・ポリ管）　・さや管工法（・架橋ポリ管　・　　）
- ⊙ 弁類：＜直結部分＞　・水道業者指定品　＜その他の部分＞　⊙ＪＩＳ５ｋｇｆ／ｃｍ²・ＪＩＳ１０ｋｇｆ／ｃｍ²
- 量水器：・貸与品　・買い取り（私設）
- 引込加入、市納金等：・要（・別途工事　・本工事）　・不要
- その他：・

排水設備

- ⊙ 排水方式：＜屋内＞　⊙分流方式　・合流方式　＜屋外＞　・分流方式　⊙合流方式　＜雨水＞　・分流方式　・合流方式
- 放流先：＜汚水＞　・下水管　⊙浄化槽　・合併処理槽　・汲み取り　＜雑排水＞　⊙下水管　・合併処理槽　・側溝は河川　・既設桝　＜雨水＞　・下水管　・調整池　⊙側溝又は河川　・既設桝
- 配管材料：＜屋内汚水管＞　・メカニカル形排水鋳鉄管　・排水用鉛管　・排水用塩ビライニング鋼管（可とう継手又はＭＤ継手）　⊙硬質塩化ビニール管（ＶＰ）　⊙耐火被覆ビニール管　＜雑排水管＞　・配管用炭素鋼鋼管（白）　・排水用塩ビライニング鋼管（可とう継手又はＭＤ継手）　⊙硬質塩化ビニール管（ＶＰ）　⊙耐火被覆ビニール管　＜通気管＞　・配管用炭素鋼鋼管（白）　・硬質塩化ビニール管（ＶＰ）　・耐火被覆ビニール管　＜屋外排水管＞　・遠心力鉄筋コンクリート管（外圧管　・２種　・１種）　・硬質塩化ビニール管（ＶＰ）　・硬質塩化ビニール管（ＶＵ）
- 桝：・公団形（Ｂ種）　・現場打　・市販桝　・小口径　・ビニール桝
- その他：・

衛生器具設備

- ⊙ 大便器洗浄方式：⊙ＦＶ（⊙節水形　・低圧式）　⊙洗浄タンク
- ⊙ 水栓：⊙節水コマ（泡沫式は除く）　・普通コマ
- その他：・和風便器が防火区画を貫通する場合は耐火カバーを設ける。

給湯設備

- ⊙ 給湯方式：・中央式　・ボイラー　・温水機　・ガス給湯器　・電気温水器　⊙局所式　⊙ガス給湯器　・瞬間湯沸器　・電気温水器
- 配管材料：・銅管（・Ｍ　・Ｌ）既設取合部　・被覆銅管（・Ｍ・・ＳＬＳ管）　⊙耐熱性硬質塩ビライニング鋼管　・配管用炭素鋼鋼管（黒）　・内外面耐熱性硬質塩ビライニング鋼管＜埋設＞　・耐熱性硬質塩化ビニール管　・さや管工法（・架橋ポリ管　・　　）
- ⊙ 燃料：・都市ガス　⊙ＬＰＧ　・灯油　・Ａ重油　・電気
- その他：・

ガス設備

- ⊙ ガスの種別：・都市ガス（種別　　発熱量　　ｋｃａｌ／ｍ³　供給事業者名　　）　⊙液化石油ガス（発熱量　１２，０００ｋｃａｌ／ｋｇ）
- ⊙ 配管材料：⊙配管用炭素鋼鋼管（白）　⊙ビニール被覆鋼管＜埋設＞　・ポリエチレン被覆鋼管＜埋設＞　・ポリ管　・都市ガスの場合、供給事業者の仕様による。
- ⊙ ボンベ：⊙別途　・本工事　ボンベ（・１０ｋｇ　・２０ｋｇ　⊙５０ｋｇ　・バルク）　本数（図示）　転倒防止鎖等（・本工事　・別途工事）
- 気化装置：・要（・電気式　・　　）　・不要
- ⊙ メーター：⊙貸与品　・買取品
- ガス漏れ検警報器：・本工事　・別途工事　・一般形　・自動遮断弁付
- 引込納付金等：・要（・別途工事　・本工事）　・不要
- その他：・

消火設備

- 消火設備の種別：・屋内消火栓　・屋外消火栓　・スプリンクラー　・泡消火　・水道連結型SP　・連結送水管　・連結散水管　・移動粉末消火　・フード消火　・消火器
- 屋内消火栓箱：・ＨＢ－１Ａ　・ＨＢ－１Ｂ　・ＨＢ－２Ａ　・ＨＢ－２Ｂ　・ＨＢ－３Ａ　・ＨＢ－３Ｂ　・ＨＢ－４Ａ　・ＨＢ－４Ｂ　・Ｓ
- 屋外消火栓箱：・ＨＢ－２１　・ＨＢ－２２
- 連結送水管：・ＨＢ－１１Ａ、Ｂ　・ＨＢ－１２Ａ、Ｂ
- 配管材料：・鋼管（・ＪＩＳ　Ｇ　３４５２　・ＪＩＳ　Ｇ　３４５４）　・消火栓用塩ビ外面被覆鋼管（ＳＧＰ－ＶＳ）
- その他：・消火栓箱は指定色焼付塗装とする。

ろ過設備

- 方式：・砂　・フィルター
- 制御：・全自動　・手動
- 配管材料：・配管用炭素鋼鋼管（白）　・耐衝撃性塩化ビニル管(HI)　・耐熱性塩化ビニール管
- その他：・

浄化槽設備

- 方式、容量：・単独　・合併　算定人員　　人槽　処理水量　　ｍ３／日
- 材質：・ＦＲＰ製　・コンクリート既製管　・ＲＣ躯体
- 補強スラブ：・要　・不要
- その他：・

機器設備

- 設計空気条件：（特記なきは建設省建築設備設計基準による）　・外気　＜夏期＞　34.5 ℃　57.6 %　＜冬季＞　1.7 ℃　49.6 %　・室内　＜夏期＞　26.0 ℃　50.0 %　＜冬季＞　22.0 ℃　40.0 %　・一般系統の湿度は成り行きとする。
- 熱源機器：・冷温水発生機　・チラー（・空冷ＨＰ　・空冷　・水冷ＨＰ　・水冷）　・温水ボイラー　・水蓄熱
- 放熱機：・空冷ＨＰパッケージ　・ガスＨＰパッケージ　・ＦＣＵ　・ＡＨＵ
- その他：・

配管設備

- 配管方式：・冷媒配管　・冷温水配管　・冷却水配管　・温水配管
- 配管材料：・冷媒管　・冷媒用銅管　・冷媒用被覆銅管　・冷温水管　・配管用炭素鋼鋼管（白）　・耐熱性硬質塩ビライニング鋼管　・冷水・温水管　・配管用炭素鋼鋼管（白）　・耐熱性硬質塩ビライニング鋼管　・冷却水管　・硬質塩ビライニング鋼管（・ＶＡ・ＶＢ）　・配管用炭素鋼鋼管（白）　・硬質塩化ビニール管（ＶＰ）　・ドレン管　・配管用炭素鋼鋼管（白）　・硬質塩化ビニール管（ＶＰ）　・油管　・配管用炭素鋼鋼管（黒）　・外面塩ビ被覆鋼管（ＶＰ）　・蒸気管　・配管用炭素鋼鋼管（黒）
- 弁類：・ＪＩＳ５ｋｇｆ／ｃｍ²・ＪＩＳ１０ｋｇｆ／ｃｍ²　呼び径１００Ａ以上の弁は係員と協議の上バタフライ弁を使用してよい。
- その他：・

ダクト設備

- 風道：・低速風道　・高速風道
- 風道材質：・亜鉛鉄板　・塩化ビニールライニング鋼板　・ステンレス板　・グラスウールダクト　・消音フレキ
- 吹出口・吸込口の材質：アルミニウム製　・鋼板製（指定色焼付塗装）
- その他：・

換気設備

- ⊙ 換気方式：・集中換気　⊙個別換気
- 風道：・低速風道　・高速風道
- 風道材質：・亜鉛鉄板　・塩化ビニールライニング鋼板　・ステンレス板　・硬質塩化ビニール管（ＶＵ）　・スパイラルダクト
- 吹出口・吸込口の材質：ダクト当該項目による。
- 耐火被覆：湯沸室排気ダクトについては法規に準じた耐火被覆を行う。
- その他：・外気取入ダクトは断熱のこと。

排煙設備

- 風道材質：・亜鉛鉄板　・普通鋼板（厚１．６mm）
- 排煙口の形式：・天井取付（・スリット形　・スイング形）
- 排煙口開放装置：・手動　・手動及び遠隔操作可能なもの
- 復帰方法：・遠隔形　・手元形
- 排煙風量測定：・建築設備定期検査業務指導書（日本建築設備安全センター）の排煙風量の検査方式に準ずる。
- その他：・

自動制御設備

- 制御方式：・電子　・電気　・空気
- その他：・既設機器システムに準じた配管、配線を行うこと

管	裏手共	水マーク表示品　ＷＳＰ規格品　ＪＩＳマーク表示品　他規格品
弁	青銅弁・鋳鉄弁	ＪＩＳマーク表示品
保温材	ＲＷ・ＧＷ保温材	ＪＩＳマーク表示品
ポンプ	ポンプ類	評価事業名簿による
衛生器具	衛生陶器・水栓	ＪＩＳマーク表示品　（規格以外）　ＬＩＸＩＬ　ＴＯＴＯ
水槽	ＦＲＰ製	積水プラント　日立化成　プリデストン　三菱樹脂
	鉄パネル	積水プラント　プリデストン
桝	桝蓋（公団型）	協和コンクリート　桑名工業　昭和工業　ネオジオ　丸八産業
鋳鉄製品	排水金物	オオタケ　カネソウ　ダイドレ　中部　清遵　福西　ホクキャスト
	鋼鉄製蓋	（マンホール、弁桝蓋）　評価事業名簿による
量水器	量水器	愛知時計　金門製作所　リコー計器
ガス器具	ガス配管装置	伊藤工機　技術機　藤井合金　富士工器
	ガス給湯器（都市ガス）	ガス供給者の推奨する製造者の製品
	ガス給湯器（ＬＰＧ）	ガス事業法、「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」に基づき、省令による試験を討じたもの
	厨房器具	アイホー　コメットカトウ　ＬＩＸＩＬ　トーヨー　日本調理機　フジマック
ガス警報	ガス警報システム	金門製作所　富士工器　富士通機　パナソニック　矢崎総業
通気装置	通気器	三協　三進　東西化学産業
滅菌器	滅菌器	鎌村　オーヤラックス　水道機工　日本普連
消火設備	消火栓類	立売堀製作所　原本産業　北浦製作所　共工製作所　横井製作所
	消火栓ホース	日本消防検定協会の合格表示品
	スプリンクラー・泡消火	宮田　ニッタン　日本ドライケミカル　能美防災　ホーチキ
	特殊ガス消火	川重防災　セコム　日総工産　日本フェノックス　日伺防災　ニッタン　能美防災
浄化槽	合併浄化槽（ＲＣ造）	全国浄化槽　ＬＩＸＩＬ　日本理化　西原　積水
	合併・単独浄化槽	（ＦＲＰ製）　建設大臣型式認定品
簡易水洗	クリーントイレ	ＩＮＡＸ　積水化学　ネポン　日立化成　パナソニック　ロンシール
グリス・トラップ	グリス・ガソリントラップ	カネソウ　奥本　下田機工　積水プラントシステム
特殊ガス設備	特殊ガス設備	川重防災　セントラルユニ　田中製作所　テイサン
製缶類	製缶類・熱交換器	島倉鉄工所　広島鉄工　ベルテクノ　ホーコス　森松工業
温水機	温水機	巴商会　昭和鉄工　高尾鉄工所　日本サーモエナー　前田鉄工所　三浦
	電気温水機	愛知電機　東芝　日本イトミック　パナソニック　三菱電機
ボイラー	鋼製ボイラー	石川島汎用ボイラー　高尾鉄工所　日本サーモエナー　前田鉄工所　三浦
	エクショナルボイラー	昭和鉄工　巴商会　前田鉄工
	小型ボイラー	愛知電機　石川島汎用ボイラー　日本サーモエナー　クボタ　昭和鉄工　巴商会
冷凍機	冷温水発生機（500USt）	荏原製作所　川重冷熱工業　クボタ　三洋電機　ダイキン工業　日立製作所　三菱重工業
	小型冷温水発生機	荏原製作所　東芝　日立製作所　パナソニック　矢崎総業
	冷凍機	荏原製作所　川重冷熱工業　クボタ　ダイキン工業　日立製作所　三菱重工業　三菱電機
空気調和機	パッケージ型空調機	ダイキン工業　東芝　日立製作所　パナソニック　三菱重工業　三菱電機
	ガスエンジン空調機	ヤンマー　パナソニック　三菱重工　アイシン
	ファンコイルユニット	評価事業名簿による
	ファンコンベクター	評価事業名簿による
防振装置	防振材・防振装置	倉敷化工　高砂ゴム　横浜機器　プリデストン　明治ゴム化成
加湿器	加湿器類	ウェットマスター　ビーエス工業　山武特装
送風機	送風機類	評価事業名簿による
換気扇	換気扇類	荏原工業　東芝　日立製作所　パナソニック　三菱電機
全熱交換器	全熱交換器	評価事業名簿による
ダクト付属品	吹出口・吸込口	空研工業　新晃工業　トーキン　興典業
	風量ユニットＣＡＶ・ＶＡＶ	エアコンスター　クボタ　新晃工業　東プレ
ダクト	亜鉛鉄板	ＪＩＳ規格品
	ステンレス鋼板	ＪＩＳ規格品
	スパイラルダクト	大阪ラセン管工業　栗本　泰弘　富士空調工業　フジモリ産業
	フレキダクト	アライ産業　オーツカ　栗本
自動制御	自動制御機器	山武ハネウェル　横河ジョンソンコントロールズ　テキメックランディスギア　日本ホネウェル

特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事		HAKUHO Archi. Design 株式会社・白鳳建築設計事務所	1級建築士事務所　登録（三重1－957号） 〒518－0810　三重県伊賀市中瀬古町107 TEL　0595-23-6112　FAX　0595-23-6132 E-mail　hakuho@ict.ne.jp	承認 / 管理建築士 / 印
		図名	特記仕様書	縮尺　Ｓ＝ＮＳ	図面番号　Ｍ－０１		図面提出日　／　／ / 1級　247376号　田中　敏也	

図示記号

記号	名称
―――――――	給水管
- - - - - - - - - -	通気管
―――――――	排水管
―――――|―――――	給湯管
―――――G―――――	ガス管

記号	名称
⊗	給水栓
⊗	混合水栓
⊣ ⋈	弁類
⊖	床上掃除口
⊘	排水金物

衛生器具表

名称	参考品番 付属品	男子便所	女子便所	男子シャワー室	女子シャワー室	多目的便所	計
洋風便器	CS597BC,SH596BAYR,TCF585(ウオシュレットP型)	1	1				2
和風便器	C755VU,S570B,TS750ZSN32,TS670FZUS,TS571D,T82CR32,T56H5R	1	2				3
多目的便器	CS597BCS,SH596BAYR,HE30J,TCF4721V81(ｳｵｼｭﾚｯﾄ),TCA89,EWC771R					1	1
紙巻器	YH117	2	3				5
二連紙巻器	YH702					1	1
L型手すり	T112CLR11,固定金具					1	1
跳上げ手すり	T112HK7,固定金具					1	1
手洗器	LSK570APF(ｵｰﾄｽﾄｯﾌﾟ)					1	1
手洗器	TL879AFR(ｵｰﾄｽﾄｯﾌﾟ)					1	1
傾斜鏡	LM530					1	1
洗面用手すり	T112CP3	2	2				4
L型手すり	T112CL10,固定金具	1	1				2
小便器手すり	T112CU2,固定金具	1					1
シャワーセット	TMF49E2(ｻｰﾓ)			3	3		6
既設小便器		4					4
既設洗面器		2	2				4
既設化粧鏡		2	2				4
タオル掛け				3	3		6
注記	器具に付帯する固定金物共付属とする。						

衛生機器表

機器番号	機器名称	形式・仕様	電圧 / 容量	台数	備考
GW－1	ガス給湯器	形式 屋外壁掛形 エコジョーズ	1φ-100V	1	設置場所： 屋外
	GQ-C5022WZ	能力 ５０号(LPG 6.56kg/h)	93W		
		付属品 配管カバー、リモコン、コード、他一式共	ﾋｰﾀｰ359W		壁固定63kg
注記	給湯器リモコン配線工事は本工事				

換気機器表

機器番号	機器名称	形式・仕様	電圧 / 容量	台数	備考
F－1	壁付換気扇	形式 電気式 格子形 20cm	1φ-100V	4	設置場所： 便所
	EX-20EK6-C	能力 480 m3/h	13.5		シャワー室
		付属品 SUS製ウェザーカバー(FD付)、他一式共			
注記	給湯器リモコン配線工事は本工事				

特記

工事名 笠置小学校屋内運動場天井等改修工事

図名 図示記号・器具・機器表

縮尺 S＝NS

図面番号 M－02

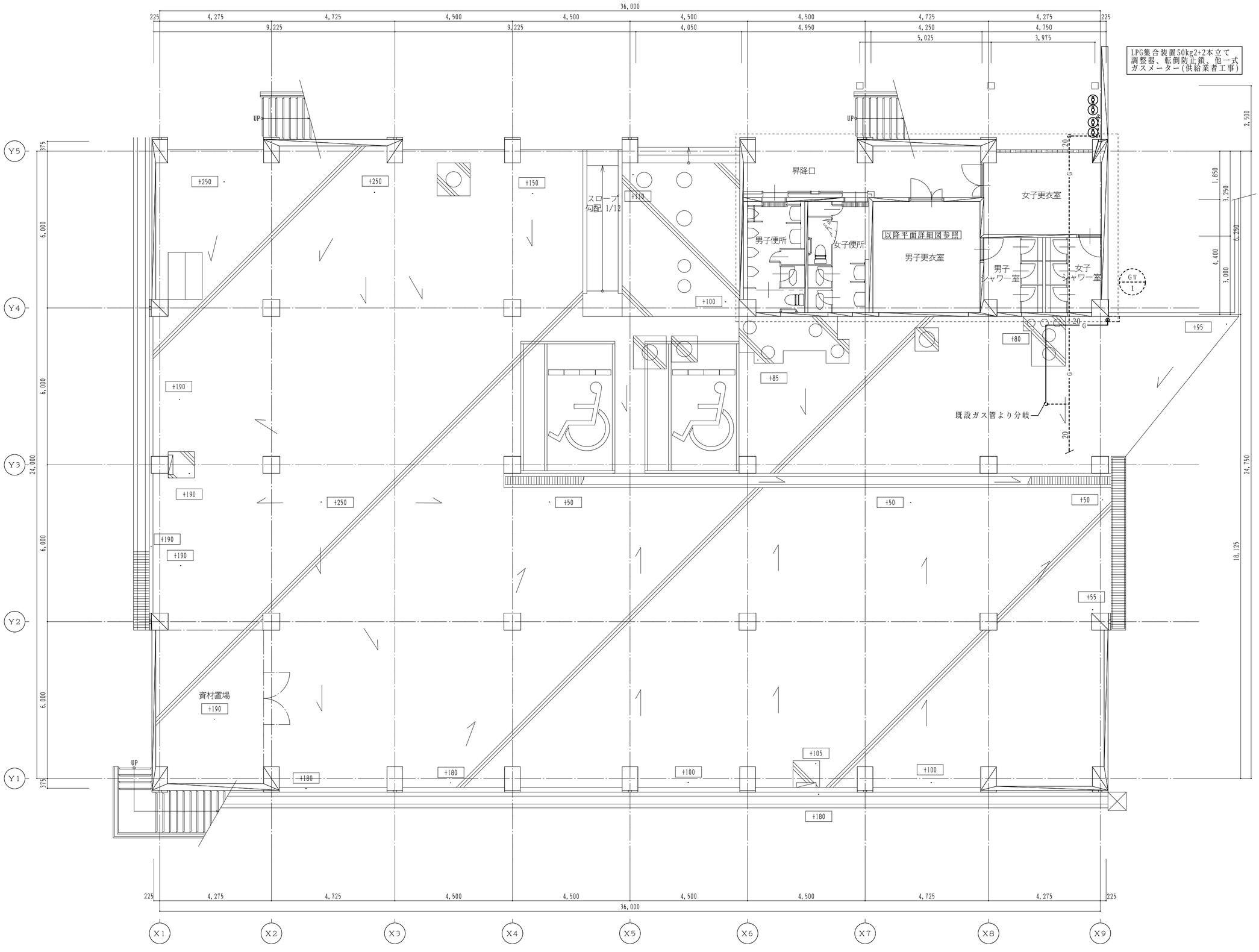
HAKUHO Archi. Design
株式会社・白鳳建築設計事務所
1級建築士事務所 登録(三重1－957号)
〒518－0810 三重県伊賀市平野鍛冶町107
TEL 0595-23-6112 FAX 0595-23-6132
E-mail hakuho@ict.ne.jp

承認

図面提出 日 ／ ／

管理建築士 1級 247376号 田中 敏也

印



改修後外構図　　S＝1／100

特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事		
		図名	1階平面図(改修後)　給排水衛生設備	縮尺 S＝1／100	図面番号 M－03

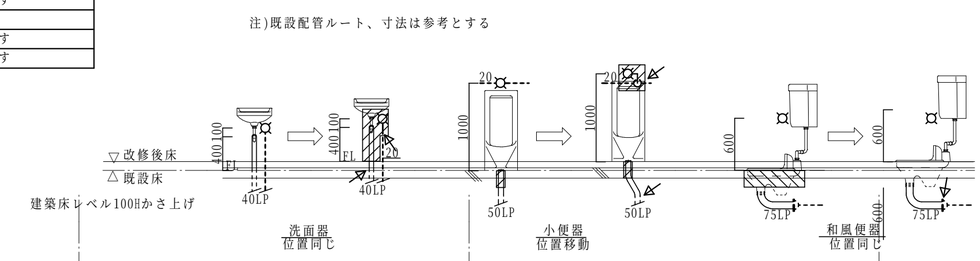
HAKUHO Archi. Design
株式会社 白鳳建築設計事務所
1級建築士事務所　登録(三重1－957号)
〒518－0810　三重県伊賀市平野東町107
TEL 0595-23-6112　FAX 0595-23-6132
E-mail hakuho@ict.ne.jp

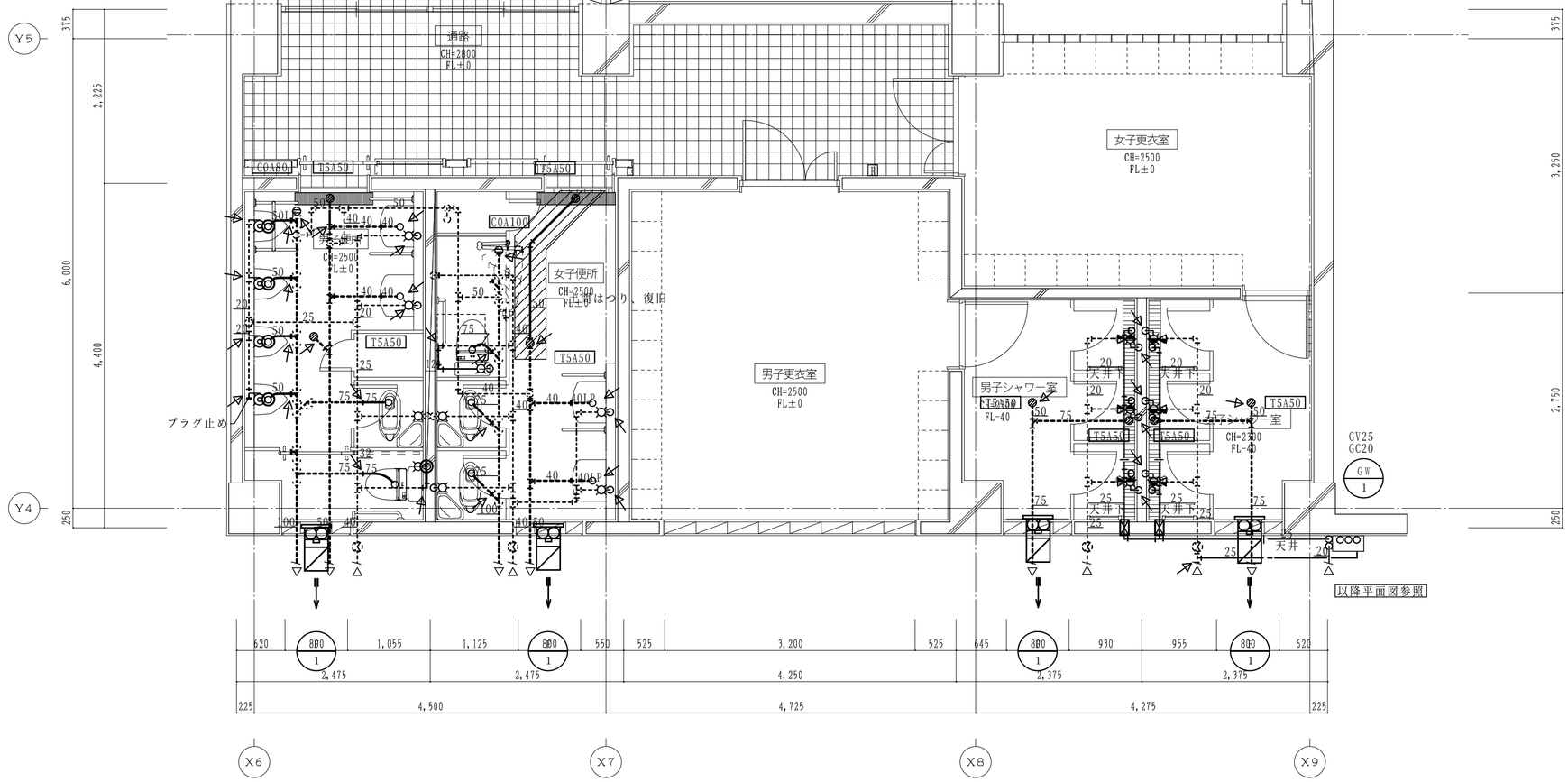
承認					管理建築士	印
					1級 247376号 田中 敏也	
図面提出日	／ ／					

凡例	
———	今回改修箇所を示す
- - -	既存箇所を示す
⊗ ⊠	コア抜き箇所を示す
↗	既設接続箇所を示す

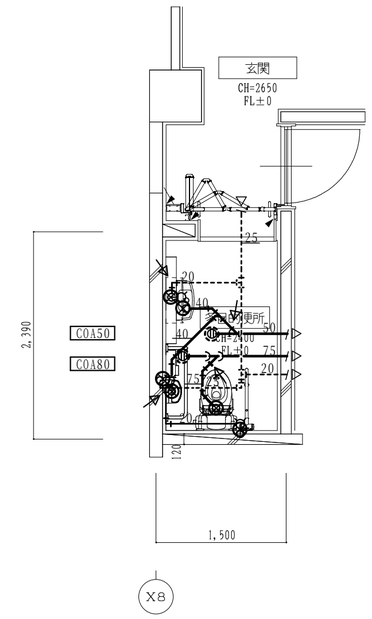
仕上げ補修は建築工事

注)既設配管ルート、寸法は参考とする





1階平面詳細図　　S＝1／50



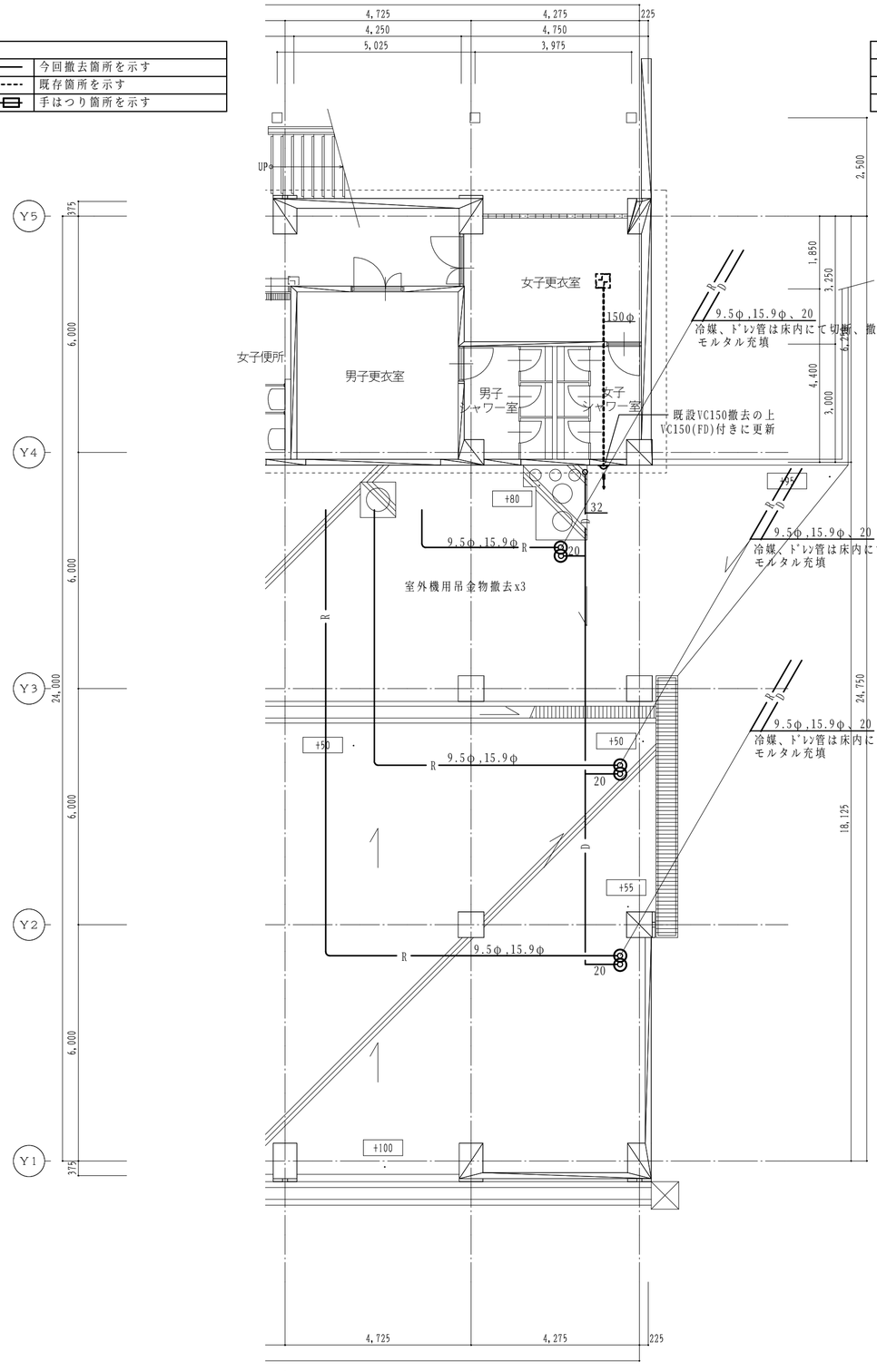
多目的便所平面詳細図　　S＝1／50

特記	✔・・・新規シーリング箇所を示す	工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事		
		図名	改修後　平面詳細図　給排水衛生設備	縮尺	S＝1／50
				図面番号	M－04

HAKUHO Archi. Design
株式会社 白鳳建築設計事務所
1級建築士事務所　登録（三重1－957号）
〒518－0810　三重県伊賀市平野東町107
TEL 0595-23-6112　FAX 0595-23-6132
E-mail hakuho@ict.ne.jp

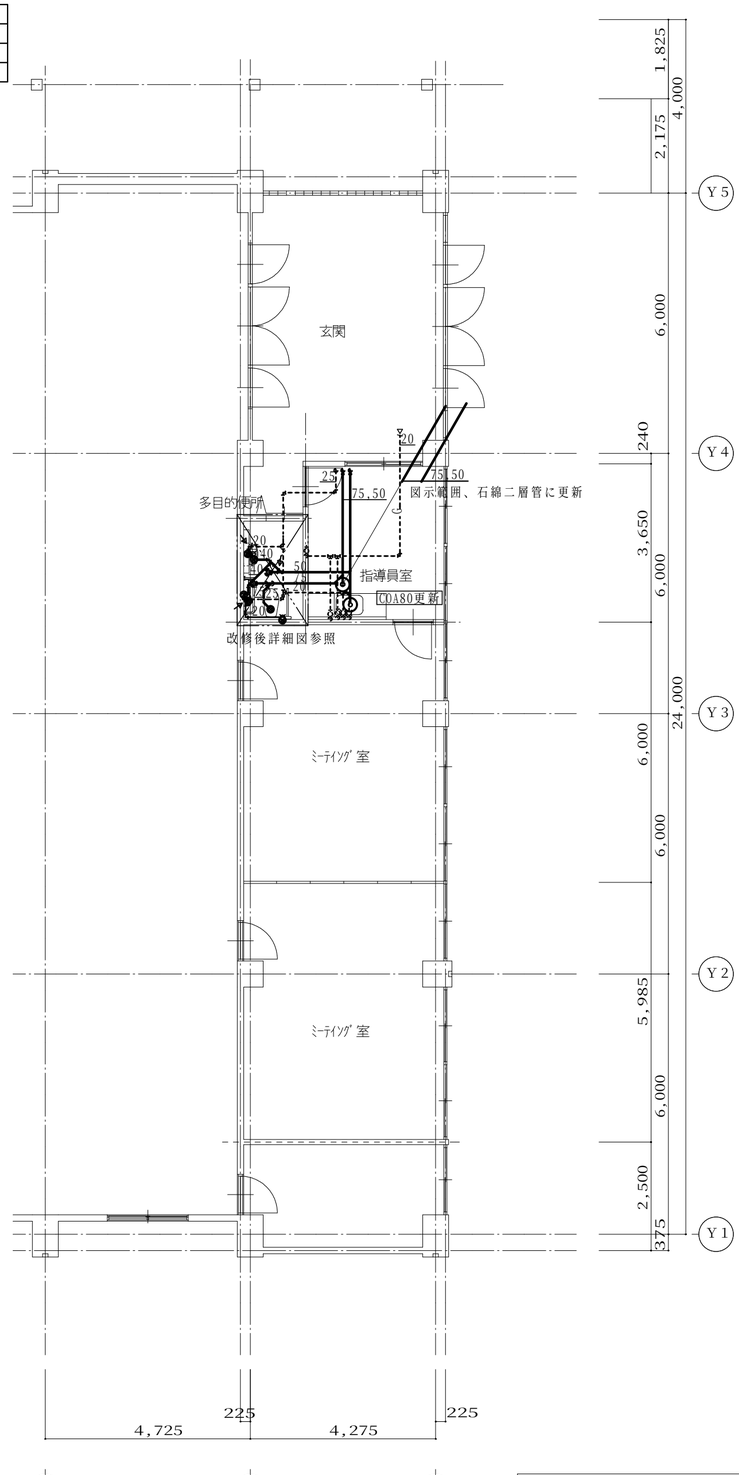
承認		管理建築士	印
		1級　247376号 田中　敏也	
図面提出日	／　／		

凡例	
———	今回撤去箇所を示す
- - - - -	既存箇所を示す
○ ⊟	手はつり箇所を示す



1階天井図(空調設備)　　S＝1／100

凡例	
———	今回撤去箇所を示す
- - - - -	既存箇所を示す
○ ⊟	手はつり箇所を示す



1階天井図(給排水衛生設備)　S＝1／100

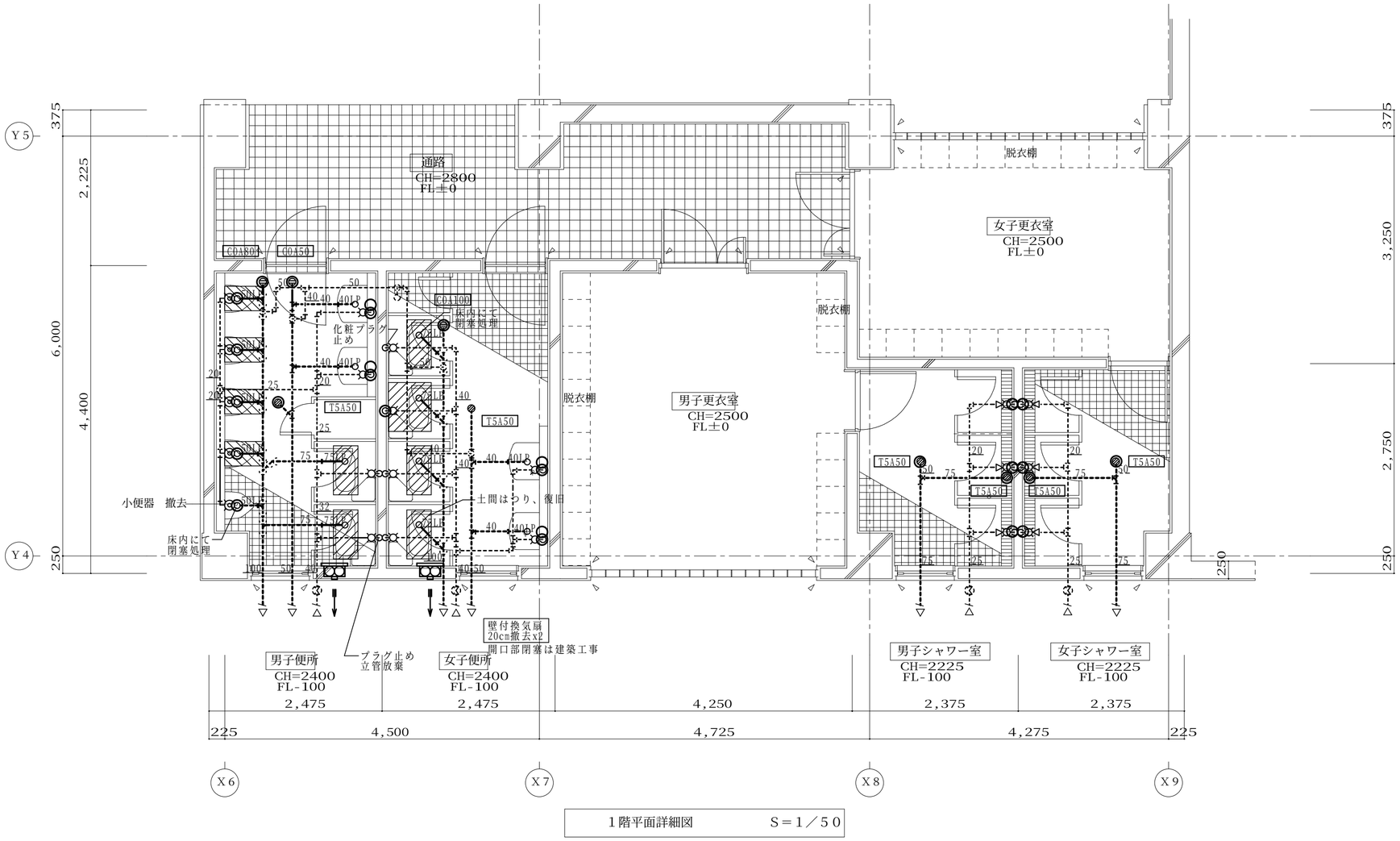
特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事		
		図名	1階天井図(改修前・後)	縮尺 S＝1／100	図面番号 M－05

HAKUHO Archi. Design
株式会社 白鳳建築設計事務所
1級建築士事務所　登録(三重1－957号)
〒518－0810　三重県伊賀市平野東町107
TEL 0595-23-6112　FAX 0595-23-6132
E-mail hakuho@ict.ne.jp

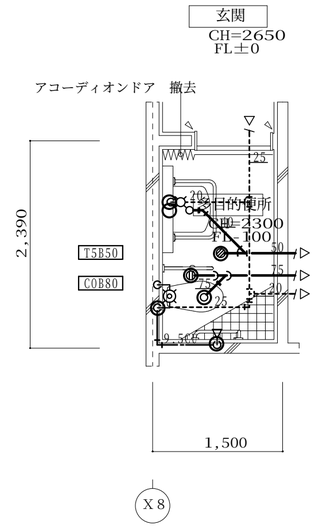
承認		管理建築士	印
		1級 247376号 田中 敏也	
図面提出日	／ ／		

凡例	
———	今回撤去箇所を示す
- - - - -	既存箇所を示す
○ ⊟	手はつり箇所を示す

注記）既設配管サイズ、ルートは参考とする。
既設埋設配管、今回工事に支障なきは既存放棄とする。
（既設管水抜き処理の上、管末プラグ止め）



1階平面詳細図　　S＝1／50



多目的便所平面詳細図　　S＝1／50

男子便所			
和風便器	C375V,S570D	2	撤去
紙巻器	TS116MD	2	撤去
小便器	U308,T60P	4	取外し(再用)
小便器	U308,T60P	1	撤去
洗面器	L230D	2	取外し(再用)
化粧鏡	TS119AEAY3	2	取外し(再用)

女子便所			
和風便器	C375V,S570D	4	撤去
紙巻器	TS116MD	4	撤去
洗面器	L230D	2	取外し(再用)
化粧鏡	TS119AEAY3	2	取外し(再用)

男子シャワー室			
シャワーヘッド	TB17B	3	撤去
止水栓	TGB9AZ	3	撤去
タオル掛け	TS113A1	3	取外し(再用)

女子シャワー室			
シャワーヘッド	TB17B	3	撤去
止水栓	TGB9AZ	3	撤去
タオル掛け	TS113A1	3	取外し(再用)

多目的便所			
洋風便器	C48A,TU141Q	1	撤去
紙巻器	TS116MD	1	撤去
洗面器	L230,TS126AS	1	撤去
化粧鏡	TS119AEAY3	1	撤去
L型手すり		1	撤去
T型手すり		1	撤去
洗面手すり		1	撤去

特記		工事名	笠置小学校屋内運動場天井等改修工事			承認	管理建築士	印
		図名	平面詳細図１(改修前) 給排水衛生設備	縮尺	S＝1／50	図面番号 M－06	1級 247376号 田中 敏也	

HAKUHO Archi. Design
株式会社・白鳳建築設計事務所
1級建築士事務所 登録(三重1－957号)
〒518－0810 三重県伊賀市平野東町107
TEL 0595-23-6112 FAX 0595-23-6132
E-mail hakuho@ict.ne.jp

図面提出 日 ／ ／